

広島市こころの健康に関するアンケート調査結果

報 告 書

令和3年2月

広島市

目 次

I 調査の概要	
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 報告書の見方	1
II 調査結果	
1 属性	2
2 1週間の就業時間	7
3 こころやからだの状態	9
(1) 現在の健康状態	9
(2) この1週間のからだやこころの状態	11
4 町内や地域の人との交流	12
(1) 町内や地域の人との交流機会	12
(2) 町内や地域の人との交流方法	14
5 新型コロナウイルス感染症の流行による変化	15
(1) 新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無	15
(2) 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること	16
(3) 新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化	18
(4) 新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化	19
6 心配ごとなどの相談相手	20
(1) 相談相手の有無	20
(2) 相談相手	23
7 うつ病に関する考え方	24
(1) うつ病と自殺（自死）の関連性	24
(2) 家族や友人の状態について	26
8 うつ病になった場合の対応	33
(1) うつ病になった場合の医療機関の受診意向	33
(2) 精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由	37
(3) 医療機関で受診しない理由	39
(4) 精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと	43
9 相談機関	45
(1) 各種相談機関の認知度	45
(2) 希望する相談方法	48

10	自殺（自死）対策	50
(1)	自殺対策基本法の認知度	50
(2)	自殺（自死）対策への関心度	52
(3)	ゲートキーパーの認知度	54
(4)	自殺（自死）対策として大切だと思うこと	56
(5)	自殺（自死）対策のために取り組むことができること	59

III 抑うつ尺度と死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無についての結果

1	抑うつ尺度の状況	61
2	死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無	66

付属資料

1	集計表	74
2	調査票	82

I 調査の概要

1 調査目的

市民のこころの健康に関する実態や意識を調査し、本市における総合的な自殺（自死）対策を推進するための基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査方法

- (1) 調査地域 広島市全域
- (2) 調査方法 郵送法
- (3) 調査対象 市内に居住する 15 歳以上の市民の中から 3,000 人を無作為抽出
- (4) 回収数 1,611 人 (53.7%)
- (5) 調査時期 令和 2 年 11 月 2 日～令和 2 年 11 月 17 日

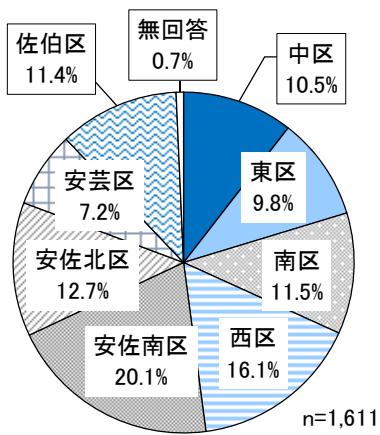
3 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0% とならない場合がある。
- 2 つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0% を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0% が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- その他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 調査結果

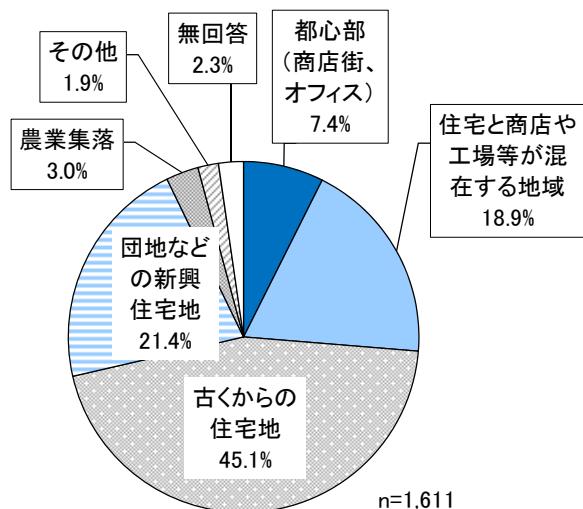
1 属性

(1) 居住区



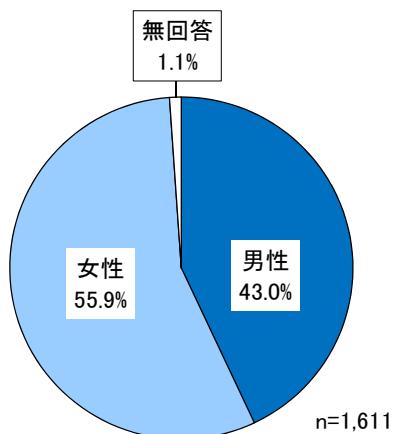
	回答数	割合
中区	169	10.5%
東区	158	9.8%
南区	185	11.5%
西区	259	16.1%
安佐南区	324	20.1%
安佐北区	205	12.7%
安芸区	116	7.2%
佐伯区	183	11.4%
無回答	12	0.7%
全体	1,611	100.0%

(2) 居住地域の状況



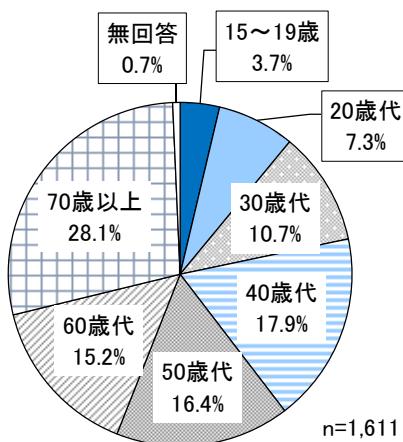
	回答数	割合
都心部(商店街、オフィス)	119	7.4%
住宅と商店や工場等が混在する地域	305	18.9%
古くからの住宅地	727	45.1%
団地などの新興住宅地	344	21.4%
農業集落	49	3.0%
その他	30	1.9%
無回答	37	2.3%
全体	1,611	100.0%

(3) 性別



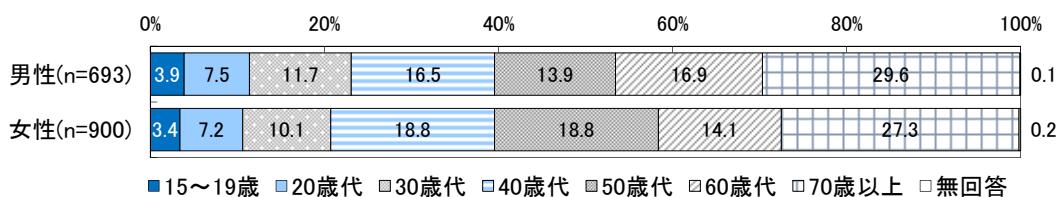
	回答数	割合
男性	693	43.0%
女性	900	55.9%
無回答	18	1.1%
全体	1,611	100.0%

(4) 年齢

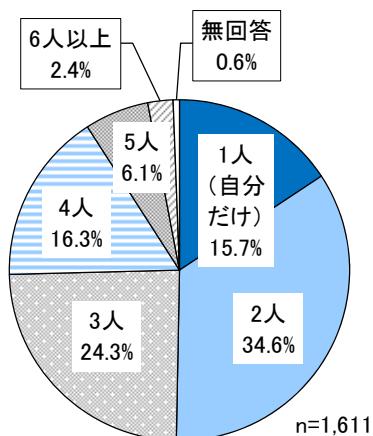


	回答数	割合
15～19歳	59	3.7%
20歳代	118	7.3%
30歳代	172	10.7%
40歳代	288	17.9%
50歳代	265	16.4%
60歳代	245	15.2%
70歳以上	453	28.1%
無回答	11	0.7%
全体	1,611	100.0%

(性別)

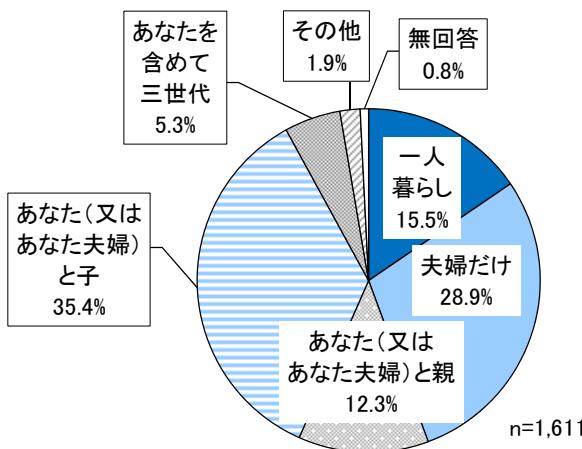


(5) 同居家族数



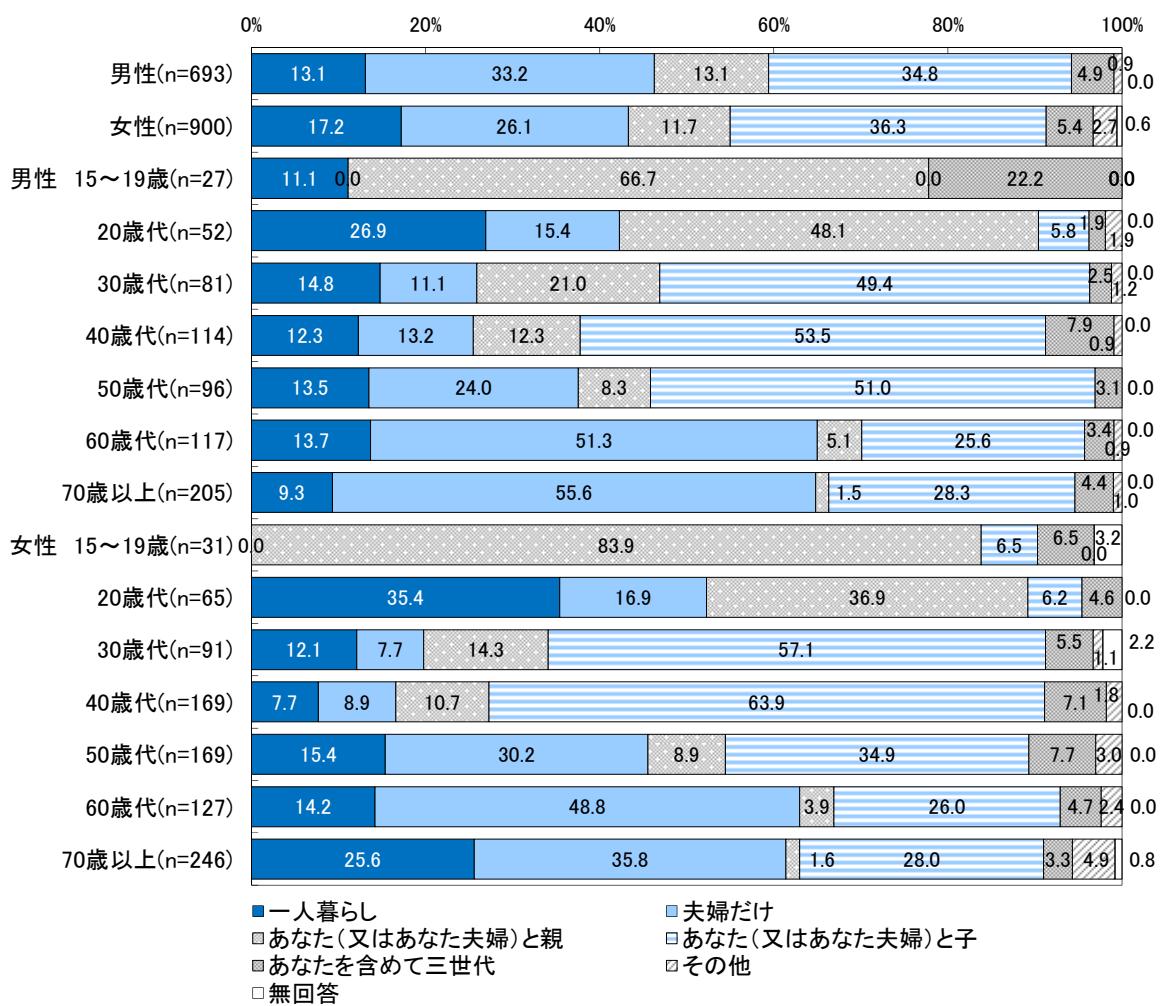
	回答数	割合
1人(自分だけ)	253	15.7%
2人	558	34.6%
3人	391	24.3%
4人	263	16.3%
5人	99	6.1%
6人以上	38	2.4%
無回答	9	0.6%
全体	1,611	100.0%

(6) 家族構成

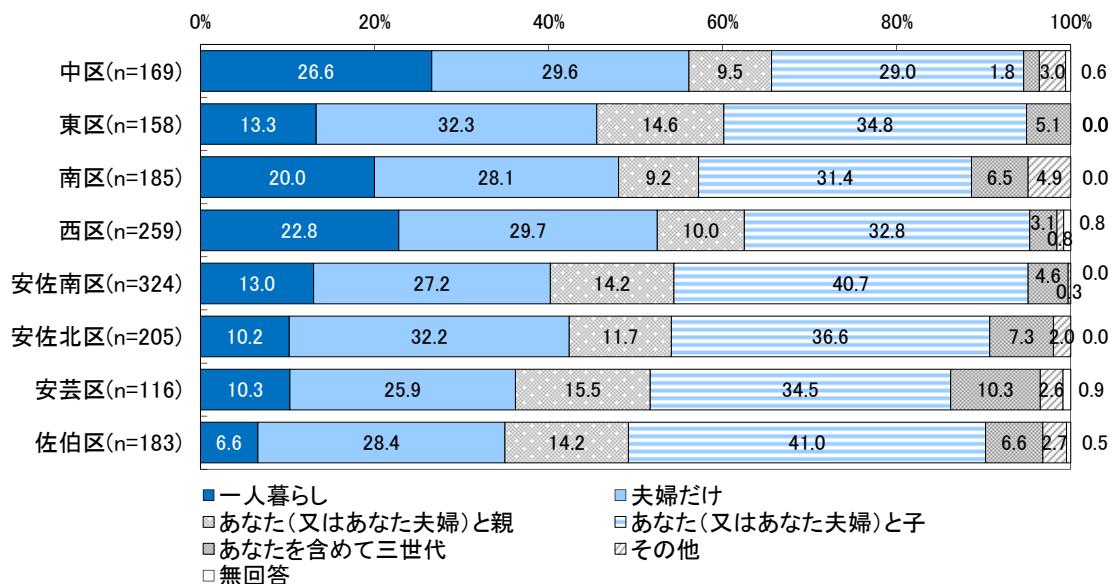


	回答数	割合
一人暮らし	249	15.5%
夫婦だけ	466	28.9%
あなた(又はあなた夫婦)と親	198	12.3%
あなた(又はあなた夫婦)と子	570	35.4%
あなたを含めて三世代	85	5.3%
その他	30	1.9%
無回答	13	0.8%
全体	1,611	100.0%

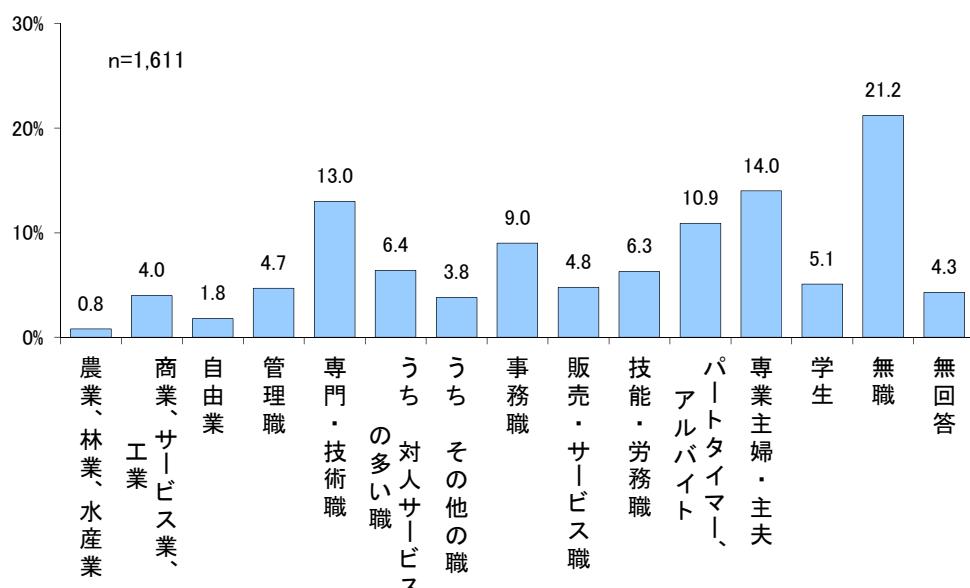
(性別、性・年齢別)



(居住区別)



(7) 就業状況



	農業、林業、水産業	商業、サービス業、工業	自由業	管理職	専門・技術職		事務職	
					うちの多い職	うちの他の職		
回答数	13	65	29	76	210	103	62	145
割合	0.8%	4.0%	1.8%	4.7%	13.0%	6.4%	3.8%	9.0%

	販売・サービス職	技能・労務職	パートタイマー、アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答	全体
回答数	77	101	176	225	82	342	70	1,611
割合	4.8%	6.3%	10.9%	14.0%	5.1%	21.2%	4.3%	100.0%

(性別、性・年齢別)

	回答数	農業、林業、水産業	商業、サービス業、工業	自由業	管理職	専門・技術職	事務職		
							うち 対人サービスの多い職	うち その他の職	
男性	693	1.3%	4.8%	1.9%	10.0%	14.4%	3.3%	7.8%	6.6%
女性	900	0.4%	3.6%	1.8%	0.7%	12.1%	8.8%	0.9%	10.9%
男性 15～19歳	27	—	—	—	—	3.7%	3.7%	—	—
20歳代	52	—	3.8%	1.9%	1.9%	19.2%	3.8%	13.5%	9.6%
30歳代	81	—	3.7%	2.5%	8.6%	33.3%	9.9%	16.0%	13.6%
40歳代	114	0.9%	7.0%	0.9%	15.8%	25.4%	5.3%	14.9%	9.6%
50歳代	96	—	6.3%	2.1%	22.9%	21.9%	3.1%	12.5%	9.4%
60歳代	117	2.6%	4.3%	2.6%	16.2%	7.7%	2.6%	3.4%	8.5%
70歳以上	205	2.4%	4.4%	2.0%	1.0%	1.5%	—	0.5%	—
女性 15～19歳	31	—	3.2%	—	—	3.2%	3.2%	—	—
20歳代	65	—	1.5%	—	—	24.6%	21.5%	3.1%	21.5%
30歳代	91	—	2.2%	—	—	16.5%	11.0%	3.3%	19.8%
40歳代	169	—	5.9%	3.0%	0.6%	20.7%	14.8%	1.2%	17.2%
50歳代	169	—	3.6%	4.7%	2.4%	15.4%	10.1%	0.6%	18.3%
60歳代	127	1.6%	4.7%	2.4%	0.8%	9.4%	7.1%	—	3.1%
70歳以上	246	0.8%	2.4%	—	—	1.6%	1.2%	—	0.8%

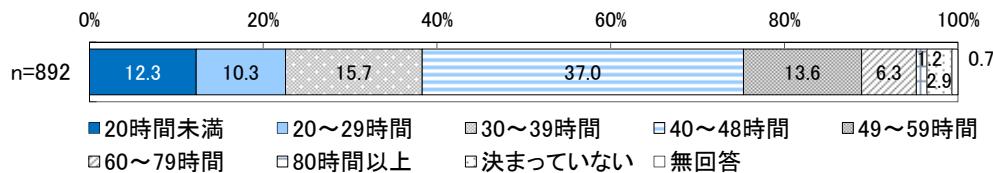
	回答数	販売・サービス職	技能・労務職	パートタイマー、アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答
男性	693	4.8%	12.7%	3.8%	1.2%	5.8%	28.7%	4.2%
女性	900	4.7%	1.3%	16.7%	23.6%	4.6%	15.3%	4.4%
男性 15～19歳	27	—	—	3.7%	—	92.6%	—	—
20歳代	52	3.8%	17.3%	3.8%	—	28.8%	7.7%	1.9%
30歳代	81	8.6%	16.0%	1.2%	—	—	8.6%	3.7%
40歳代	114	9.6%	21.1%	1.8%	—	—	5.3%	2.6%
50歳代	96	6.3%	17.7%	1.0%	1.0%	—	8.3%	3.1%
60歳代	117	6.0%	11.1%	8.5%	0.9%	—	26.5%	5.1%
70歳以上	205	—	5.9%	4.4%	2.9%	—	69.3%	6.3%
女性 15～19歳	31	—	—	—	3.2%	90.3%	—	—
20歳代	65	15.4%	1.5%	—	4.6%	16.9%	13.8%	—
30歳代	91	7.7%	—	24.2%	25.3%	—	2.2%	2.2%
40歳代	169	7.1%	1.8%	23.1%	13.6%	0.6%	2.4%	4.1%
50歳代	169	4.1%	1.8%	23.1%	17.8%	0.6%	3.6%	4.7%
60歳代	127	4.7%	2.4%	26.8%	29.9%	—	11.0%	3.1%
70歳以上	246	—	0.8%	6.5%	37.4%	—	41.9%	7.7%

2 1週間の就業時間

問7で「1～9」と回答した人のみ回答

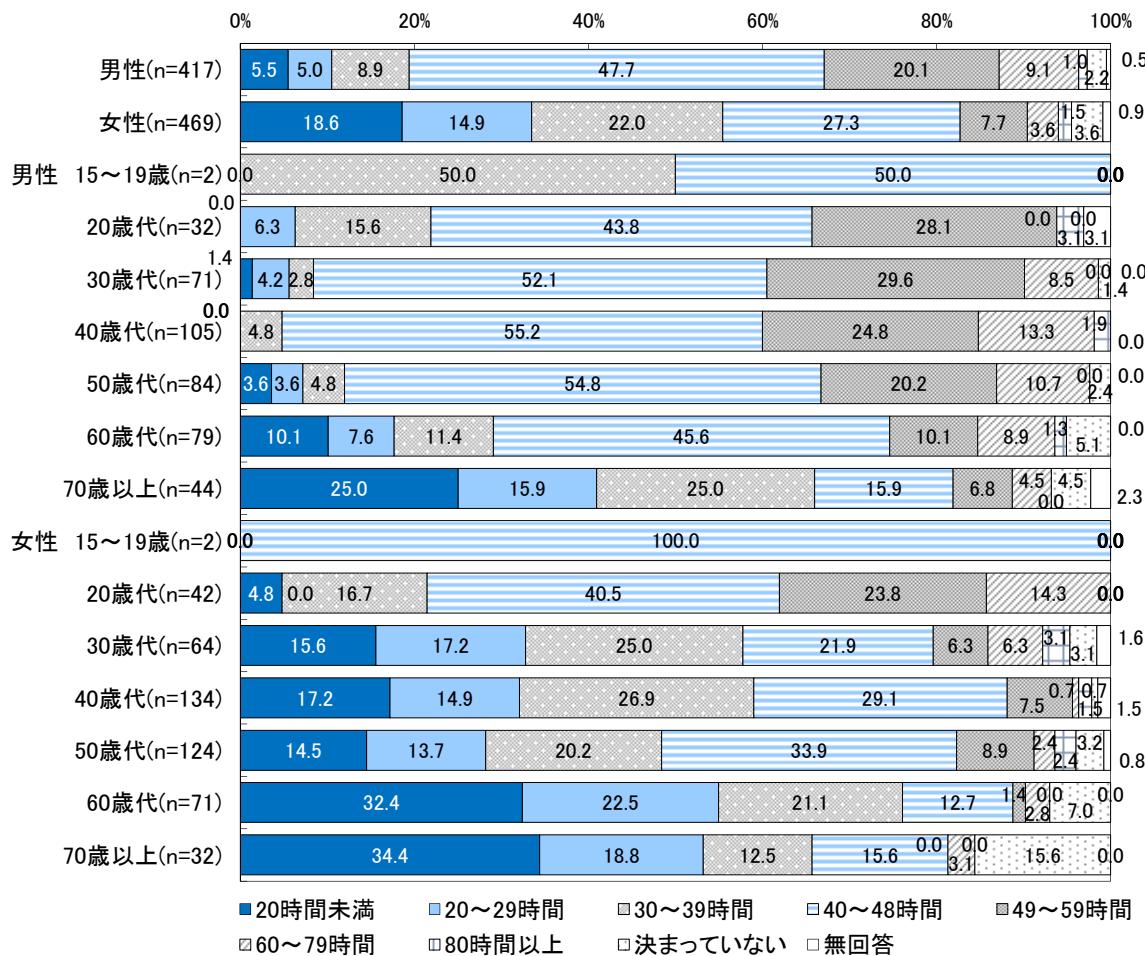
問8 あなたのふだん1週間の就業時間はどのくらいですか。ふだん残業や副業をしている場合は、それを含めた1週間の合計について記入してください。

【1週間の就業時間】



1週間の就業時間について、「40～48時間」と回答した人の割合が37.0%、「49～59時間」と回答した人の割合が13.6%、「60～79時間」と回答した人の割合が6.3%、「80時間以上」と回答した人の割合が1.2%となっている。

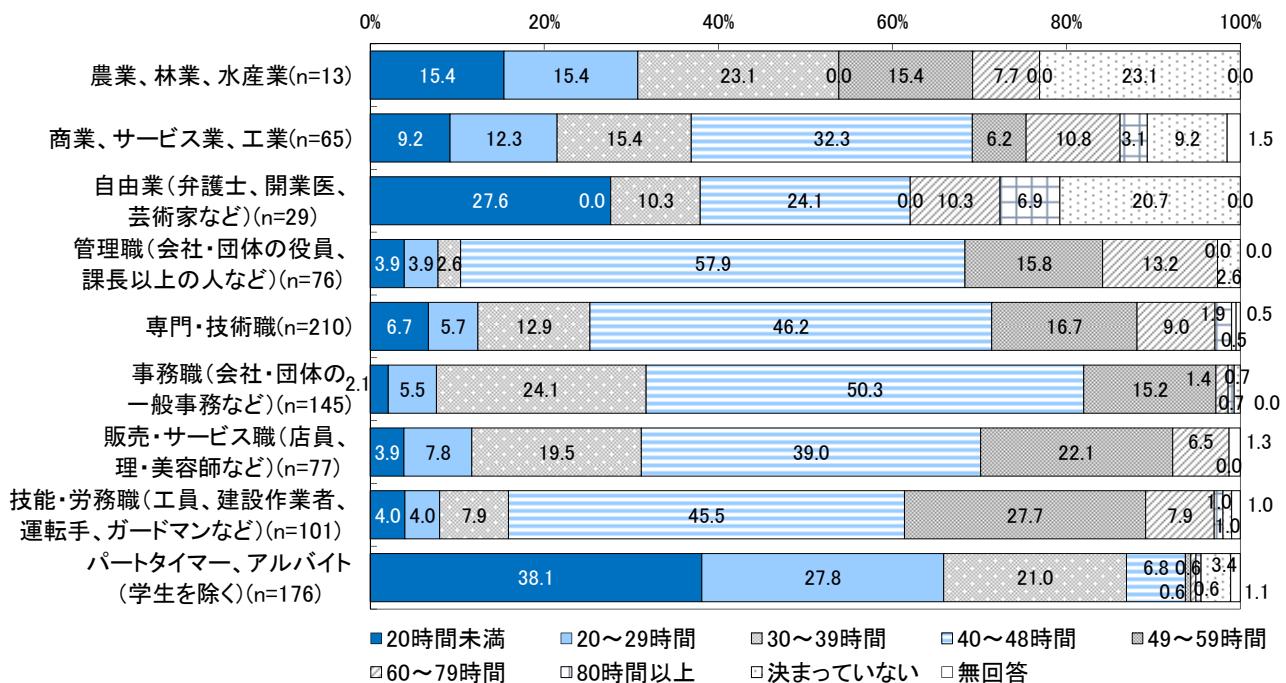
【1週間の就業時間（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『49時間以上』と回答した人の割合は、男性で3割台、女性で1割台となっている。

性・年齢別にみると、『49時間以上』と回答した人の割合は、男性30歳代、女性20歳代で3割台後半、男性40歳代で4割となっている。

【1週間の就業時間（就業状況別）】



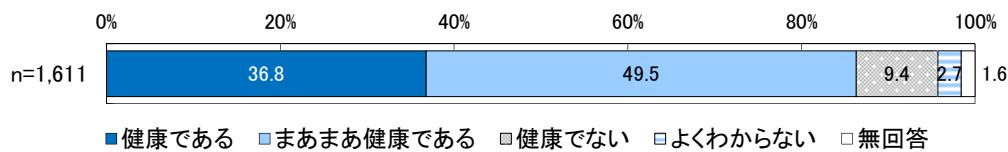
就業状況別にみると、『49 時間以上』と回答した人の割合は、「管理職（会社・団体の役員、課長以上の人など）」、「専門・技術職」で2割台後半、「技能・労務職（工員、建設作業者、運転手、ガードマンなど）」で3割台後半となっている。

3 こころやからだの状態

(1) 現在の健康状態

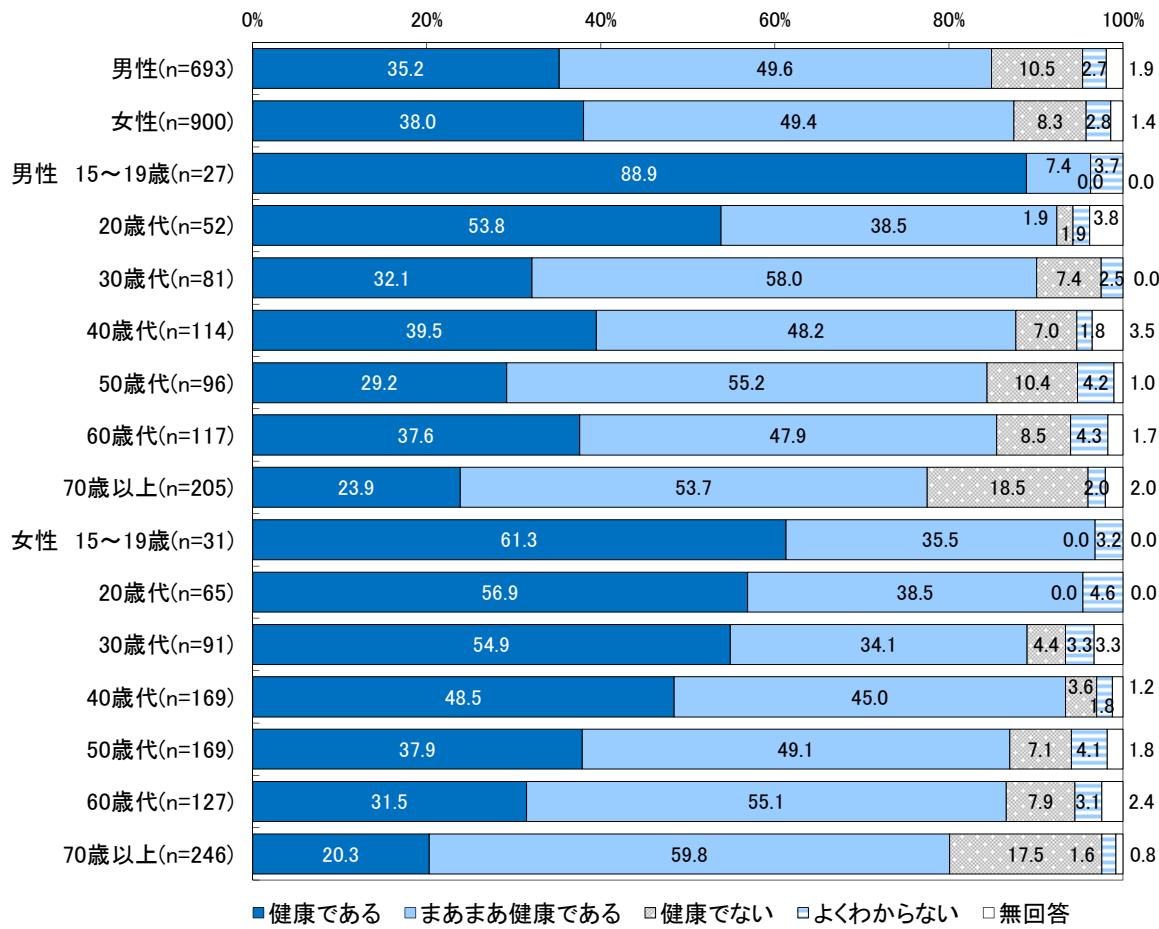
問9 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

【現在の健康状態】



現在の健康状態について、『健康である』（「健康である」 + 「まあまあ健康である」）と回答した人の割合が 86.3%、「健康でない」と回答した人の割合が 9.4%となっている。

【現在の健康状態（性別、性・年齢別）】

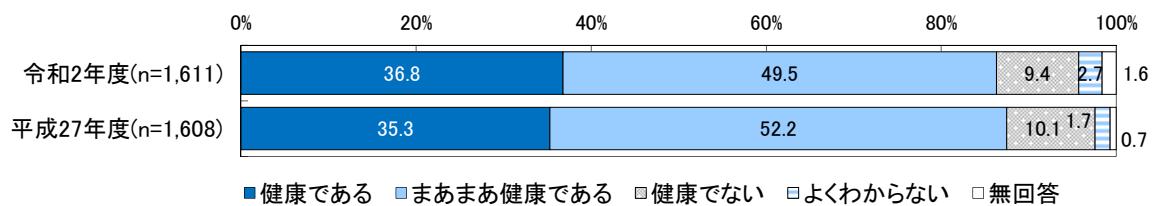


■ 健康である □ まあまあ健康である □ 健康でない □ よくわからない □ 無回答

性別にみると、「健康でない」と回答した人の割合は、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「健康でない」と回答した人の割合は、男女ともに 70 歳以上で 1 割台後半となっている。

【現在の健康状態（前回調査結果との比較）】

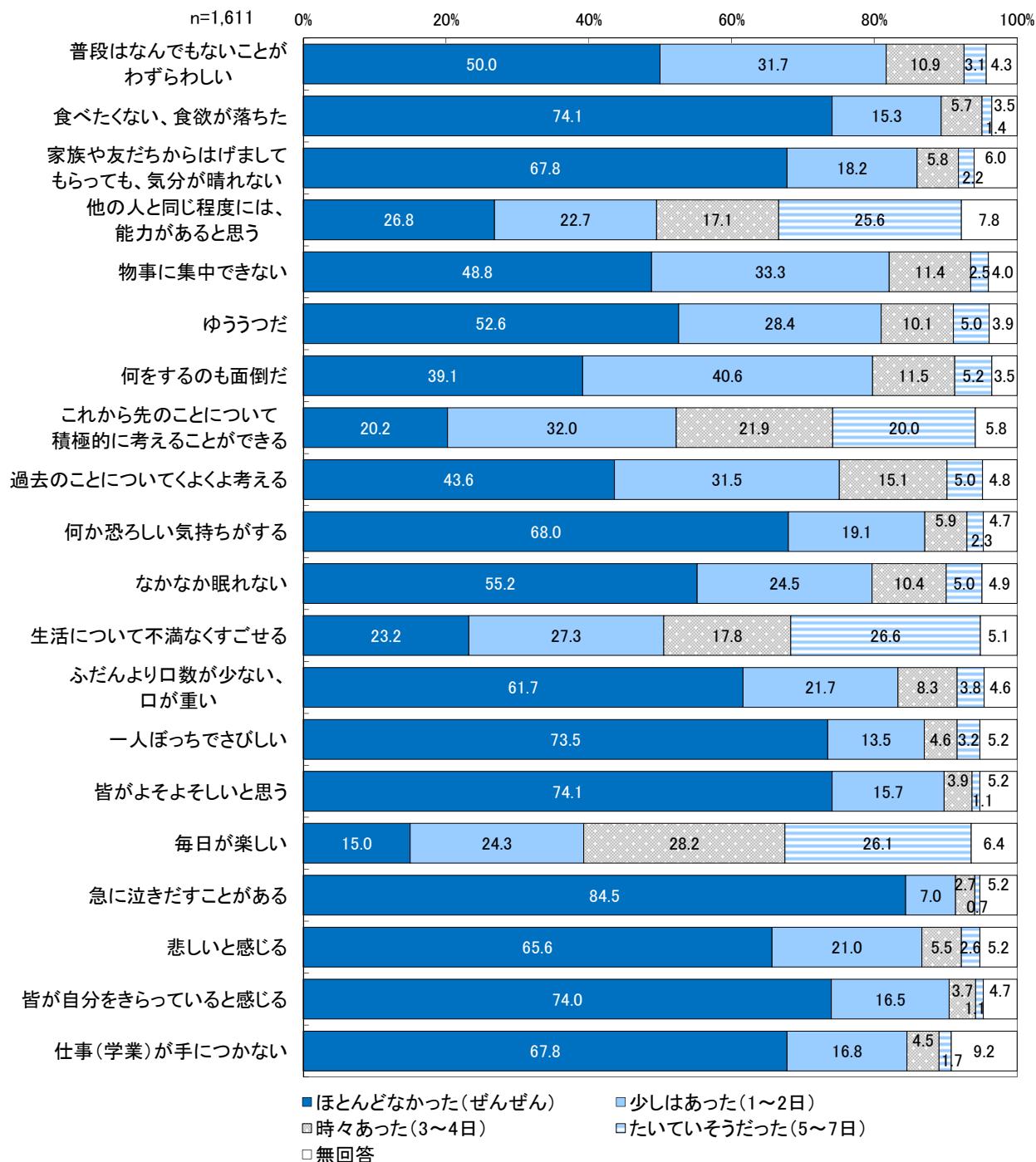


前回調査結果と比較すると、『健康である』と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

(2) この1週間のからだやこころの状態

問10 この1週間のあなたのからだやこころの状態についてお伺いします。

【この1週間のからだやこころの状態】



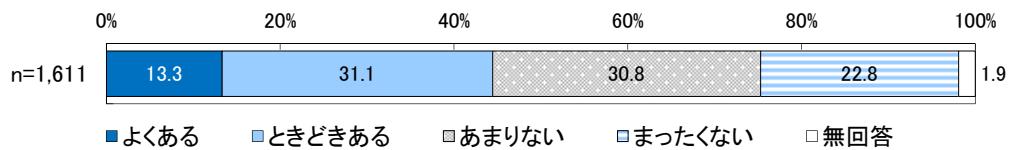
この1週間のからだやこころの状態について、マイナス要素の項目で『あった』(「少しあつた(1~2日)」+「時々あつた(3~4日)」+「たいていあつた(5~7日)」)と回答した人の割合は、「何をするのも面倒だ」、「過去のことについてくよくよ考える」において5割を超えており、特に「急に泣きだすことがある」では約85%が該当している。

4 町内や地域の人との交流

(1) 町内や地域の人との交流機会

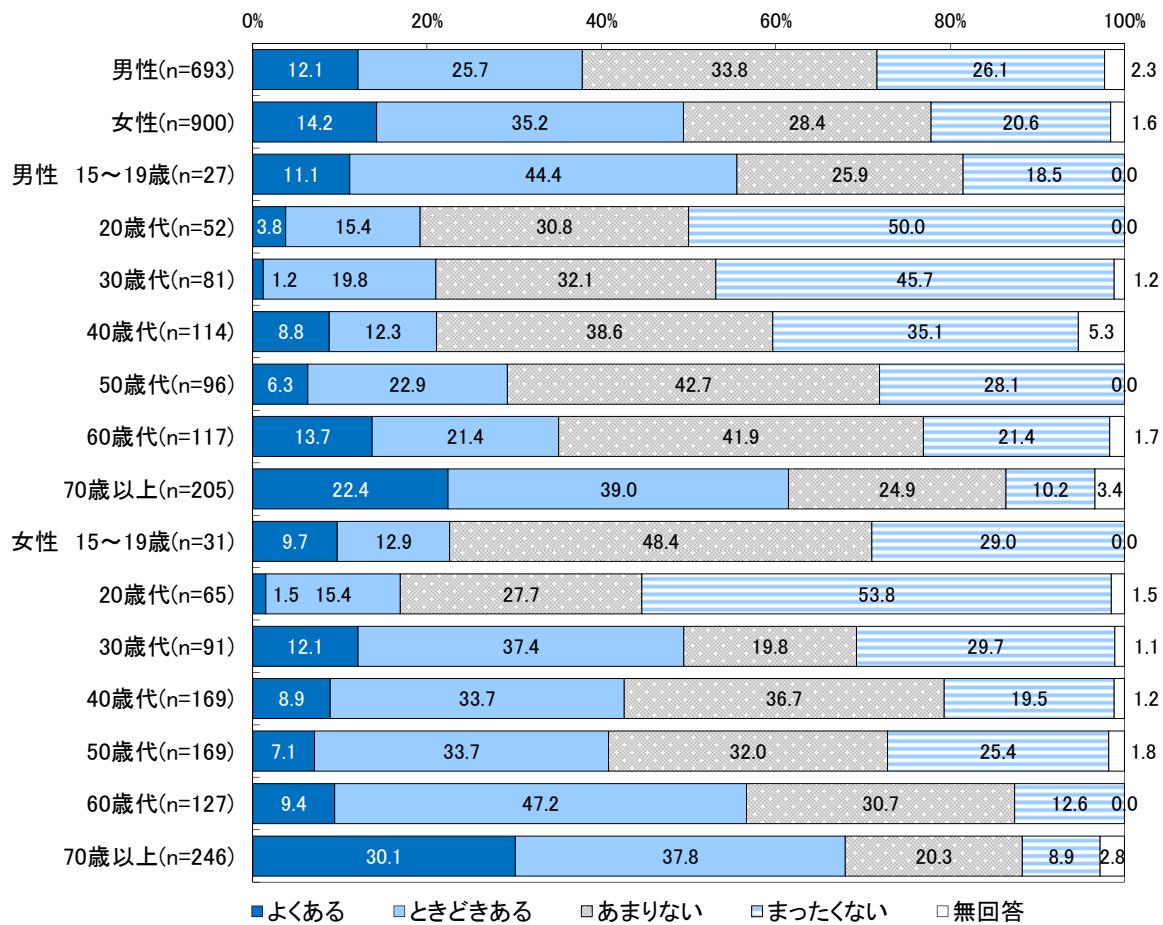
問13 あなたは、町内や地域の人と話をしたり交流する機会がありますか。

【町内や地域の人との交流機会の有無】



町内や地域の人との交流機会の有無について、『ある』（「よくある」 + 「ときどきある」）と回答した人の割合が 44.4%、『ない』（「まったくない」 + 「あまりない」）と回答した人の割合が 53.6% となっている。

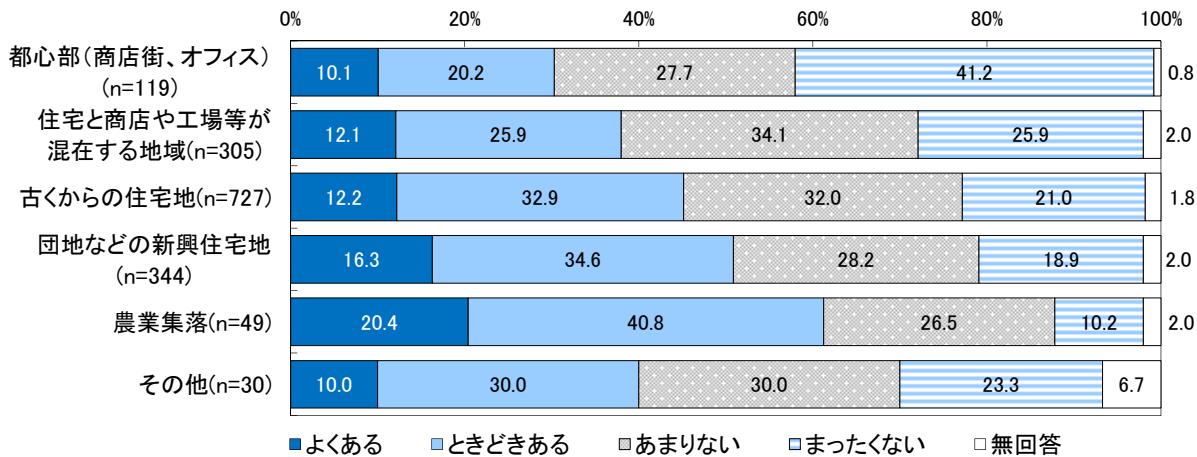
【町内や地域の人との交流機会の有無（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『ある』と回答した人の割合は、女性で約 5 割となっているが、男性では 3 割台後半となっている。

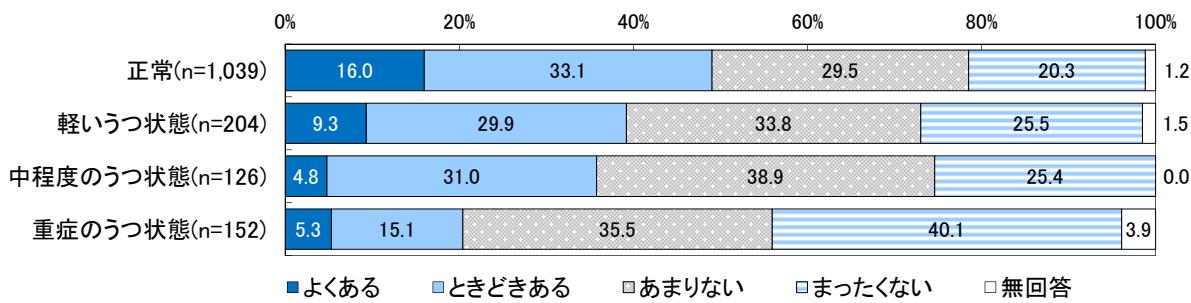
性・年齢別にみると、『ある』と回答した人の割合は、男女ともに 70 歳以上で 6 割を超えておりが、男女ともに 20 歳代では 2 割に満たない。

【町内や地域の人との交流機会の有無（居住地域の状況別）】



居住地域の状況別にみると、『ある』と回答した人の割合は、農業集落で6割を超えておりが、都心部(商店街、オフィス)、住宅と商店や工場等が混在する地域では3割台となっている。

【町内や地域の人との交流機会の有無（抑うつ尺度別）】



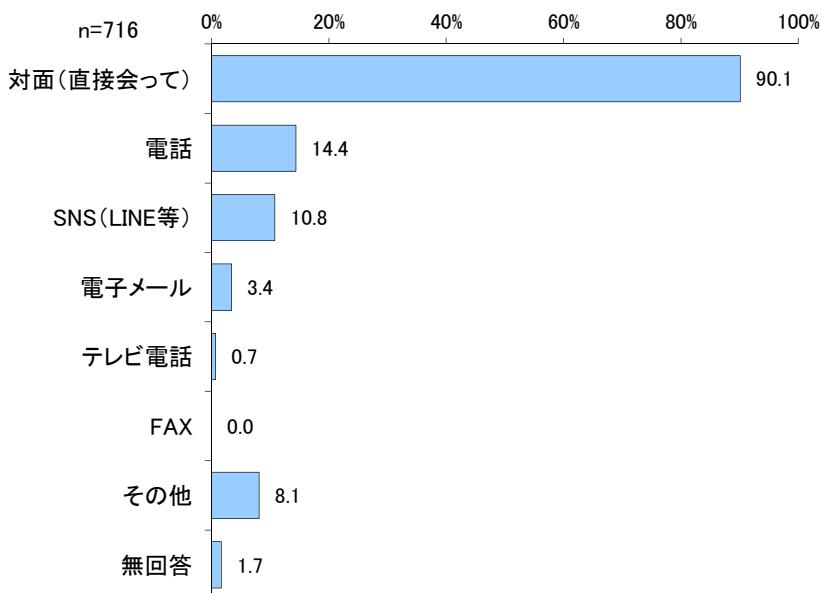
抑うつ尺度別にみると、『ない』と回答した人の割合は、うつ状態が重症なほど高くなっている。

(2) 町内や地域の人との交流方法

問13で「1 よくある」又は「2 ときどきある」と回答した人のみ回答

問14 どのような方法で、町内や地域の人と話をしたり交流していますか。

【町内や地域の人との交流方法】



町内や地域の人との交流方法について、「対面（直接会って）」と回答した人の割合が 90.1% と最も高く、「電話」(14.4%)、「SNS (LINE等)」(10.8%) が続いている。

【町内や地域の人との交流方法（性別、性・年齢別）】

	回答数	対面(直接会って)	電話	SNS (LINE等)	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
男性	262	88.5%	10.3%	6.5%	2.3%	-	-	11.1%	0.8%
女性	445	91.2%	16.6%	13.5%	4.0%	1.1%	-	6.5%	2.2%
男性 15～19歳	15	93.3%	6.7%	13.3%	-	-	-	-	-
20歳代	10	70.0%	10.0%	-	10.0%	-	-	20.0%	-
30歳代	17	82.4%	11.8%	11.8%	5.9%	-	-	11.8%	-
40歳代	24	95.8%	12.5%	4.2%	4.2%	-	-	-	-
50歳代	28	96.4%	7.1%	7.1%	3.6%	-	-	-	-
60歳代	41	92.7%	7.3%	12.2%	2.4%	-	-	7.3%	-
70歳以上	126	85.7%	11.9%	4.0%	0.8%	-	-	17.5%	1.6%
女性 15～19歳	7	85.7%	-	14.3%	-	-	-	-	-
20歳代	11	90.9%	18.2%	18.2%	-	-	-	9.1%	-
30歳代	45	95.6%	-	22.2%	2.2%	2.2%	-	2.2%	-
40歳代	72	94.4%	6.9%	20.8%	4.2%	1.4%	-	2.8%	-
50歳代	69	88.4%	14.5%	21.7%	11.6%	2.9%	-	8.7%	1.4%
60歳代	72	97.2%	16.7%	9.7%	2.8%	-	-	1.4%	1.4%
70歳以上	167	88.0%	26.9%	6.0%	2.4%	0.6%	-	10.8%	4.2%

性別にみると、「対面（直接会って）」と回答した人の割合は、男性で8割台後半、女性で9割割台前半となっている。

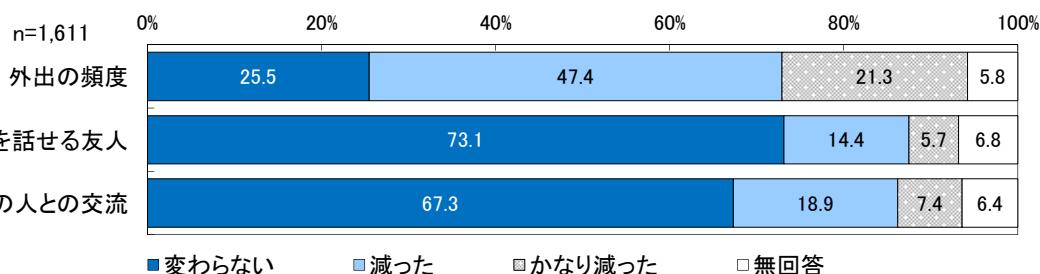
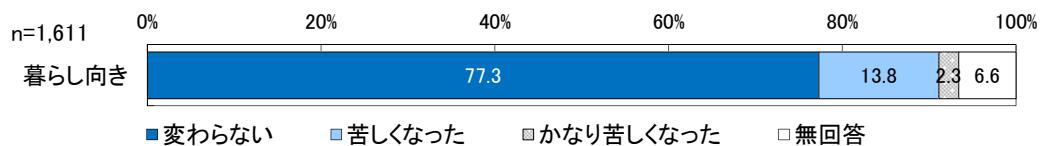
性・年齢別にみると、「電話」と回答した人の割合は、女性 70歳以上で2割台後半となっている。

5 新型コロナウイルス感染症の流行による変化

(1) 新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無

問 15 新型コロナウイルス感染症の流行により、生活や人とのつながりに変化があったかをおたずねします。

【新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無】



新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無について、暮らし向きが『苦しくなった』（「かなり苦しくなった」 + 「苦しくなった」）と回答した人の割合は 16.1% となっている。

外出の頻度が『減った』（「かなり減った」 + 「減った」）と回答した人の割合は 68.7% となっている。

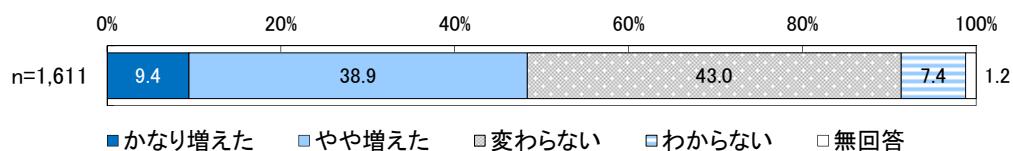
個人的なことを話せる友人が『減った』（「かなり減った」 + 「減った」）と回答した人の割合は 20.1% となっている。

近所の人との交流が『減った』（「かなり減った」 + 「減った」）と回答した人の割合は 26.3% となっている。

(2) 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること

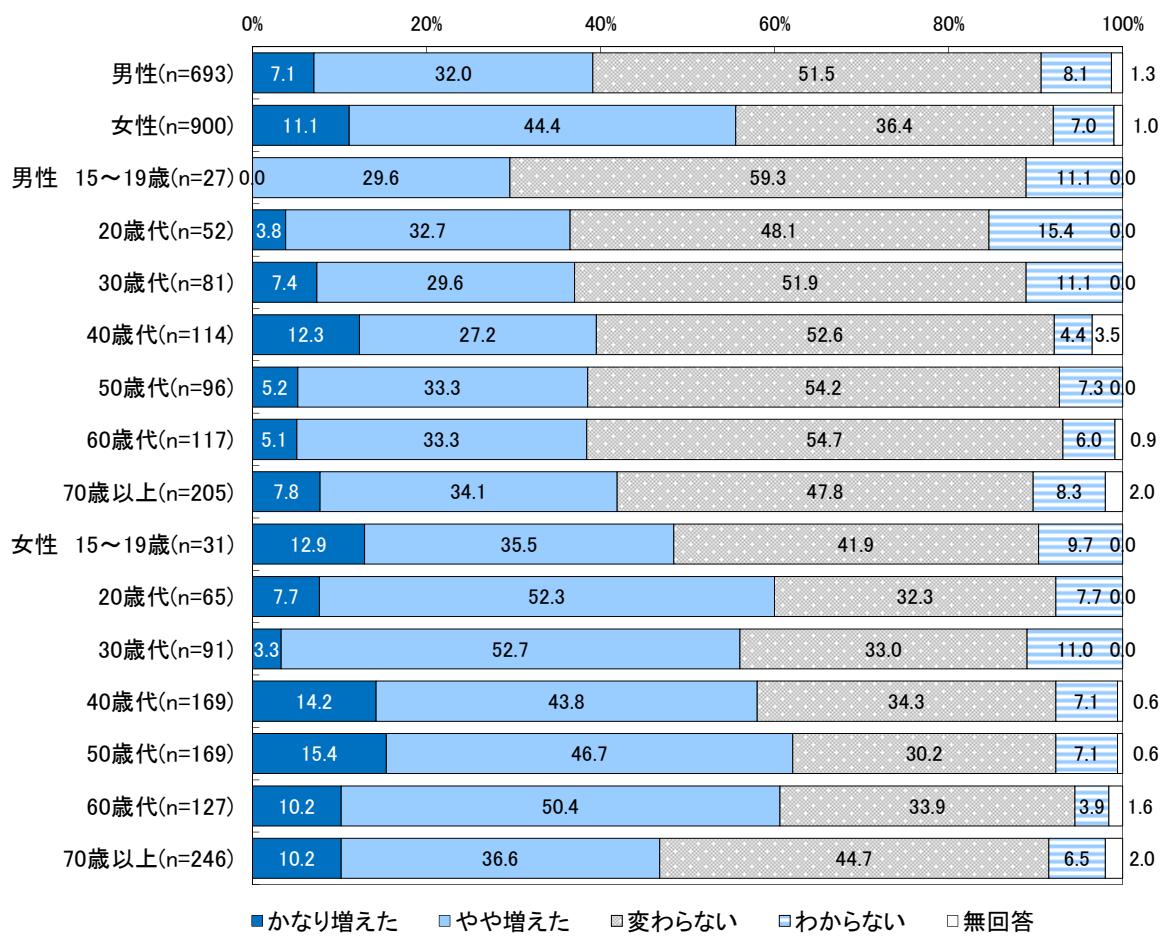
問 17 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になることが増えましたか。

【新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること】



新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になることが『増えた』（「かなり増えた」 + 「やや増えた」）と回答した人の割合が 48.3% となっている。

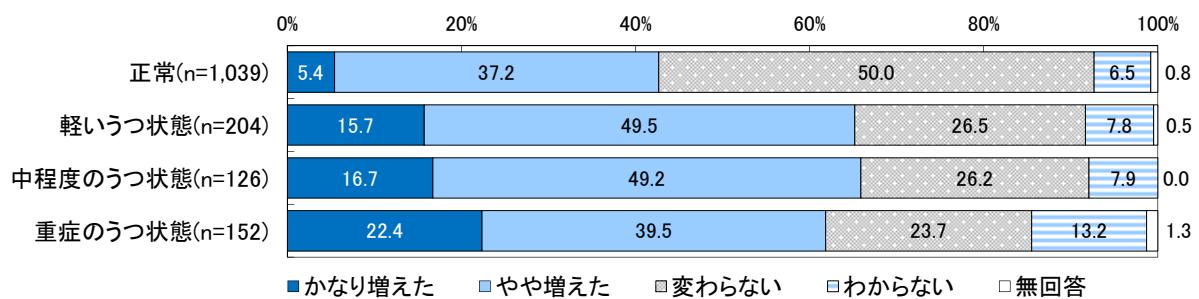
【新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること（性別・性・年齢別）】



性別にみると、ゆううつな気分になることが『増えた』と回答した人の割合は、男性で約 4 割、女性で 5 割台となっている。

性・年齢別にみると、ゆううつな気分になることが『増えた』と回答した人の割合は、女性 20 歳代、女性 50 歳代、女性 60 歳代で 6 割台となっている。

【新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること（抑うつ尺度別）】

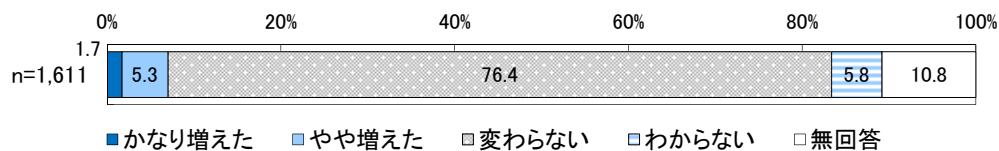


抑うつ尺度別にみると、ゆううつな気分になることが『増えた』と回答した人の割合は、軽症～重症のうつ状態に該当する人で6割を超えている。

(3) 新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化

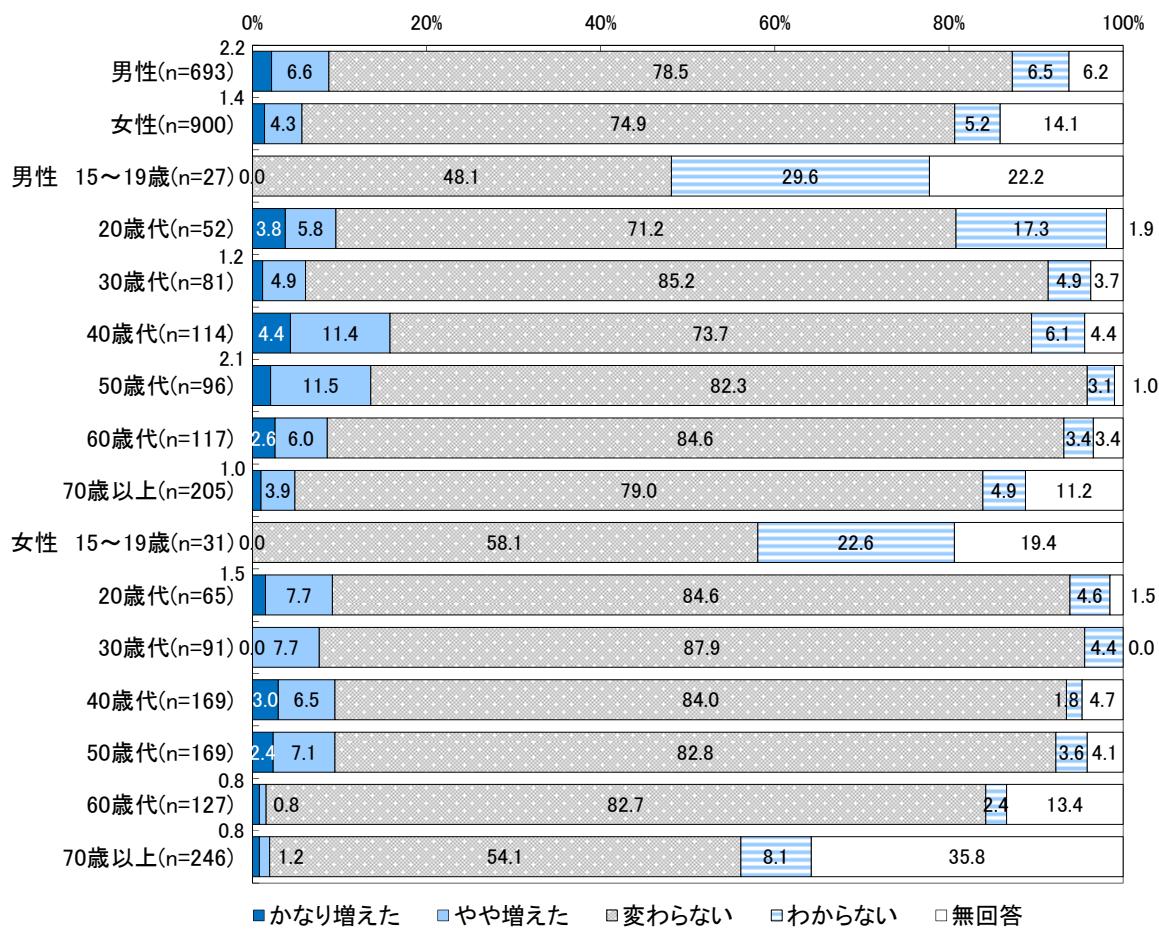
問 18 新型コロナウイルス感染症の流行により、飲酒の量が増えましたか。

【新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化】



新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化について、『増えた』（「かなり増えた」+「やや増えた」）と回答した人の割合が 7.0% となっている。

【新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化（性別・性・年齢別）】



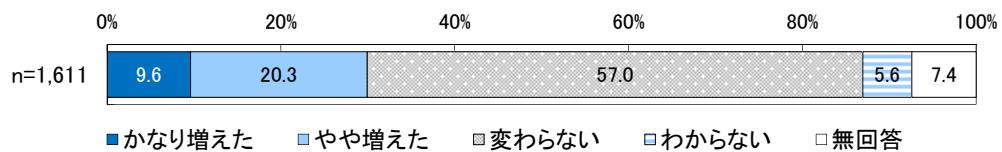
性別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、男性 40 歳代、男性 50 歳代で 1 割を超えており、女性では 20 歳代で 1 割を超過している。

(4) 新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化

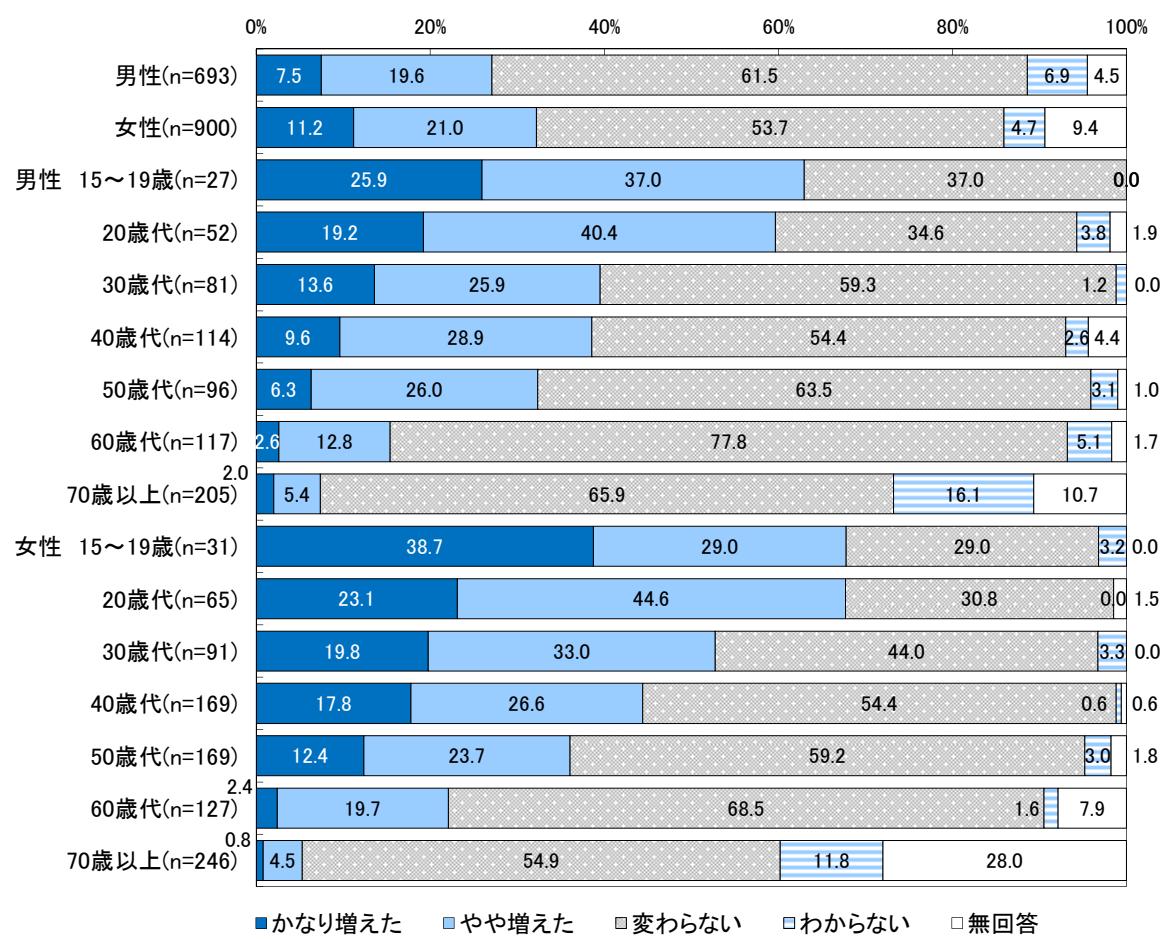
問 19 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゲームやインターネットをする時間が増えましたか。

【新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化】



新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化について、『増えた』(「かなり増えた」+「やや増えた」)と回答した人の割合が 29.9% となっている。

【新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、男性は 2 割台後半、女性は 3 割台となって いる。

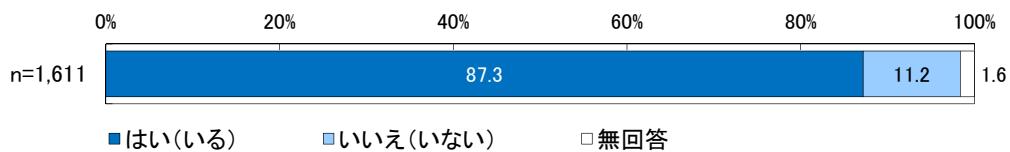
性・年齢別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、男女ともに年齢が若いほど高くなつて おり、男性 15～19 歳、女性 15～19 歳、女性 20 歳代で 6 割を超えて いる。

6 心配ごとなどの相談相手

(1) 相談相手の有無

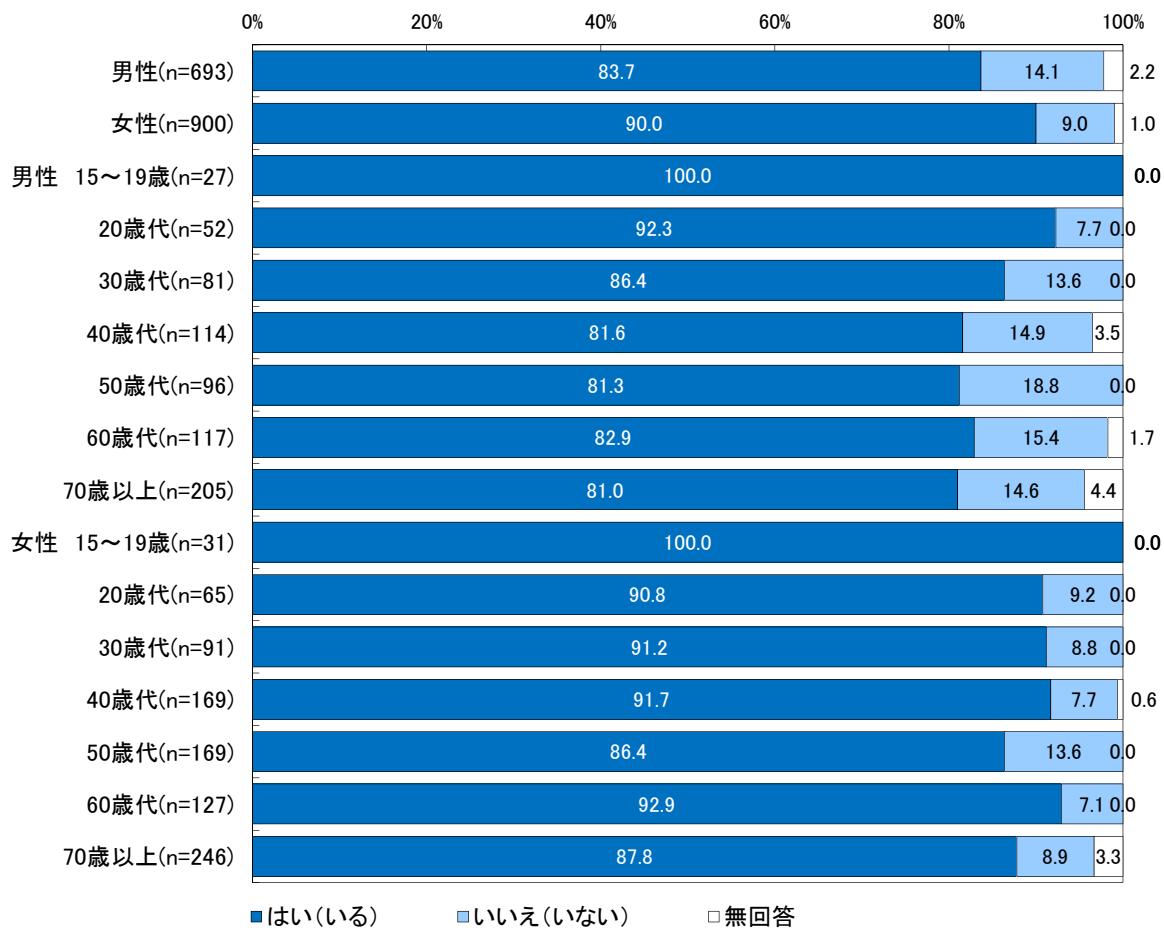
問 16 あなたの心配ごとや悩みごとを相談できる人がいますか。

【相談相手の有無】



相談相手の有無について、「はい（いる）」と回答した人の割合が 87.3%、「いいえ（いない）」と回答した割合が 11.2% となっている。

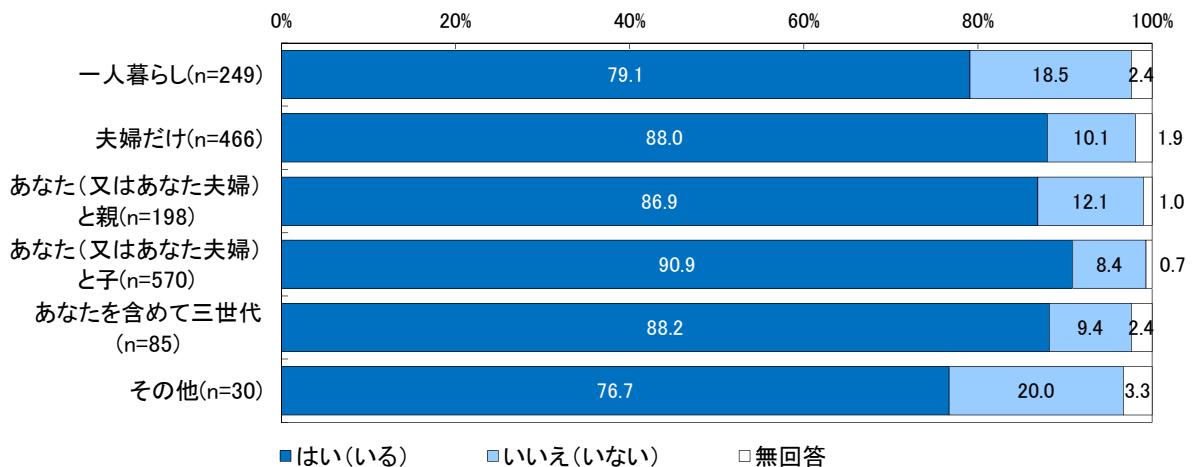
【相談相手の有無（性別、性・年齢別）】



性別にみると、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は、男性で 1 割台前半、女性で約 1 割となっている。

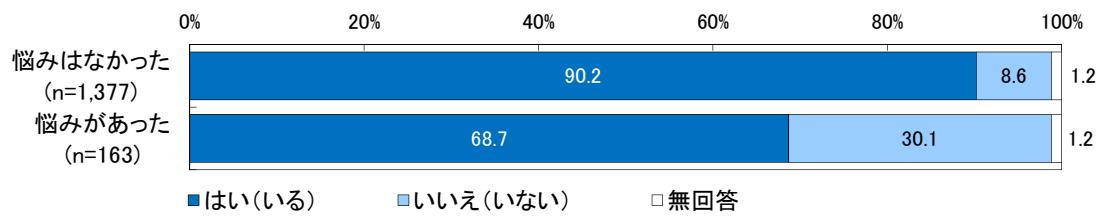
性・年齢別にみると、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は、男性 50 歳代、男性 60 歳代で 1 割台後半となっている。

【相談相手の有無（家族構成別）】



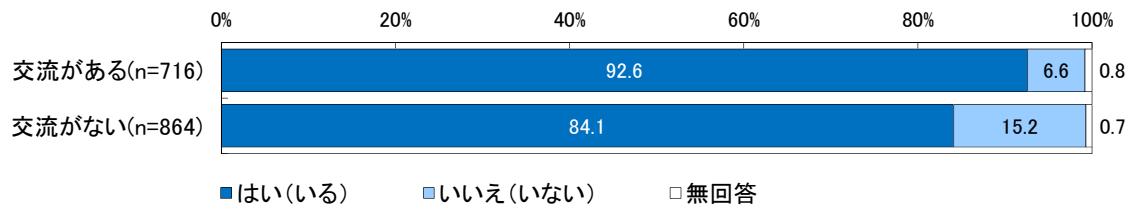
家族構成別にみると、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は、一人暮らし世帯で1割台後半となっている。

【相談相手の有無（死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別）】



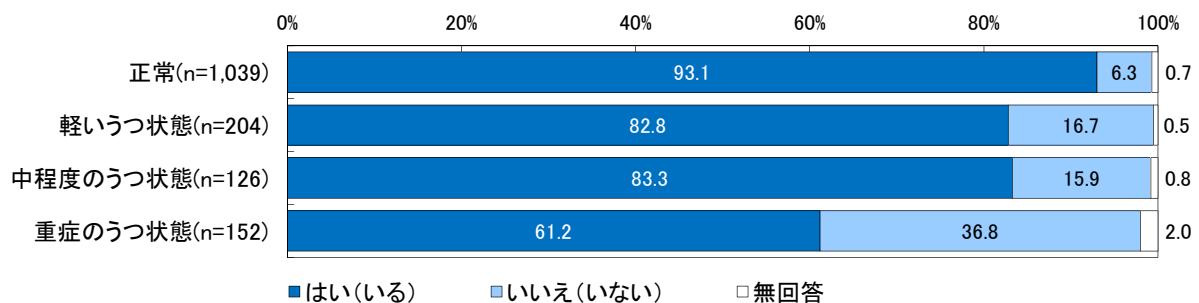
死にたいと思うほど悩みやストレスの有無別にみると、悩みがあった人では、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は約3割となっている。

【相談相手の有無（町内や地域の人との交流機会の有無別）】



町内や地域の人との交流機会の有無別にみると、交流がない人では、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は1割台半ばとなっている。

【相談相手の有無（抑うつ尺度別）】



抑うつ尺度別にみると、重症のうつ状態に該当する人では、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は3割台後半となっている。

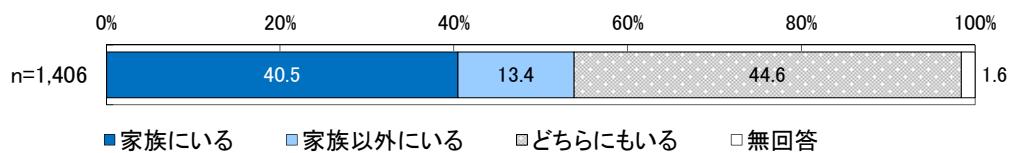
【相談相手の有無（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「はい（いる）」と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

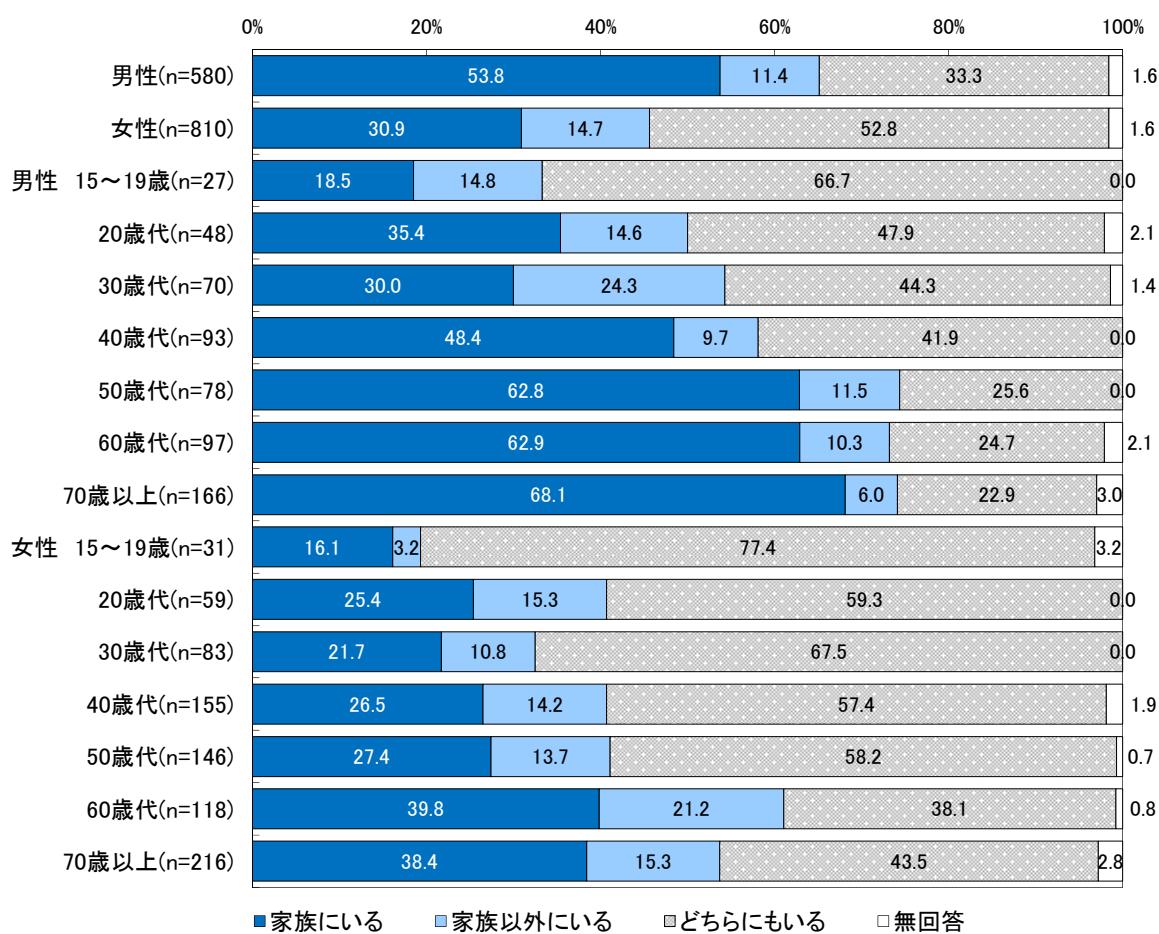
(2) 相談相手

【相談相手】



相談相手が「はい（いる）」の回答者における相談相手について、「家族にいる」と回答した人の割合が40.5%、「家族以外にいる」と回答した人の割合が13.4%、「どちらにもいる」と回答した人の割合が44.6%となっている。

【相談相手（性別、性・年齢別）】



性別にみると、「家族にいる」と回答した人の割合は、男性で5割を超え、「どちらにもいる」と回答した人の割合は、女性で5割を超えていている。

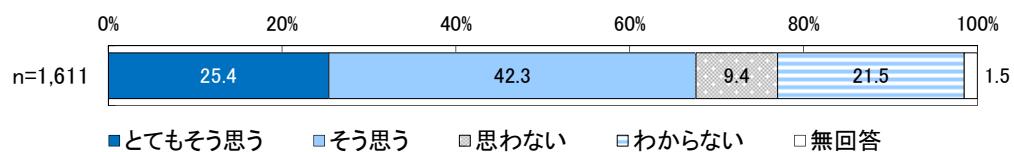
性・年齢別にみると、「家族にいる」と回答した人の割合は、男性50歳代、男性60歳代、男性70歳以上で6割を超え、「どちらにもいる」と回答した人の割合は、男性15～19歳、女性15～19歳、女性30歳代で6割を超えてている。

7 うつ病に関する考え方

(1) うつ病と自殺（自死）の関連性

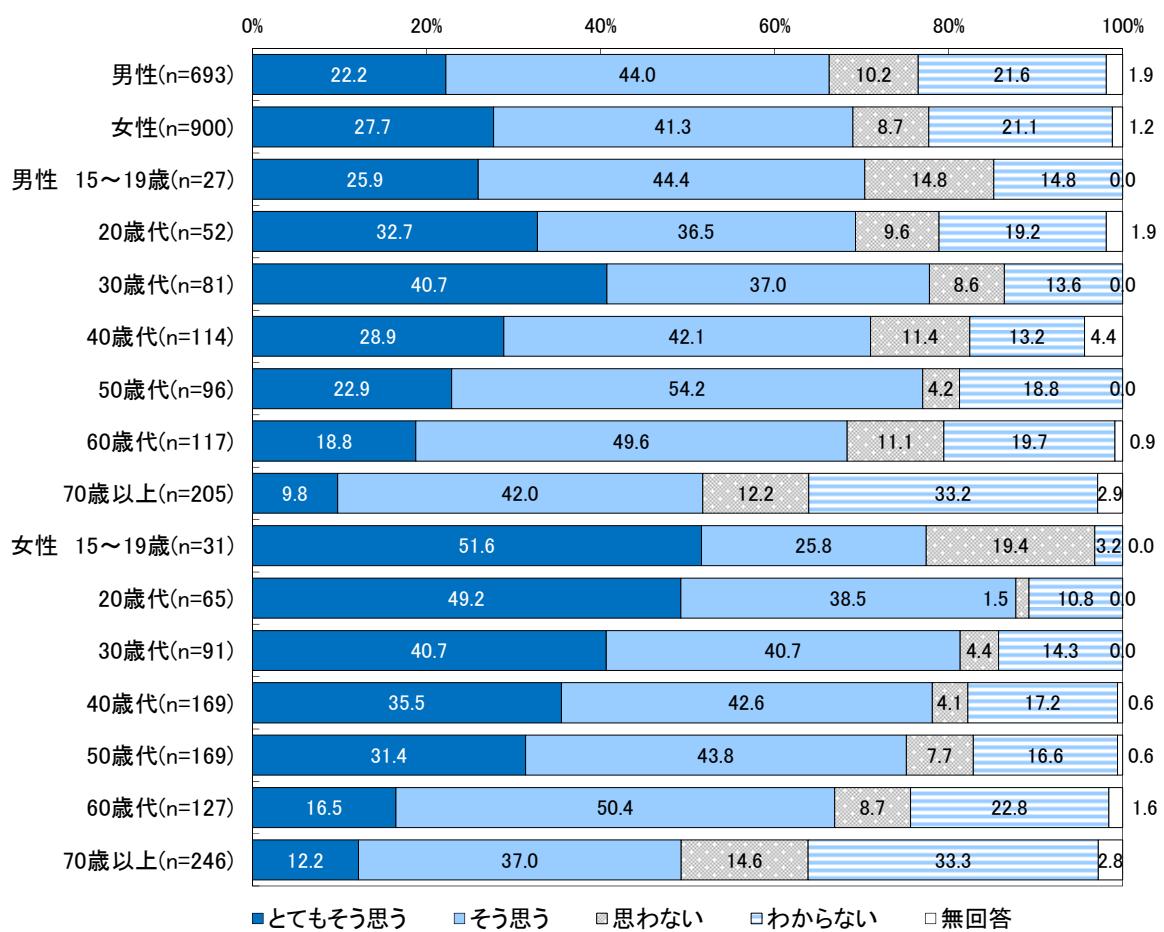
問20 「うつ病」は自殺（自死）に強く関連していると思いますか。

【うつ病と自殺（自死）の関連性】



うつ病と自殺（自死）の関連性について、関連していると『思う』（「とてもそう思う」+「そう思う」）と回答した人の割合が67.7%、関連していると「思わない」と回答した人の割合が9.4%となっている。

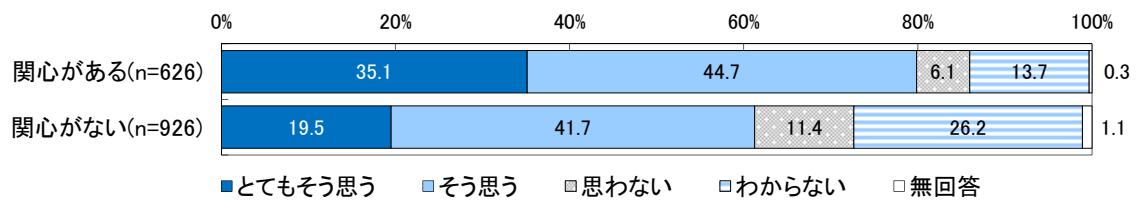
【うつ病と自殺（自死）の関連性（性別、性・年齢別）】



性別にみると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、大きな差はみられない。

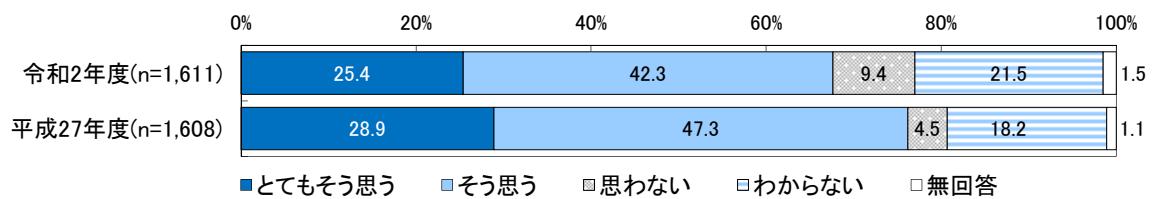
性・年齢別にみると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、女性20歳代、女性30歳代で8割を超えており、男女ともに70歳以上では5割前後となっている。

【うつ病と自殺（自死）の関連性（自殺（自死）対策への関心度別）】



自殺（自死）対策への関心度別にみると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、関心がある人で約8割となっているが、関心がない人では6割台前半となっている。

【うつ病と自殺（自死）の関連性（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、平成 27 年度調査よりも低下している。

(2) 家族や友人の状態について

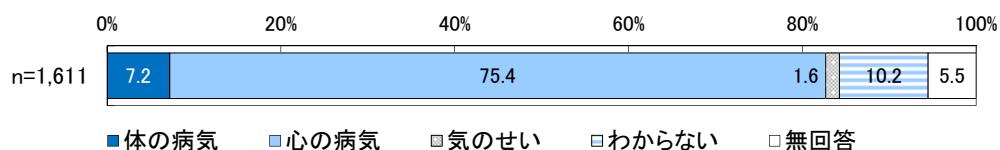
問21 あなたの家族や友人のひとりが次のような状態になった場合を想定してお答えください。

「この2～3週間、食欲が無く眠れない日々が続き、体重が減ってきたようです。また、ふさぎ込むようになり、仕事に集中できなくなってしましました。物事に対して興味がわかないうで、話しかけても返事に乏しく、悲観的な事を言っています。」

①その人の状態

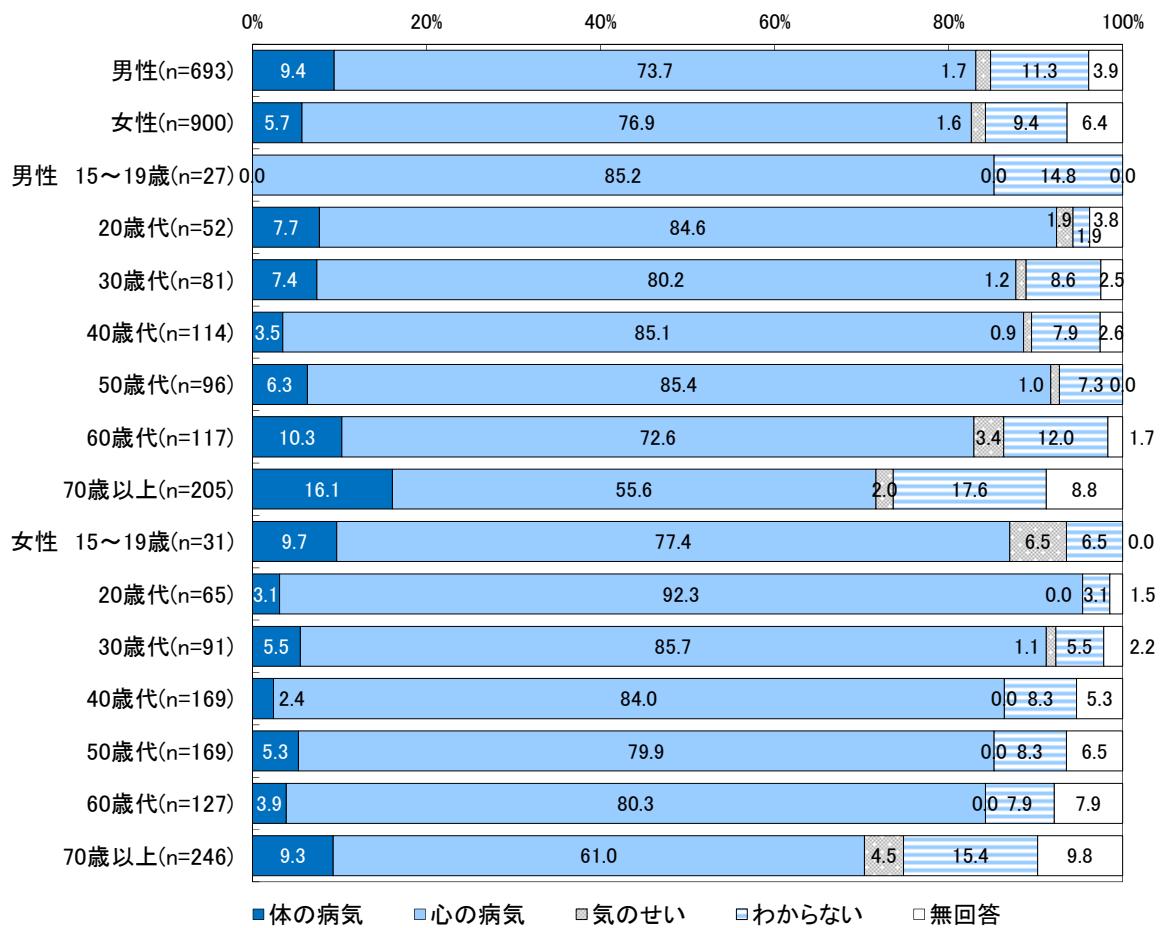
付問1 その人の状態に最もあてはまるのは次のどれだと思いますか。

【その人の状態にあてはまると思うこと】



その人の状態にあてはまると思うことについて、「体の病気」と回答した人の割合が7.2%、「心の病気」と回答した人の割合が75.4%となっている。

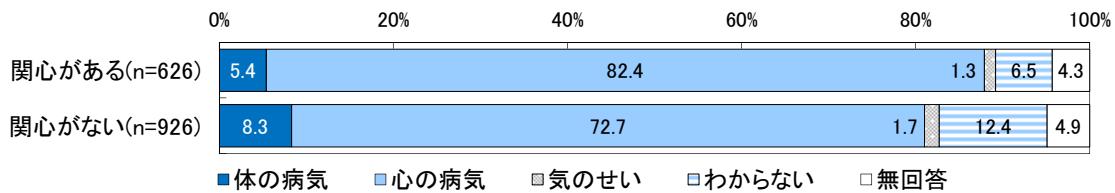
【その人の状態にあてはまると思うこと（性別、性・年齢別）】



性別にみると、「心の病気」と回答した人の割合は、男女ともに7割台となっている。

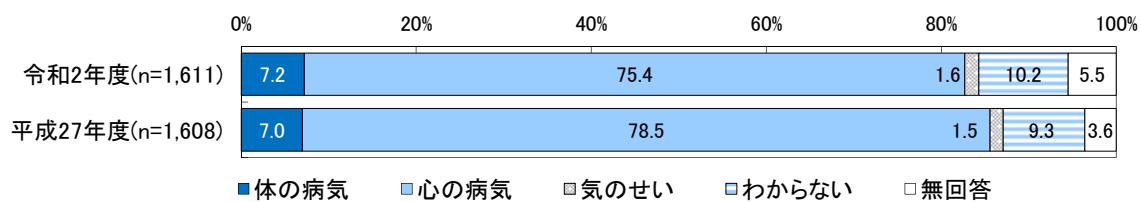
性・年齢別にみると、「心の病気」と回答した人の割合は、女性20歳代で9割を超えておりが、男性70歳以上では5割台となっている。

【その人の状態にあてはまると思うこと（自殺（自死）対策への関心度別）】



自殺（自死）対策への関心度別にみると、「心の病気」と回答した人の割合は、関心がある人で8割を超えておりが、関心がない人では7割台前半となっている。

【その人の状態にあてはまると思うこと（前回調査結果との比較）】

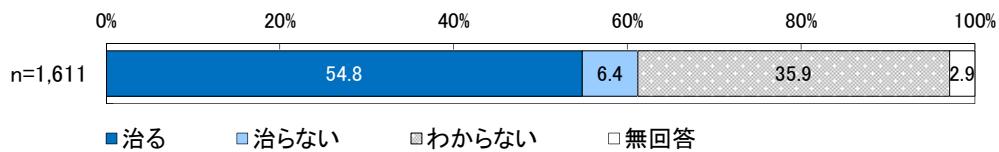


前回調査結果と比較すると、「心の病気」と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも低下している。

②適切な治療について

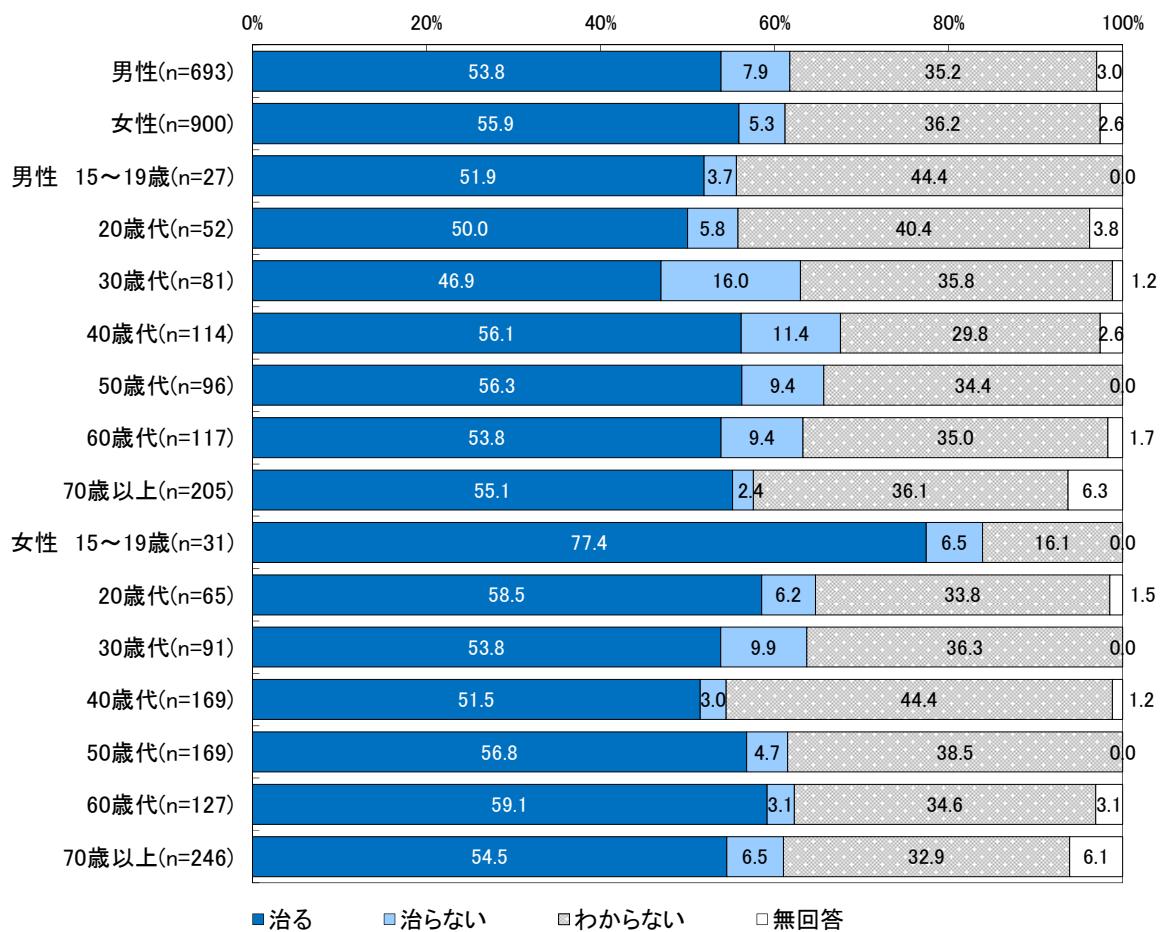
付問2 その人の状態は適切な治療で治ると思いますか。

【適切な治療による効果】



適切な治療による効果について、適切な治療で「治る」と回答した人の割合が 54.8%、「治らない」と回答した人の割合が 6.4%となっている。

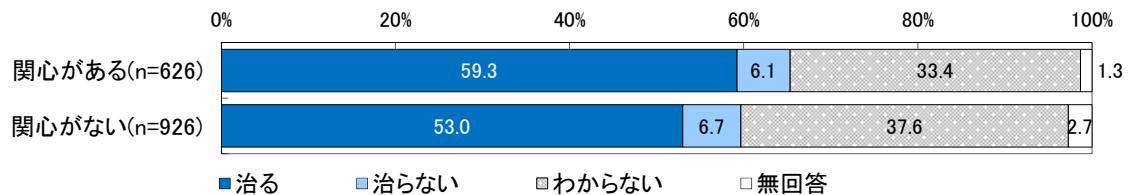
【適切な治療による効果（性別、性・年齢別）】



性別にみると、適切な治療で「治る」と回答した人の割合は、男女ともに5割台となっている。

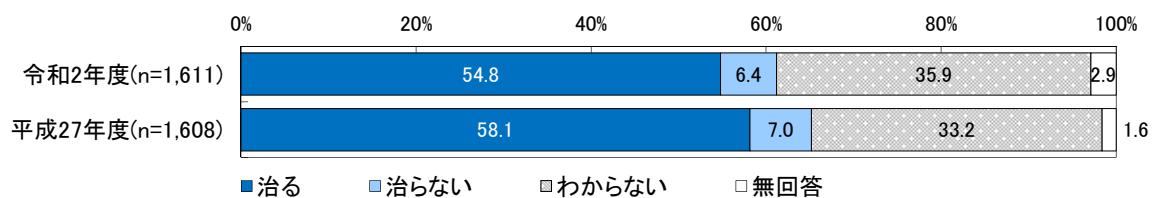
性・年齢別にみると、適切な治療で「治る」と回答した人の割合は、女性 15～19 歳で 7 割台後半、男性 30 歳代では 4 割台、他の年齢層では 5 割台となっている。

【適切な治療による効果（自殺（自死）対策への関心度別）】



自殺（自死）対策への関心度別にみると、「治る」と回答した人の割合は、関心がある人で約6割、関心がない人で5割台前半となっている。

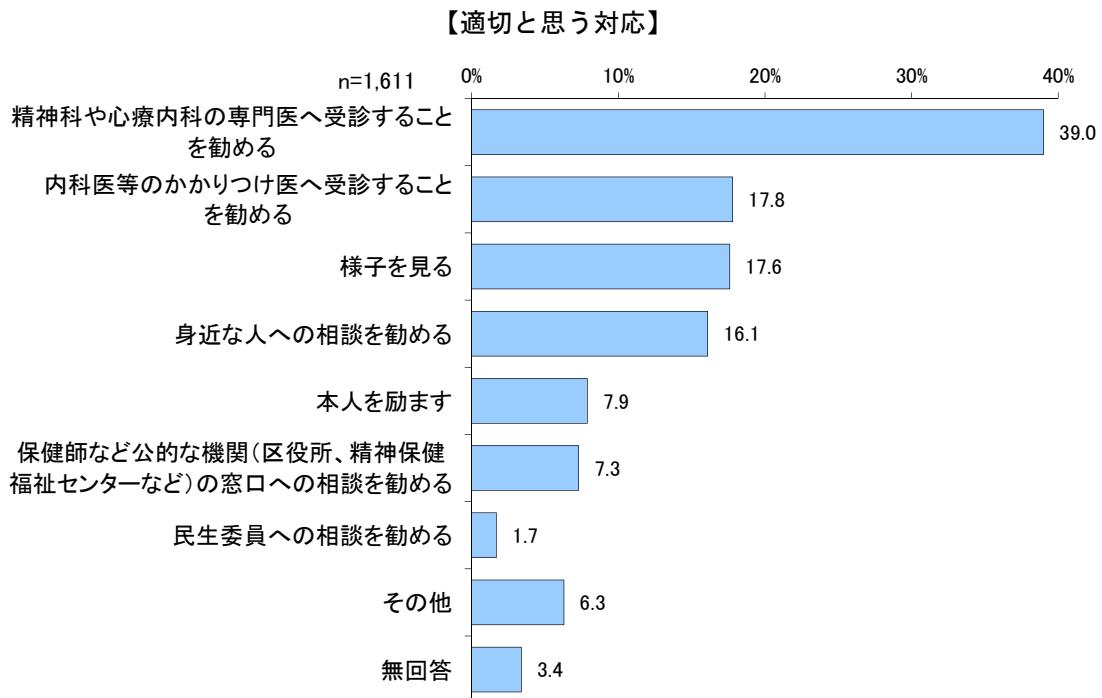
【適切な治療による効果（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「治る」と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

③適切な対応について

付問3 あなたは、その人にどのように対応したらよいと思いますか。



* 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が100.0%を超える。

適切と思う対応について、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合が39.0%と最も高く、「内科医等のかかりつけ医へ受診することを勧める」(17.8%)、「様子を見る」(17.6%)、「身近な人への相談を勧める」(16.1%)が続いている。

【適切と思う対応（性別、性・年齢別）】

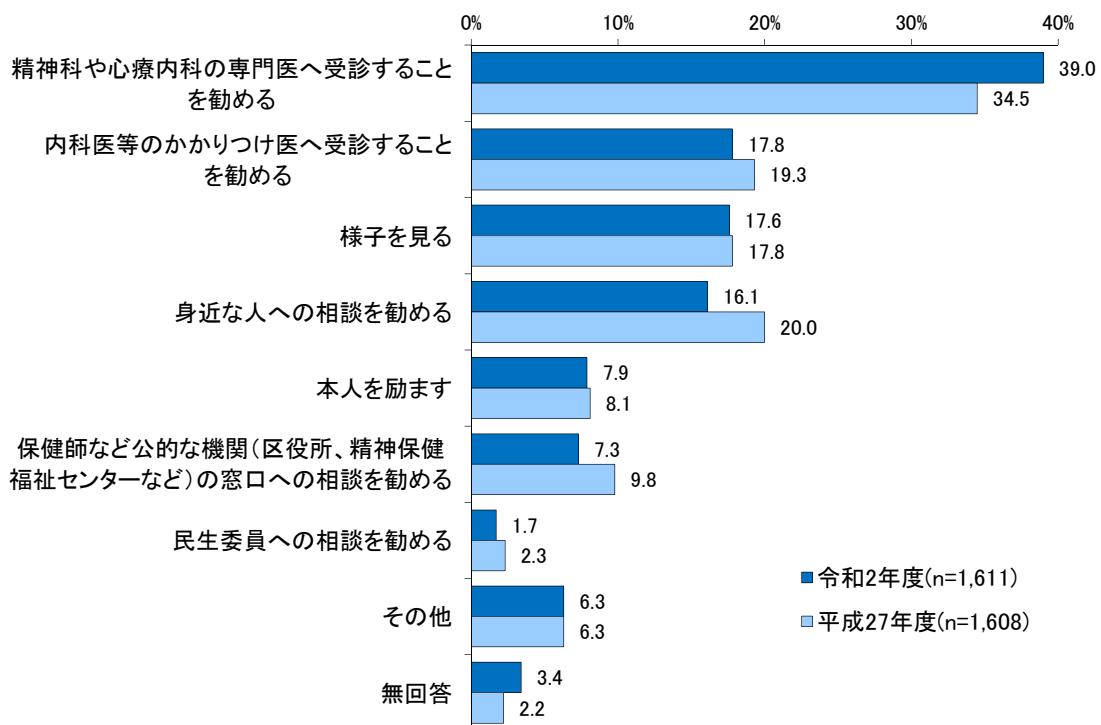
	回答数	精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める	内科医等のかかりつけ医へ受診することを勧める	様子を見る	身近な人への相談を勧める	本人を励ます	保健師など公的な機関（区役所、精神保健福祉センターなど）の窓口への相談を勧める	民生委員への相談を勧める	その他	無回答
男性	693	37.8%	16.0%	15.0%	16.5%	9.2%	8.5%	1.0%	5.2%	3.2%
女性	900	40.2%	19.2%	19.6%	15.7%	6.9%	6.1%	2.0%	7.1%	3.3%
男性 15～19歳	27	40.7%	3.7%	18.5%	14.8%	14.8%	14.8%	—	—	—
20歳代	52	34.6%	3.8%	17.3%	26.9%	11.5%	5.8%	—	5.8%	3.8%
30歳代	81	35.8%	14.8%	21.0%	11.1%	8.6%	8.6%	—	7.4%	1.2%
40歳代	114	43.9%	7.0%	11.4%	17.5%	6.1%	7.9%	—	7.0%	3.5%
50歳代	96	41.7%	15.6%	16.7%	13.5%	9.4%	9.4%	1.0%	6.3%	—
60歳代	117	41.9%	16.2%	16.2%	17.1%	7.7%	6.0%	0.9%	5.1%	0.9%
70歳以上	205	31.7%	26.3%	12.2%	16.1%	10.7%	9.8%	2.4%	3.4%	6.8%
女性 15～19歳	31	29.0%	9.7%	12.9%	32.3%	12.9%	3.2%	—	6.5%	—
20歳代	65	38.5%	9.2%	27.7%	13.8%	10.8%	4.6%	—	12.3%	—
30歳代	91	53.8%	5.5%	8.8%	20.9%	6.6%	6.6%	1.1%	8.8%	—
40歳代	169	47.3%	18.3%	19.5%	14.2%	4.7%	3.0%	—	9.5%	2.4%
50歳代	169	42.6%	20.7%	24.9%	13.0%	5.9%	8.3%	1.2%	5.3%	0.6%
60歳代	127	46.5%	21.3%	17.3%	19.7%	4.7%	6.3%	3.1%	7.1%	1.6%
70歳以上	246	27.6%	26.8%	19.9%	13.0%	8.5%	7.3%	4.5%	4.9%	8.5%

性別にみると、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合は、男性で3割台後半、女性で約4割となっている。

性・年齢別にみると、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合は、女性30歳代で5割台前半、女性40歳代、女性60歳代で4割台後半となっているが、男性70歳以上では3割台前半、女性70歳以上では2割台後半となっている。

「身近な人への相談を勧める」と回答した人の割合は、女性15～19歳で3割を超えている。

【適切と思う対応（前回調査結果との比較）】



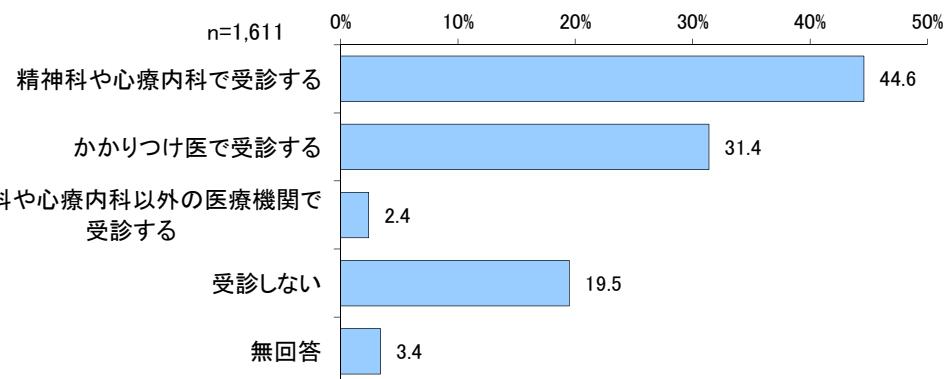
前回調査結果と比較すると、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも上昇している。

8 うつ病になった場合の対応

(1) うつ病になった場合の医療機関の受診意向

問 22 あなたは、もし「うつ病」だと思われる症状が2～3週間以上続いたら、医療機関で受診しますか。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向】



* 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が100.0%を超える。

うつ病になった場合の医療機関の受診意向について、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合が44.6%、「かかりつけ医で受診する」と回答した人の割合が31.4%、「精神科や心療内科以外の医療機関で受診する」と回答した人の割合が2.4%、「受診しない」と回答した人の割合が19.5%となっている。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（性別、性・年齢別）】

	回答数	精神科や心療内科で受診する	かかりつけ医で受診する	精神科や心療内科以外の医療機関で受診する	受診しない	無回答
男性	693	44.0%	31.0%	2.0%	20.5%	3.3%
女性	900	45.3%	32.0%	2.6%	18.1%	3.2%
男性 15～19歳	27	59.3%	14.8%	—	25.9%	—
20歳代	52	46.2%	17.3%	—	32.7%	3.8%
30歳代	81	51.9%	11.1%	7.4%	25.9%	3.7%
40歳代	114	60.5%	15.8%	0.9%	19.3%	3.5%
50歳代	96	57.3%	17.7%	—	26.0%	—
60歳代	117	36.8%	38.5%	2.6%	21.4%	1.7%
70歳以上	205	27.3%	54.6%	2.0%	12.2%	5.9%
女性 15～19歳	31	48.4%	29.0%	6.5%	19.4%	—
20歳代	65	55.4%	18.5%	—	24.6%	1.5%
30歳代	91	65.9%	11.0%	2.2%	18.7%	2.2%
40歳代	169	56.2%	17.2%	3.6%	20.7%	2.4%
50歳代	169	50.9%	18.3%	3.0%	27.8%	2.4%
60歳代	127	51.2%	37.0%	1.6%	11.0%	0.8%
70歳以上	246	20.7%	60.6%	2.4%	11.4%	6.5%

性別にみると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、男女ともに4割台となっている。

性・年齢別にみると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、男性 40 歳代、女性 30 歳代で 6 割を超えていている。

「かかりつけ医で受診する」と回答した人の割合は、男性 70 歳以上で 5 割台半ば、女性 70 歳以上で約 6 割となっている。

また、「受診しない」と回答した人の割合は、男性 20 歳代で 3 割を超えていている。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（就業状況別）】

	回答数	精神科や心療内科で受診する	かかりつけ医で受診する	精神科や心療内科以外の医療機関で受診する	受診しない	無回答
農業、林業、水産業	13	30.8%	46.2%	-	15.4%	7.7%
商業、サービス業、工業	65	38.5%	30.8%	3.1%	23.1%	4.6%
自由業(弁護士、開業医、芸術家など)	29	65.5%	17.2%	3.4%	13.8%	-
管理職(会社・団体の役員、課長以上の人など)	76	53.9%	26.3%	5.3%	15.8%	-
専門・技術職	210	61.0%	18.6%	1.9%	18.1%	0.5%
事務職(会社・団体の一般事務など)	145	58.6%	15.2%	2.1%	22.1%	2.1%
販売・サービス職(店員、理・美容師など)	77	41.6%	22.1%	1.3%	28.6%	6.5%
技能・労務職(工員、建設作業者、運転手、ガードマンなど)	101	35.6%	27.7%	3.0%	31.7%	2.0%
パートタイマー、アルバイト(学生を除く)	176	54.0%	25.6%	1.1%	19.3%	1.1%
専業主婦・主夫	225	39.6%	40.0%	2.2%	16.9%	2.2%
学生	82	54.9%	17.1%	2.4%	26.8%	-
無職	342	30.7%	49.1%	2.3%	15.2%	5.6%

就業状況別にみると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、「自由業(弁護士、開業医、芸術家など)」、「専門・技術職」で6割を超えていている。

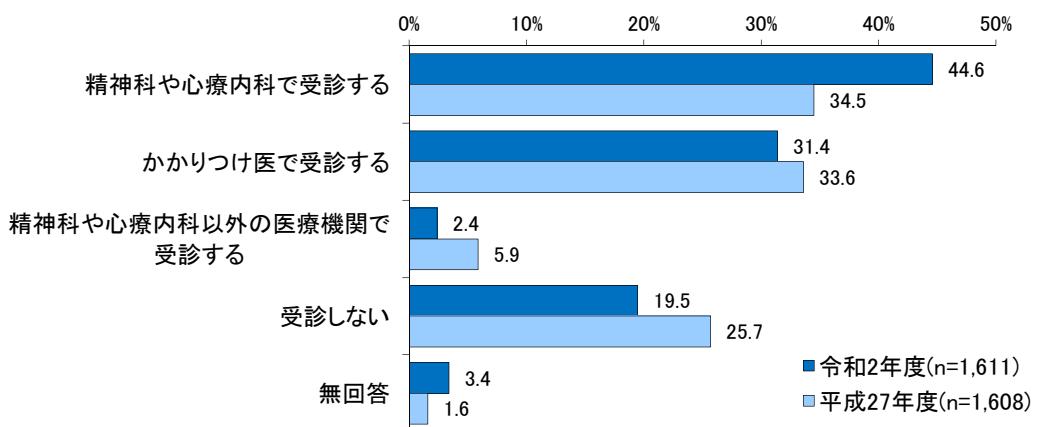
「受診しない」と回答した人の割合は、「技能・労務職(工員、建設作業者、運転手、ガードマンなど)」で3割台前半、「販売・サービス職(店員、理・美容師など)」、「学生」で2割台後半となっている。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（抑うつ尺度別）】

	回答数	精神科や心療内科で受診する	かかりつけ医で受診する	精神科や心療内科以外の医療機関で受診する	受診しない	無回答
正常	1,039	49.2%	31.7%	1.5%	16.4%	2.2%
軽いうつ状態	204	43.6%	28.4%	3.4%	22.5%	2.0%
中程度のうつ状態	126	34.1%	32.5%	3.2%	29.4%	1.6%
重症のうつ状態	152	40.1%	22.4%	3.9%	32.9%	3.3%

抑うつ尺度別にみると、「受診しない」と回答した人の割合は、うつ状態が重症なほど高くなっている。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（前回調査結果との比較）】



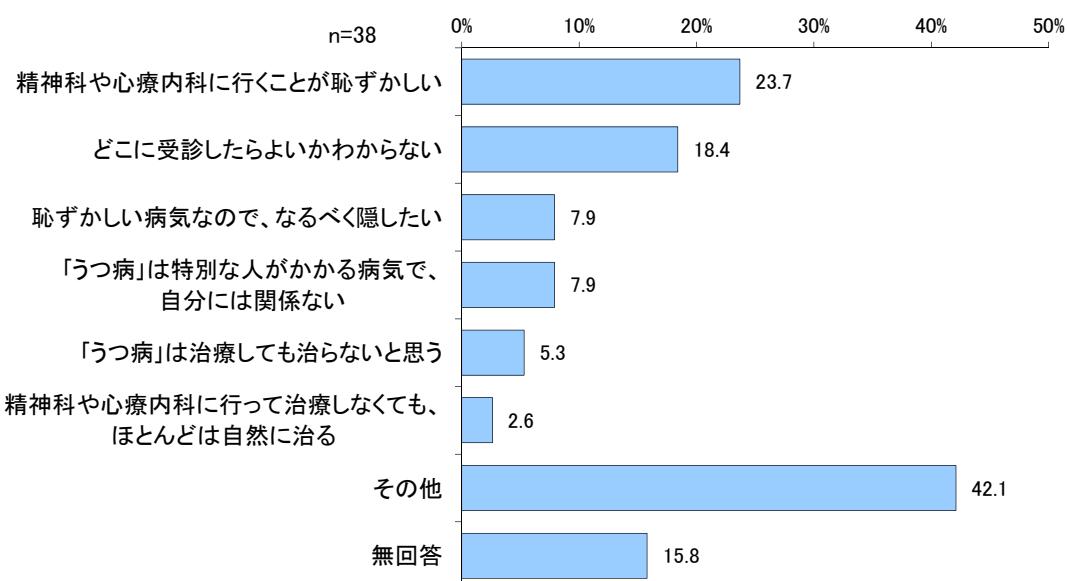
前回調査結果と比較すると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、平成 27 年度調査よりも上昇している。

(2) 精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由

問22で「3 精神科や心療内科以外の医療機関で受診する」と回答した人のみ回答

問23 なぜ精神科や心療内科の医療機関で受診しないのですか。(○はいくつでも)

【精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由】



精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由について、「精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい」と回答した人の割合が 23.7% と最も高く、次いで「どこに受診したらよいかわからない」(18.4%) となっている。

【精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由（性別）】

	回答数	精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい	どこに受診したらよいかわからない	恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい	「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない	「うつ病」は治療しても治らないと思う	精神科や心療内科に行って治療しなくても、ほとんどは自然に治る	その他	無回答
男性	14	14.3%	14.3%	-	7.1%	14.3%	-	64.3%	-
女性	23	30.4%	21.7%	13.0%	8.7%	-	4.3%	26.1%	26.1%

性別にみると、「精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい」と回答した人の割合は、女性で 3 割を超えている。

【精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由（その他の内訳）】

「その他」への回答が 42.1%を占め高くなっているが、その内容は次表の通り分類した。

分類内容	件数
①医者や薬への不信感	6
②相談機関等へ相談する	4
③自分で治す、気分転換する、環境を変える	2
④うつへの偏見	2
⑤その他	2

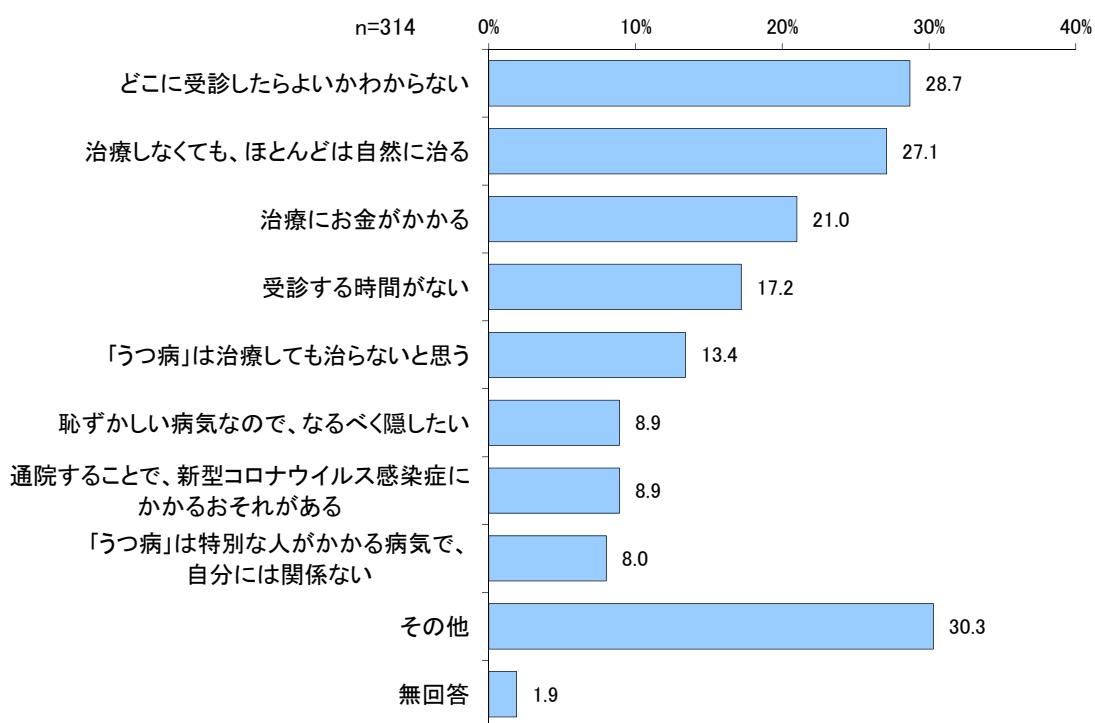
精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由（その他の理由）／回答例	
①医者や薬への不信感／回答例	
先生が信頼できる人なら受診したいが、そこまでの勇氣があるか。薬も飲みたくない。 (女性 70 歳以上)	
薬に頼りたくないため。(男性 30 歳代)	
②相談機関等へ相談する／回答例	
会社の診療所を使う。(男性 30 歳代)	
相談室など。1人1人に時間をかけてくれる人に診察してほしい。(女性 15~19 歳)	
③自分で治す、気分転換する、環境を変える／回答例	
整体等を行い、運動をする。(男性 60 歳代)	
楽しいことを思って暮らす。自分の好きな歌を聞いて暮らすこと。(性別不明 70 歳以上)	
④うつへの偏見／回答例	
受診歴に対するデメリット。(男性 30 歳代)	
もし“うつ病”と診断されたら、社会復帰が難しくなってしまうため(採用)。(女性 30 歳代)	

(3) 医療機関で受診しない理由

問 22 で「4 受診しない」と回答した人のみ回答

問 24 なぜ医療機関で受診しないのですか。(○はいくつでも)

【医療機関で受診しない理由】



医療機関で受診しない理由について、「どこに受診したらよいかわからない」と回答した人の割合が 28.7% と最も高く、「治療しなくても、ほとんどは自然に治る」(27.1%)、「治療にお金がかかる」(21.0%)、「受診する時間がない」(17.2%) が続いている。

【医療機関で受診しない理由（性別、性・年齢別）】

	回答数	どこに受診したらよいかわからない	治療しなくとも、ほとんどは自然に治る	治療にお金がかかる	受診する時間がない	「うつ病」は治療しても治らないと思う	恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい	通院することで、新型コロナウイルス感染症にかかるおそれがある	「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない
男性	142	23.9%	32.4%	18.3%	21.8%	15.5%	4.9%	9.2%	12.0%
女性	163	33.7%	22.1%	22.7%	13.5%	12.3%	12.3%	9.2%	4.3%
男性 15～19歳	7	42.9%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	-	14.3%	-
20歳代	17	5.9%	35.3%	23.5%	17.6%	17.6%	-	5.9%	17.6%
30歳代	21	42.9%	9.5%	9.5%	28.6%	14.3%	4.8%	14.3%	9.5%
40歳代	22	18.2%	18.2%	22.7%	36.4%	13.6%	18.2%	-	13.6%
50歳代	25	20.0%	24.0%	28.0%	28.0%	20.0%	-	8.0%	-
60歳代	25	20.0%	52.0%	20.0%	16.0%	16.0%	4.0%	12.0%	20.0%
70歳以上	25	28.0%	48.0%	8.0%	4.0%	12.0%	4.0%	12.0%	16.0%
女性 15～19歳	6	16.7%	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-
20歳代	16	50.0%	25.0%	37.5%	31.3%	31.3%	18.8%	25.0%	12.5%
30歳代	17	29.4%	5.9%	23.5%	23.5%	11.8%	17.6%	11.8%	-
40歳代	35	34.3%	14.3%	37.1%	11.4%	5.7%	25.7%	8.6%	-
50歳代	47	36.2%	23.4%	14.9%	17.0%	14.9%	4.3%	8.5%	2.1%
60歳代	14	21.4%	35.7%	28.6%	-	21.4%	7.1%	14.3%	7.1%
70歳以上	28	32.1%	32.1%	7.1%	3.6%	3.6%	7.1%	-	10.7%

	回答数	その他	無回答
男性	142	23.9%	2.8%
女性	163	35.0%	1.2%
男性 15～19歳	7	14.3%	-
20歳代	17	29.4%	5.9%
30歳代	21	38.1%	-
40歳代	22	22.7%	4.5%
50歳代	25	36.0%	-
60歳代	25	12.0%	-
70歳以上	25	12.0%	8.0%
女性 15～19歳	6	33.3%	16.7%
20歳代	16	25.0%	-
30歳代	17	52.9%	-
40歳代	35	37.1%	-
50歳代	47	38.3%	-
60歳代	14	28.6%	-
70歳以上	28	25.0%	3.6%

性別にみると、「どこに受診したらよいかわからない」と回答した人の割合は、女性で3割を超えていている。

「治療しなくても、ほとんどは自然に治る」と回答した人の割合は、男性で3割を超えてい る。

性・年齢別にみると、回答数の少ない年齢層を除くと、「治療しなくても、ほとんどは自然に治る」と回答した人の割合は、男性 60 歳代で5割を超えてい る。

【医療機関で受診しない理由（家族構成別）】

	回答数	どこに受診したらよいかわからない	治療しなくて、ほとんどは自然に治る	治療にお金がかかる	受診する時間がない	「うつ病」は治療しても治らないと思う	恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい	通院することで、新型コロナウィルス感染症にかかるおそれがある	「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない
一人暮らし	55	30.9%	29.1%	18.2%	14.5%	14.5%	3.6%	9.1%	5.5%
夫婦だけ	79	22.8%	31.6%	15.2%	10.1%	15.2%	3.8%	6.3%	12.7%
あなた（又はあなた夫婦）と親	46	26.1%	21.7%	21.7%	17.4%	13.0%	10.9%	13.0%	4.3%
あなた（又はあなた夫婦）と子	108	34.3%	20.4%	24.1%	21.3%	10.2%	13.0%	7.4%	6.5%
あなたを含めて三世代	21	14.3%	52.4%	23.8%	19.0%	19.0%	14.3%	14.3%	9.5%
その他	3	100.0%	-	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	-

	回答数	その他	無回答
一人暮らし	55	38.2%	5.5%
夫婦だけ	79	19.0%	1.3%
あなた（又はあなた夫婦）と親	46	41.3%	2.2%
あなた（又はあなた夫婦）と子	108	32.4%	0.9%
あなたを含めて三世代	21	9.5%	-
その他	3	66.7%	-

家族構成別にみると、「どこに受診したらよいかわからない」と回答した人の割合は、一人暮らし世帯、あなた（又はあなた夫婦）と子の世帯で3割を超えている。

【医療機関で受診しない理由（その他の内訳）】

「その他」への回答が 30.3% を占め高くなっているが、その内容は次表の通り分類した。

分類内容	件数
①医者や薬への不信感	23
②自分自身がうつだと自覚できない	15
③自分から受診できない、病院に行きたくない	13
④自分で治す、気分転換、環境を変える	8
⑤しばらく様子を見る	8
⑥相談機関、家族や友人等へ相談する	7
⑦うつへの偏見	4
⑧その他	21

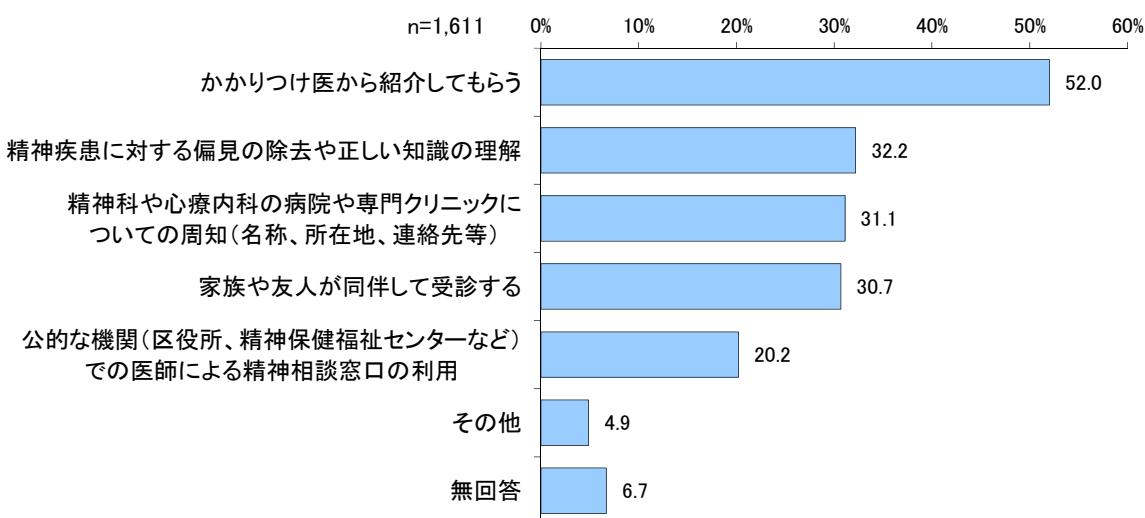
医療機関で受診しない理由（その他の理由）／回答例
①医者や薬への不信感／回答例
薬に頼りたくない。（女性 40 歳代）
薬を服用したくないから。（女性 50 歳代）
患者が頼れる病院がそもそも少ないので、5 分の話 + 薬では治りません。（男性 50 歳代）
本当に良い医師かわからない。（女性 50 歳代）
②自分自身がうつだと自覚できない／回答例
“うつ病”だと自分で思わない（あとで気付く）。（女性 30 歳代）
自分で気が付かないかもしれない。（女性 70 歳以上）
自分が「うつ病」であるとの自覚がない気がする。（男性 50 歳代）
どんな症状がうつ病なのか知らない。（男性 20 歳代）
③自分から受診できない、病院に行きたくない／回答例
病院嫌い。（男性 40 歳代）
自分で病院に行こうという気にすらならないと思う。親や他の人に連れて行かれると思う。（男性 20 歳代）
もしもうつ病にならなければ、外に出るのもやううつになると思うので、受診したほうがいいとわかっていても、気持ちが外に向かないと思う。（女性 30 歳代）
④自分で治す、気分転換、環境を変える／回答例
ひたすら休む、嫌な仕事なら辞める。うつの症状は色々あるので、状況による。（男性 30 歳代）
ストレスや不安要素を排除すれば良くなるから（環境を変えれば）。（男性 40 歳代）
自分がうつと認めたなら自力で治す。ストレスを感じる事をやめる。仕事であっても環境を変える。（男性 40 歳代）
⑤しばらく様子を見る／回答例
おそらく 2 ~ 3 週間であれば、自然に治るかもと思い、もっと長期化して初めて心療内科に行くと思う。（女性 20 歳代）
もう少し状況をみる。さらに悪化、変化持続の場合は受診をする。（女性 50 歳代）
⑥相談機関、家族や友人等へ相談する／回答例
まずは、相談機関（地域や職場の）を利用する。（女性 30 歳代）
まずは、信頼できる人に相談して必要だと思ったら受診する。（女性 50 歳代）
⑦うつへの偏見／回答例
恥ずかしくはないが、周りが腫れ物に触るような態度になるのがいやだ。（女性 30 歳代）
この程度で医療費かけてかかるのは、甘えているのではと周りから思われる気がする。（女性 40 歳代）

(4) 精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと

問25 精神科や心療内科の受診をしやすくするには、どのようにしたらよいと思いますか。

(○はいくつでも)

【精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと】



精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うことについて、「かかりつけ医から紹介してもらう」と回答した人の割合が 52.0%と最も高く、「精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解」(32.2%)、「精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)」(31.1%)、「家族や友人が同伴して受診する」(30.7%) が続いている。

【精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと（性別、性・年齢別）】

	回答数	かかりつけ医から紹介してもらう	精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解	精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)	家族や友人が同伴して受診する	公的な機関(区役所、精神保健福祉センターなど)での医師による精神相談窓口の利用	その他	無回答
男性	693	49.4%	28.9%	29.0%	25.7%	21.2%	3.5%	7.5%
女性	900	54.0%	34.9%	33.1%	34.7%	19.4%	6.1%	5.7%
男性 15～19歳	27	48.1%	33.3%	37.0%	22.2%	14.8%	—	7.4%
20歳代	52	30.8%	32.7%	26.9%	25.0%	13.5%	3.8%	11.5%
30歳代	81	29.6%	45.7%	35.8%	27.2%	27.2%	11.1%	6.2%
40歳代	114	36.0%	36.0%	36.8%	31.6%	23.7%	3.5%	6.1%
50歳代	96	39.6%	34.4%	38.5%	20.8%	22.9%	5.2%	3.1%
60歳代	117	58.1%	26.5%	29.9%	29.1%	27.4%	1.7%	4.3%
70歳以上	205	68.8%	15.6%	16.6%	22.4%	16.1%	1.0%	11.7%
女性 15～19歳	31	61.3%	38.7%	38.7%	38.7%	3.2%	6.5%	6.5%
20歳代	65	40.0%	49.2%	41.5%	46.2%	12.3%	7.7%	—
30歳代	91	38.5%	53.8%	37.4%	29.7%	26.4%	6.6%	2.2%
40歳代	169	43.2%	39.6%	37.3%	35.5%	21.3%	9.5%	5.3%
50歳代	169	46.7%	44.4%	45.6%	30.2%	20.1%	10.1%	3.6%
60歳代	127	56.7%	36.2%	35.4%	34.6%	32.3%	4.7%	0.8%
70歳以上	246	73.6%	13.4%	16.3%	35.8%	12.2%	1.2%	12.2%

性別にみると、「かかりつけ医から紹介してもらう」と回答した人の割合は、男性で約5割、女性で5割台前半となっている。

性・年齢別にみると、「かかりつけ医から紹介してもらう」と回答した人の割合は、男性70歳以上で6割台後半、女性70歳以上で7割台前半となっている。

「精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解」と回答した人の割合は、女性30歳代で5割台前半、男性30歳代、女性20歳代で4割台後半となっている。

「精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)」と回答した人の割合は、女性20歳代、女性50歳代で4割を超えている。

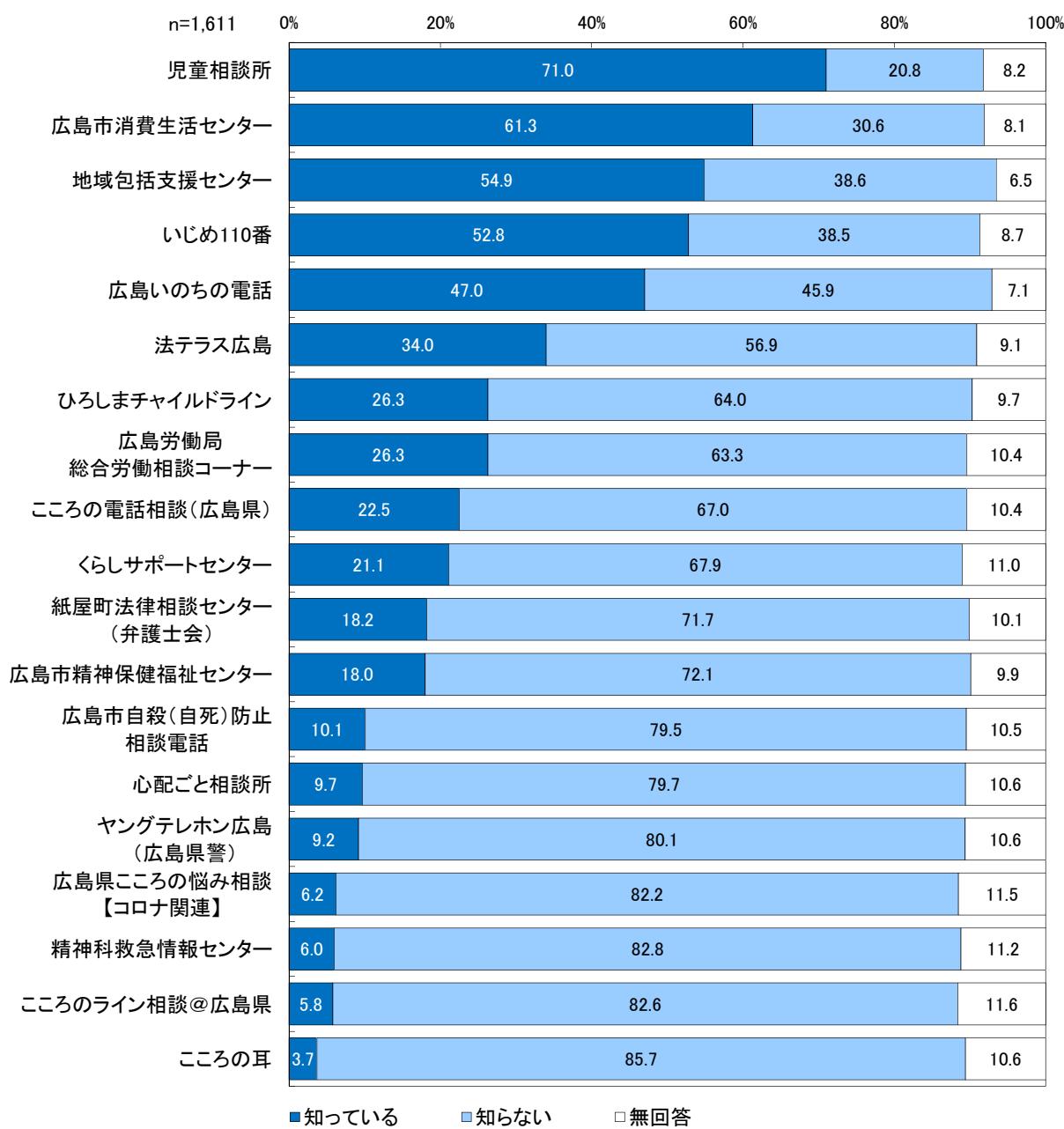
「家族や友人が同伴して受診する」と回答した人の割合は、女性20歳代で4割台後半となっている。

9 相談機関

(1) 各種相談機関の認知度

問 26 次の相談機関を知っていますか。

【各種相談機関の認知度】

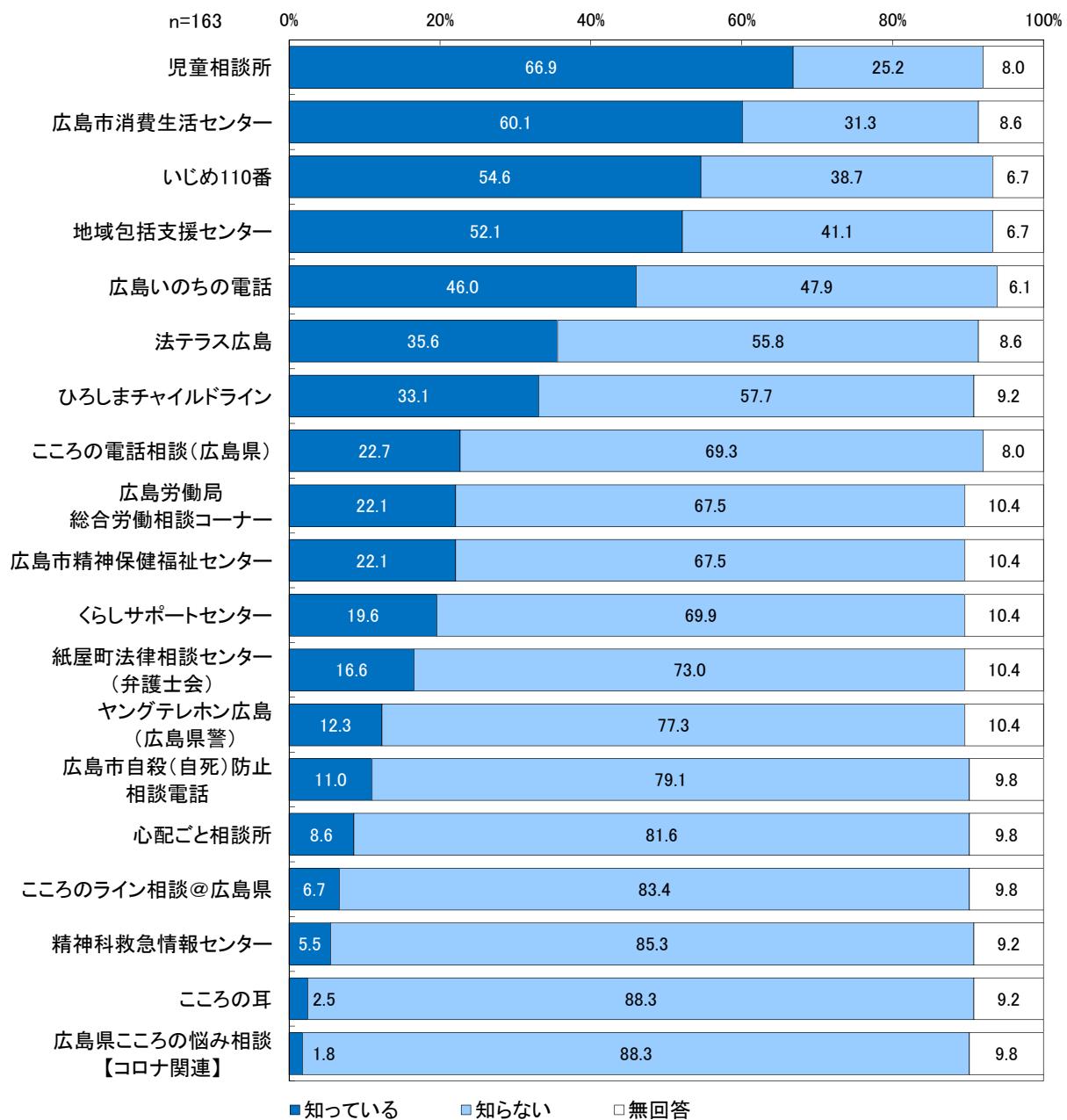


■知っている □知らない □無回答

各種相談機関の認知度について、「知っている」と回答した人の割合は、「児童相談所」、「広島市消費生活センター」、「地域包括支援センター」、「いじめ110番」で5割を超えており、特に「児童相談所」は7割以上である。

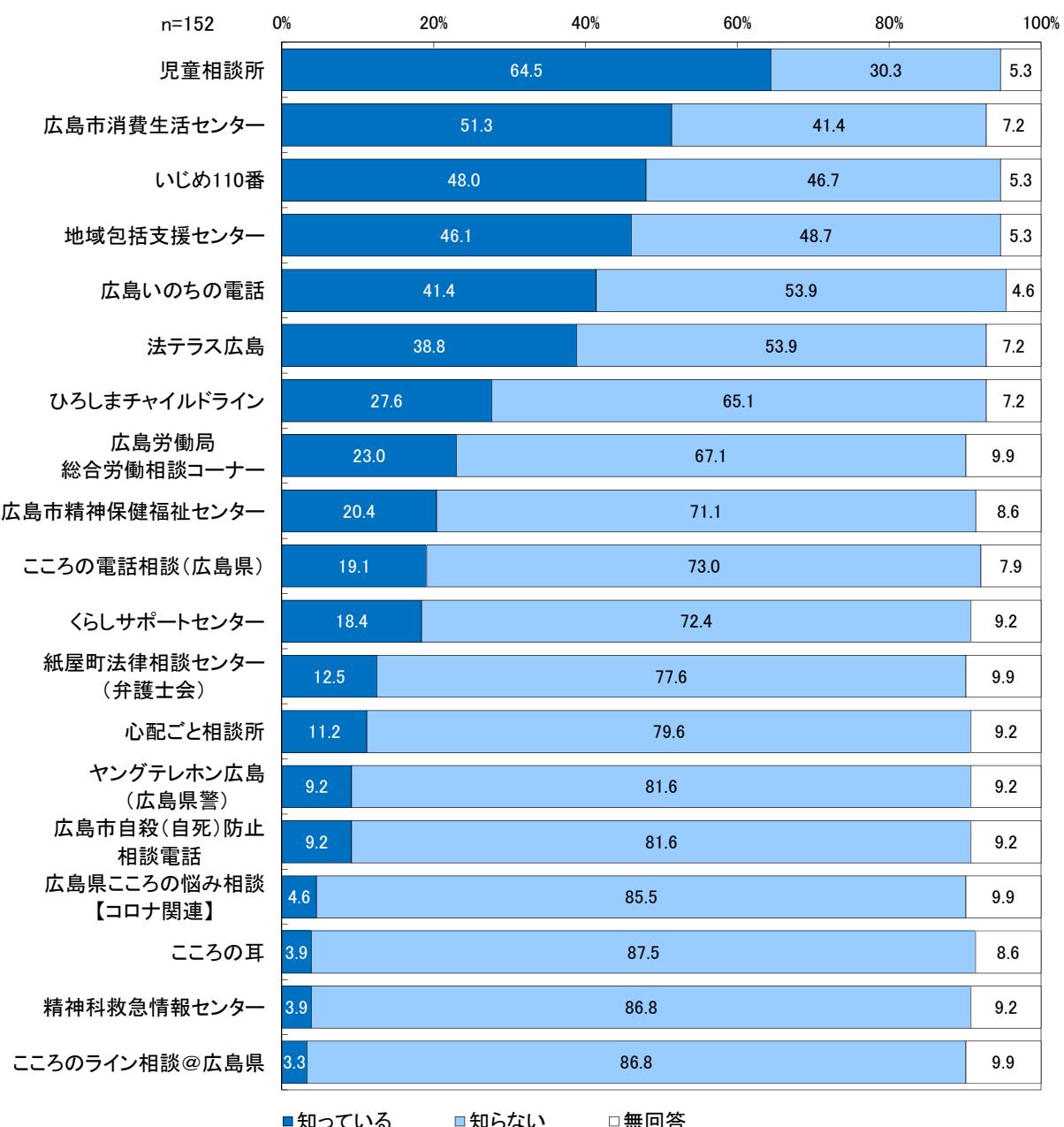
一方、「知らない」と回答した人の割合は、「こころの耳」、「こころのライン相談@広島県」、「精神科救急情報センター」、「広島県こころの悩み相談【コロナ関連】」、「ヤングテレホン広島(広島県警)」で8割を超えている。

【各種相談機関の認知度（死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人）】



死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人においても、「知らない」と回答した人の割合が5割を超える窓口が多くなっている。

【各種相談機関の認知度（抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人）】

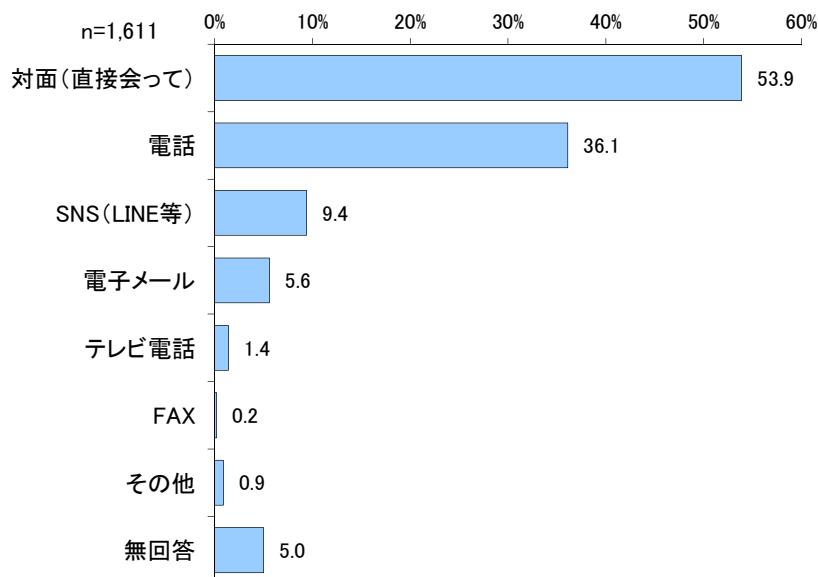


抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人においても、「知らない」と回答した人の割合が5割を超える窓口が多くなっている。

(2) 希望する相談方法

問 27 相談機関で相談するときに、どのような方法で相談したいですか。

【希望する相談方法】



希望する相談方法について、「対面(直接会って)」と回答した人の割合が 53.9% と最も高く、次いで「電話」(36.1%) となっている。

【希望する相談方法（性別・性・年齢別）】

	回答数	対面(直接会って)	電話	SNS(LINE等)	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
男性	693	61.3%	30.6%	5.9%	4.3%	1.0%	-	0.7%	4.9%
女性	900	48.7%	40.1%	12.1%	6.4%	1.8%	0.4%	1.0%	5.0%
男性 15～19歳	27	40.7%	29.6%	22.2%	3.7%	3.7%	-	-	-
20歳代	52	59.6%	19.2%	21.2%	5.8%	-	-	3.8%	1.9%
30歳代	81	58.0%	38.3%	12.3%	8.6%	4.9%	-	1.2%	1.2%
40歳代	114	60.5%	30.7%	7.0%	5.3%	-	-	-	2.6%
50歳代	96	64.6%	27.1%	4.2%	7.3%	-	-	1.0%	3.1%
60歳代	117	69.2%	29.1%	0.9%	4.3%	0.9%	-	-	2.6%
70歳以上	205	60.5%	33.2%	0.5%	0.5%	0.5%	-	0.5%	10.7%
女性 15～19歳	31	58.1%	29.0%	19.4%	6.5%	6.5%	-	-	-
20歳代	65	43.1%	23.1%	36.9%	4.6%	1.5%	1.5%	1.5%	-
30歳代	91	41.8%	34.1%	31.9%	15.4%	1.1%	-	-	2.2%
40歳代	169	52.7%	34.9%	13.6%	11.2%	3.6%	0.6%	2.4%	3.6%
50歳代	169	47.3%	43.2%	10.1%	10.7%	3.0%	-	1.8%	2.4%
60歳代	127	50.4%	54.3%	6.3%	0.8%	-	0.8%	-	0.8%
70歳以上	246	49.2%	42.7%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	-	12.6%

性別にみると、「対面（直接会って）」と回答した人の割合は、男女ともに最も高く、男性で 6 割台、女性で 4 割台後半となっている。

「電話」と回答した人の割合は、女性で約 4 割となっている。

性・年齢別にみると、「対面（直接会って）」と回答した人の割合は、男性40歳代～70歳以上で6割台となっている。

「電話」と回答した人の割合は、女性60歳代で5割台となっている。

「SNS（LINE等）」と回答した人の割合は、女性20歳代、女性30歳代で3割を超えている。

【希望する相談方法（死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別）】

	回答数	対面（直接会つて）	電話	SNS（LINE等）	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
悩みはなかった	1,377	55.2%	35.8%	8.9%	5.5%	1.6%	0.2%	0.7%	4.2%
悩みがあった	163	49.1%	39.3%	16.0%	5.5%	0.6%	0.6%	3.1%	4.9%

死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別にみると、悩みがあった人では、「対面（直接会つて）」と回答した人の割合が約5割、「電話」と回答した人の割合が約4割と上位となっているが、「SNS（LINE等）」と回答した人の割合が続いて1割台後半となっている。

【希望する相談方法（抑うつ尺度別）】

	回答数	対面（直接会つて）	電話	SNS（LINE等）	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
正常	1,039	56.9%	37.5%	7.6%	5.2%	1.4%	0.3%	0.6%	3.2%
軽いうつ状態	204	50.0%	38.7%	11.8%	7.4%	1.5%	0.5%	-	3.4%
中程度のうつ状態	126	49.2%	34.9%	11.1%	7.1%	2.4%	-	0.8%	4.0%
重症のうつ状態	152	48.7%	30.9%	21.7%	7.2%	1.3%	-	3.9%	3.9%

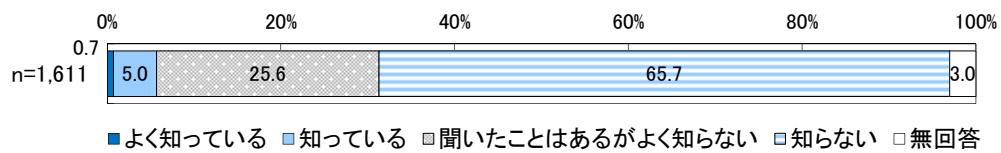
抑うつ尺度別にみると、「対面（直接会つて）」、「電話」と回答した人の割合は、うつ状態が重症なほど低く、重症のうつ状態に該当する人では、「SNS（LINE等）」と回答した人の割合が2割を超えていている。

10 自殺（自死）対策

(1) 自殺対策基本法の認知度

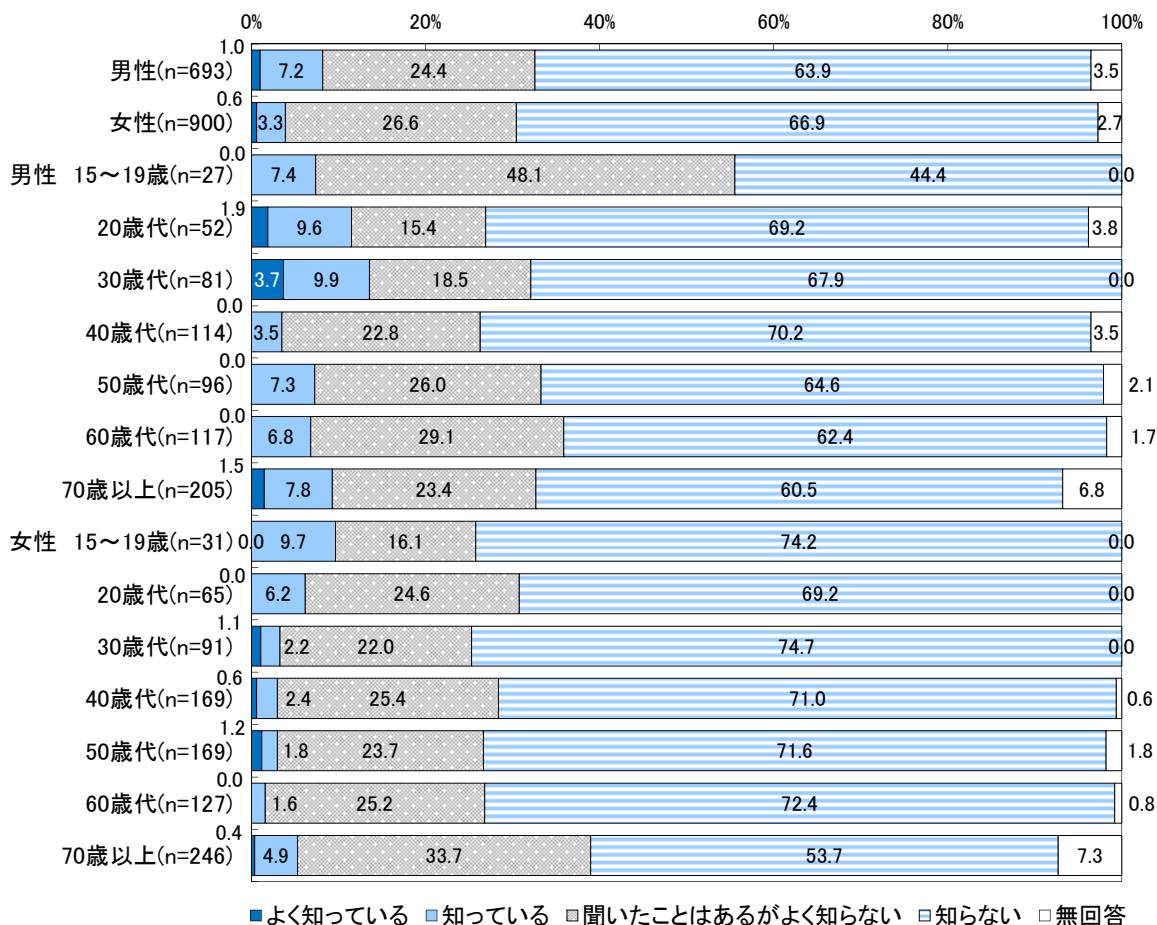
問 28 自殺（自死）対策を社会的な取組として総合的に推進するため、自殺対策基本法が施行されています。あなたは、この法律をご存知ですか。

【自殺対策基本法の認知度】



自殺対策基本法の認知度について、『知っている』（「よく知っている」 + 「知っている」）と回答した人の割合が 5.7%、『知らない』（「知らない」 + 「聞いたことはあるがよく知らない」）と回答した人の割合が 91.3% となっている。

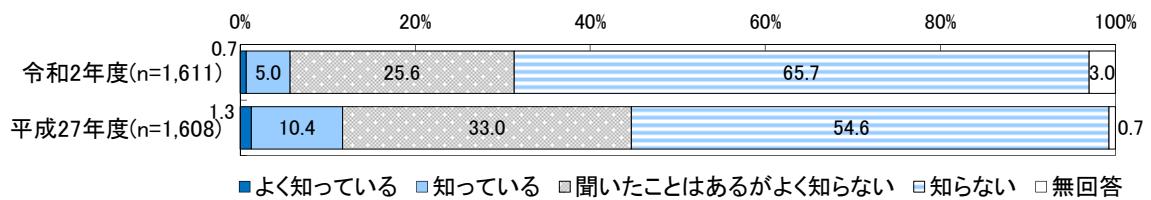
【自殺対策基本法の認知度（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男女ともに1割に満たない。

性・年齢別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男性 20 歳代、男性 30 歳代で 1 割を超えておりが、他の年齢層では 1 割に満たない。

【自殺対策基本法の認知度（前回調査結果との比較）】

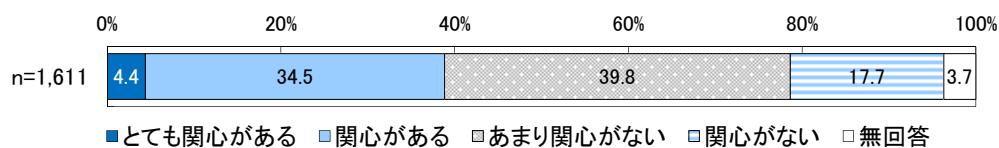


前回調査結果と比較すると、『知っている』と回答した人の割合は、平成 27 年度調査よりも低下している。

(2) 自殺（自死）対策への関心度

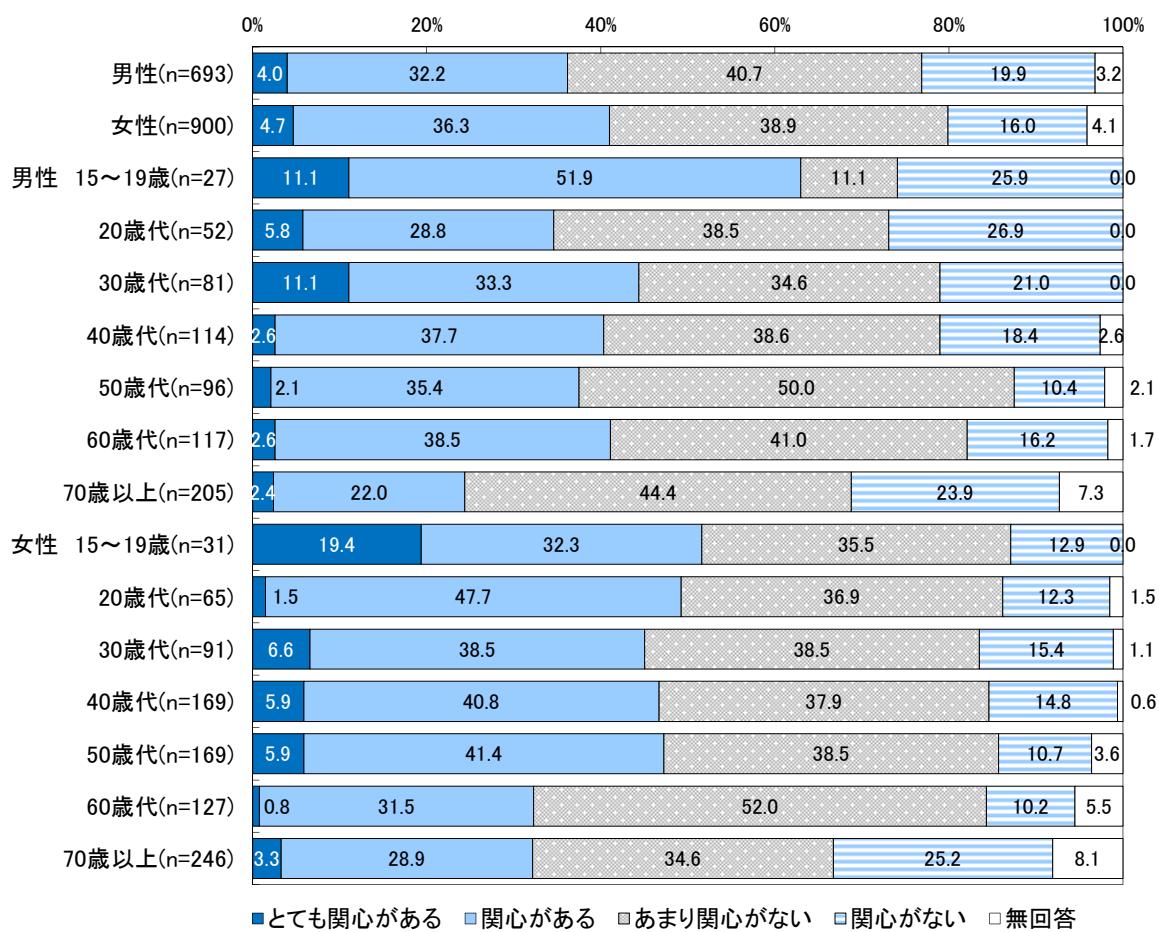
問29 あなたは、自殺（自死）対策に関心がありますか。

【自殺（自死）対策への関心度】



自殺（自死）対策への関心度について、『関心がある』（「とても関心がある」+「関心がある」）と回答した人の割合が 38.9%、『関心がない』（「関心がない」+「あまり関心がない」）と回答した人の割合が 57.5% となっている。

【自殺（自死）対策への関心度（性別、性・年齢別）】

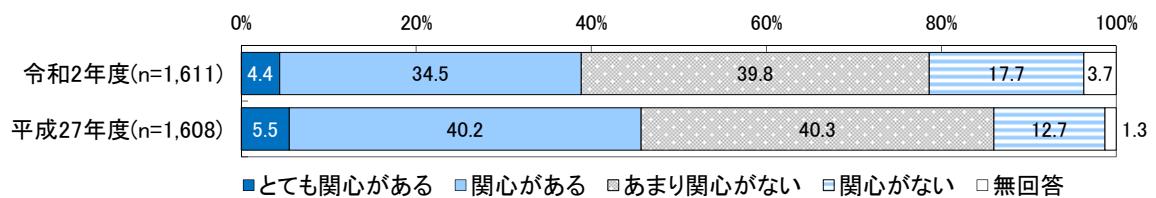


■とても関心がある ■関心がある ■あまり関心がない ■関心がない ■無回答

性別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、男性で 3 割台後半、女性で 4 割台前半となっている。

性・年齢別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、男性 15～19 歳で 6 割台前半、女性 15～19 歳で 5 割台前半、男性 30 歳代、男性 40 歳代、男性 60 歳代、女性 20 歳代～50 歳代で 4 割台となっている。

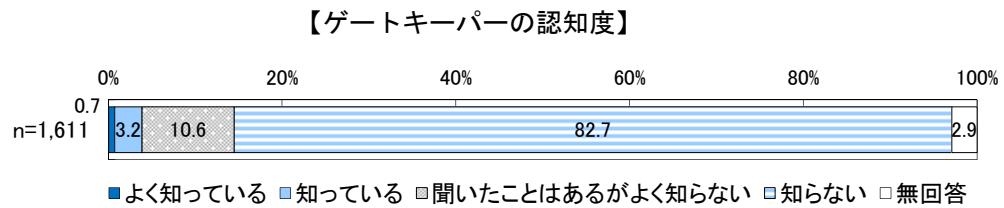
【自殺（自死）対策への関心度（前回調査結果との比較）】



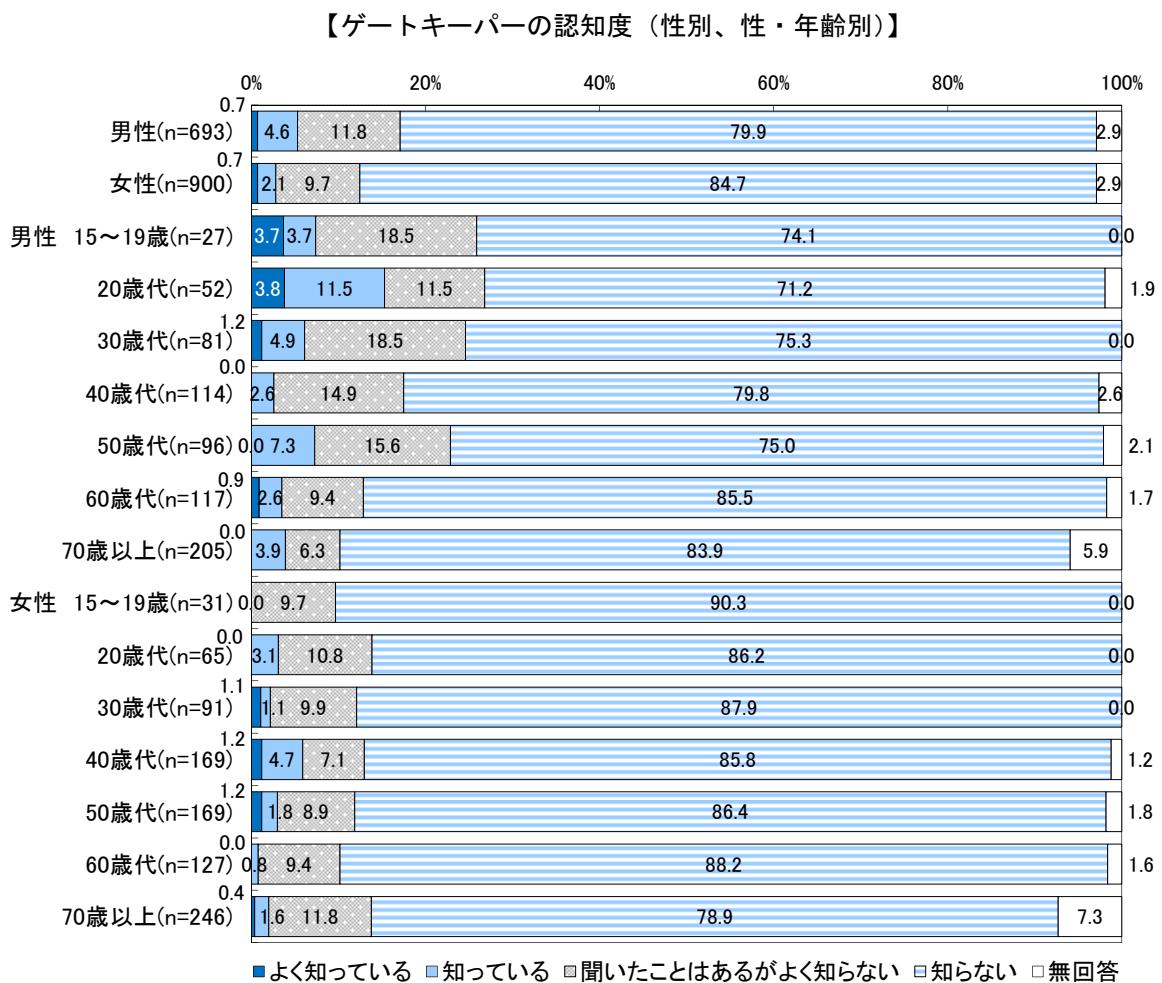
前回調査結果と比較すると、『関心がある』と回答した人の割合は、平成 27 年度調査よりも低下している。

(3) ゲートキーパーの認知度

問30 自殺（自死）対策における「ゲートキーパー」という言葉を知っていますか。



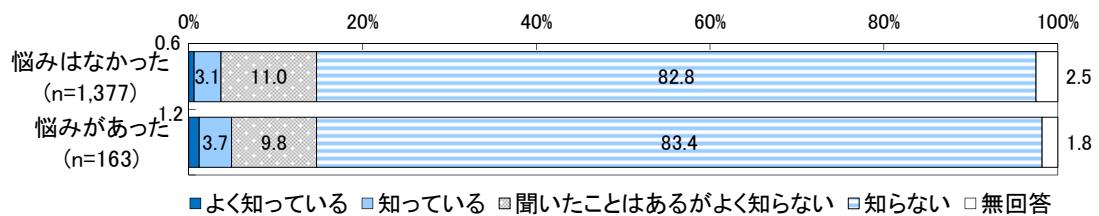
ゲートキーパーの認知度について、『知っている』（「よく知っている」 + 「知っている」）と回答した人の割合が 3.9%、『知らない』（「知らない」 + 「聞いたことはあるがよく知らない」）と回答した人の割合が 93.3% となっている。



性別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男女ともに1割に満たない。

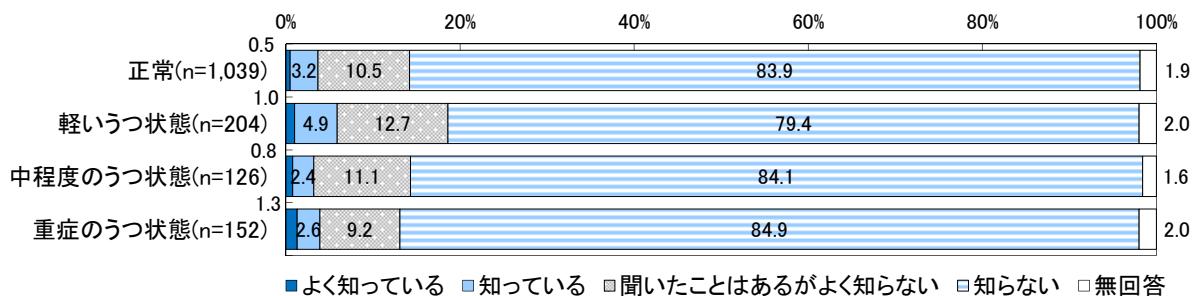
性・年齢別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男性 20 歳代で 1 割台半ばとなっているが、他の年齢層では 1 割に満たない。

【ゲートキーパーの認知度（死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別）】



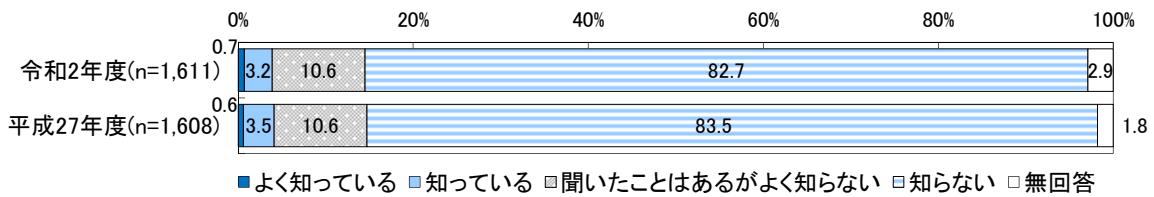
死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別にみると、悩みがあった人においても『知っている』と回答した人の割合は1割に満たない。

【ゲートキーパーの認知度（抑うつ尺度別）】



抑うつ尺度別にみると、いずれのうつ状態においても『知っている』と回答した人の割合は1割に満たない。

【ゲートキーパーの認知度（前回調査結果との比較）】

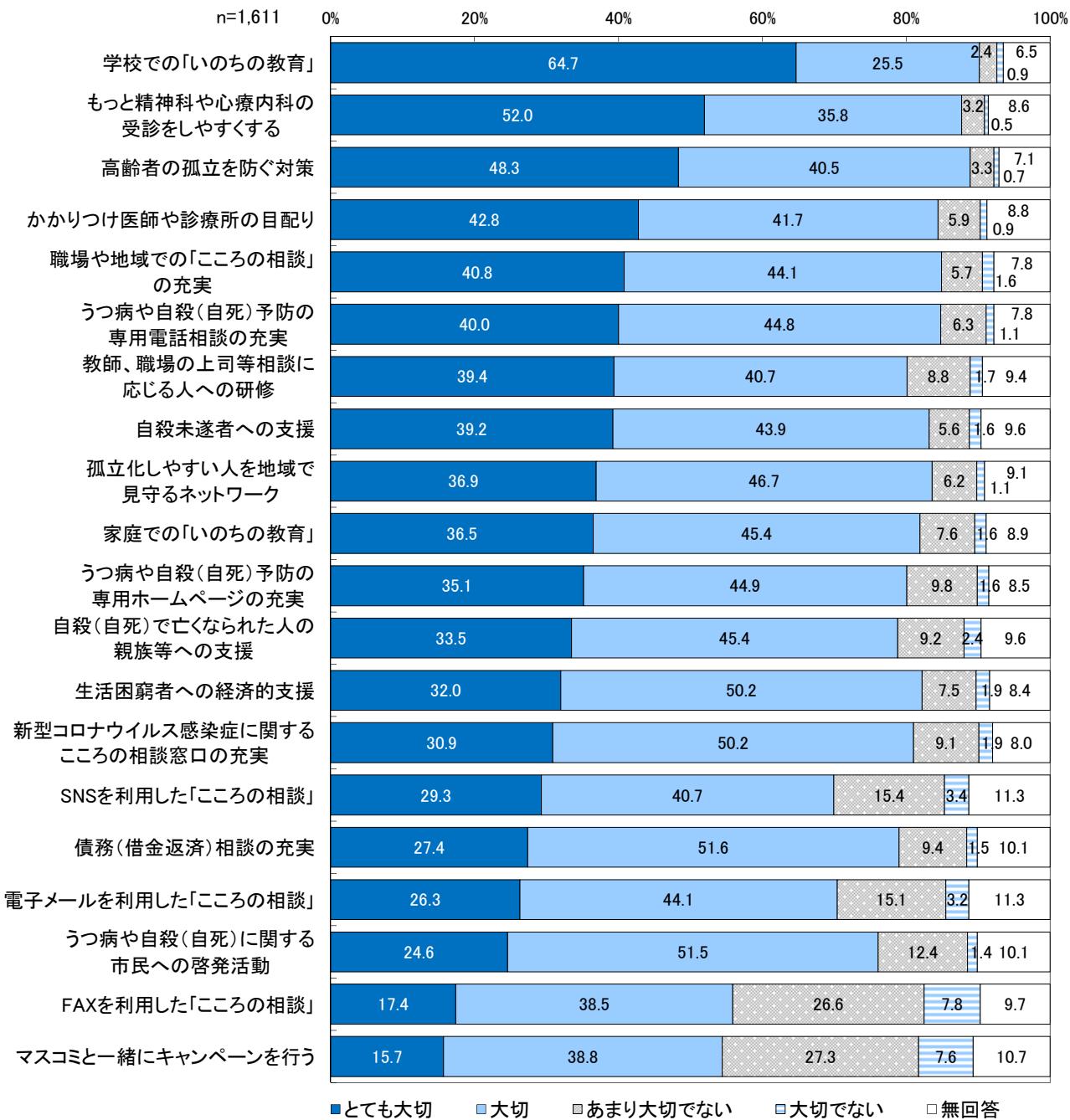


前回調査結果と比較すると、『知っている』と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

(4) 自殺（自死）対策として大切なと思うこと

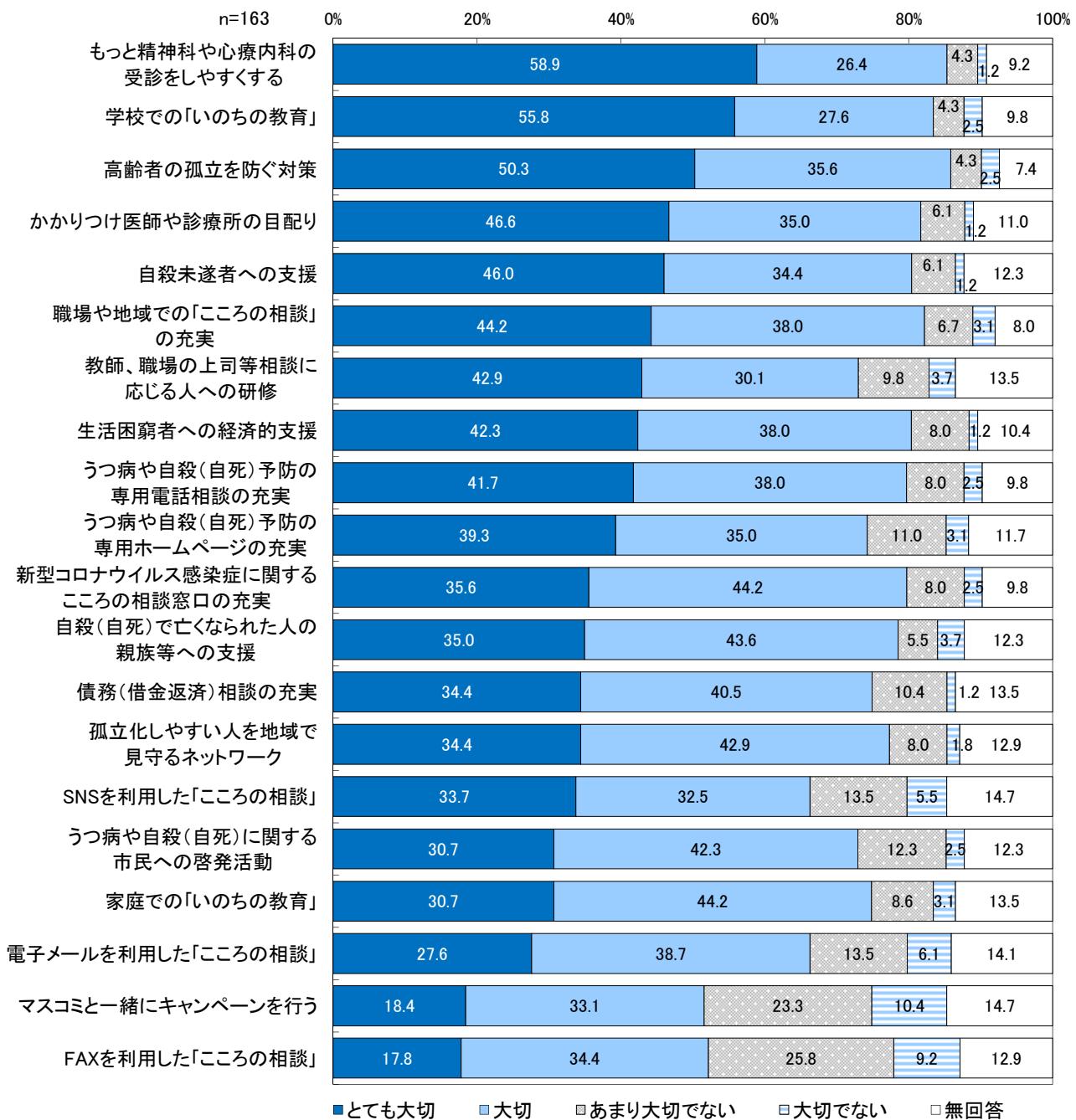
問31 自殺（自死）対策として、あなたが大切なと思うことや充実させてもらいたいことはどのようなものですか。

【自殺（自死）対策として大切なと思うこと】



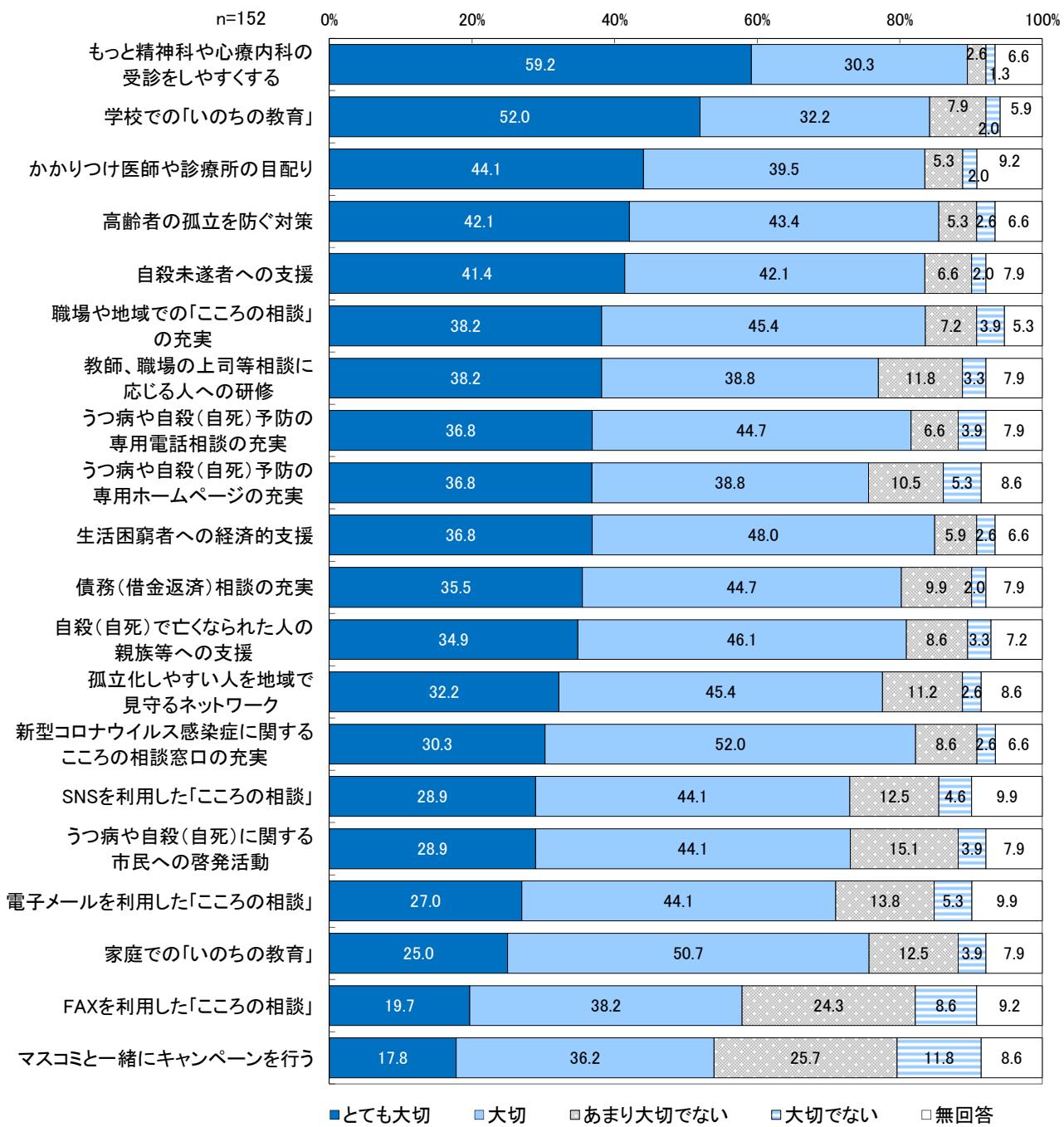
自殺（自死）対策として大切なと思うことについて、『大切』（「とても大切」 + 「大切」）と回答した人の割合は、いずれの項目においても5割を超え、「学校での『いのちの教育』」においては約9割、「高齢者の孤立を防ぐ対策」、「もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする」においては8割台後半、となっている。

【自殺（自死）対策として大切なこと（死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人）】



死にたいと思うほど悩みやストレスがあった人では、『大切』と回答した人の割合は、いずれの項目においても5割を超え、「高齢者の孤立を防ぐ対策」、「もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする」、「学校での『いのちの教育』」、「職場や地域での『こころの相談』」の充実、「生活困窮者への経済的支援」において8割台となっている。

【自殺（自死）対策として大切なこと（抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人）】

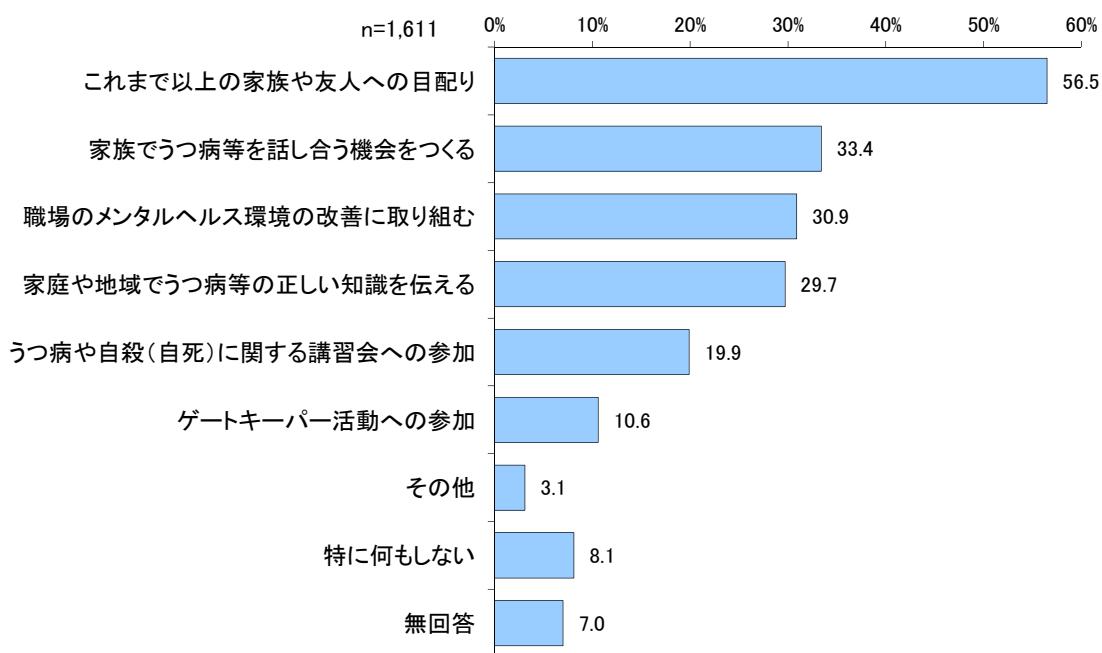


抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人では、『大切』と回答した人の割合は、いずれの項目においても5割を超え、「もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする」、「高齢者の孤立を防ぐ対策」において8割台後半となっている。

(5) 自殺（自死）対策のために取り組むことができるこ

問 32 あなたが自殺（自死）対策のために取り組むことができると思うことはどのようなものですか。（○はいくつでも）

【自殺（自死）対策のために取り組むことができるこ】



自殺（自死）対策のために取り組むことができるこについて、「これまで以上の家族や友人への目配り」と回答した人の割合が 56.5% と最も高く、「家族でうつ病等を話し合う機会をつくる」(33.4%)、「職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む」(30.9%)、「家庭や地域でうつ病等の正しい知識を伝える」(29.7%) が続いている。

【自殺（自死）対策のために取り組むことができること（性別、性・年齢別）】

	回答数	これまで以上の家族や友人への目配り	家族でうつ病等を話し合う機会をつくる	職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む	家庭や地域でうつ病等の正しい知識を伝える	うつ病や自殺（自死）に関する講習会への参加	ゲートキーパー活動への参加	その他	特に何もしない	無回答
男性	693	49.9%	33.8%	32.0%	29.6%	19.0%	8.8%	2.6%	11.1%	6.6%
女性	900	61.3%	33.3%	30.2%	30.0%	20.8%	12.2%	3.6%	5.7%	7.0%
男性 15～19歳	27	74.1%	37.0%	29.6%	18.5%	25.9%	18.5%	3.7%	3.7%	-
20歳代	52	50.0%	32.7%	40.4%	36.5%	15.4%	7.7%	1.9%	21.2%	1.9%
30歳代	81	50.6%	25.9%	50.6%	25.9%	13.6%	12.3%	4.9%	8.6%	1.2%
40歳代	114	48.2%	43.0%	43.0%	32.5%	21.1%	8.8%	1.8%	7.9%	4.4%
50歳代	96	59.4%	34.4%	43.8%	26.0%	20.8%	8.3%	3.1%	9.4%	3.1%
60歳代	117	47.9%	28.2%	30.8%	29.1%	23.1%	7.7%	1.7%	14.5%	4.3%
70歳以上	205	43.9%	34.1%	12.2%	31.2%	17.1%	7.3%	2.4%	11.2%	15.1%
女性 15～19歳	31	61.3%	29.0%	32.3%	32.3%	19.4%	25.8%	3.2%	9.7%	-
20歳代	65	78.5%	29.2%	49.2%	35.4%	16.9%	16.9%	1.5%	4.6%	1.5%
30歳代	91	70.3%	31.9%	44.0%	26.4%	13.2%	15.4%	3.3%	5.5%	1.1%
40歳代	169	66.9%	42.6%	38.5%	32.0%	16.6%	8.9%	3.6%	4.1%	4.1%
50歳代	169	66.3%	33.7%	33.1%	30.8%	22.5%	15.4%	4.7%	5.3%	4.7%
60歳代	127	59.8%	28.3%	23.6%	26.0%	25.2%	9.4%	4.7%	5.5%	2.4%
70歳以上	246	47.2%	31.3%	15.9%	30.1%	24.4%	9.8%	2.8%	6.9%	17.1%

性別にみると、「これまで以上の家族や友人への目配り」と回答した人の割合は、女性で6割台前半となっているが、男性では約5割となっている。

性・年齢別にみると、「これまで以上の家族や友人への目配り」と回答した人の割合は、男性15～19歳、女性20歳代、女性30歳代で7割を超えており、

「家族でうつ病等を話し合う機会をつくる」と回答した人の割合は、男女ともに40歳代で4割を超えており、

「職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む」と回答した人の割合は、男性30歳代、女性20歳代で約5割となっている。

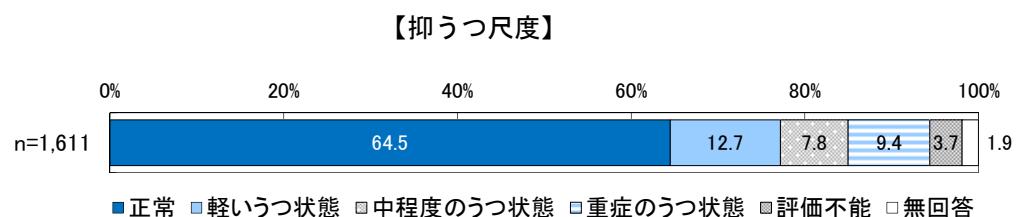
III 抑うつ尺度と死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無についての結果

1 抑うつ尺度の状況

日頃のからだや心の状況をより細かく分析するため、抑うつ状態の尺度として質問項目にC E S-D（日本語版）を用いた。

なお、質問項目のうち、5項目以上無回答がある場合は評価の対象外としている。

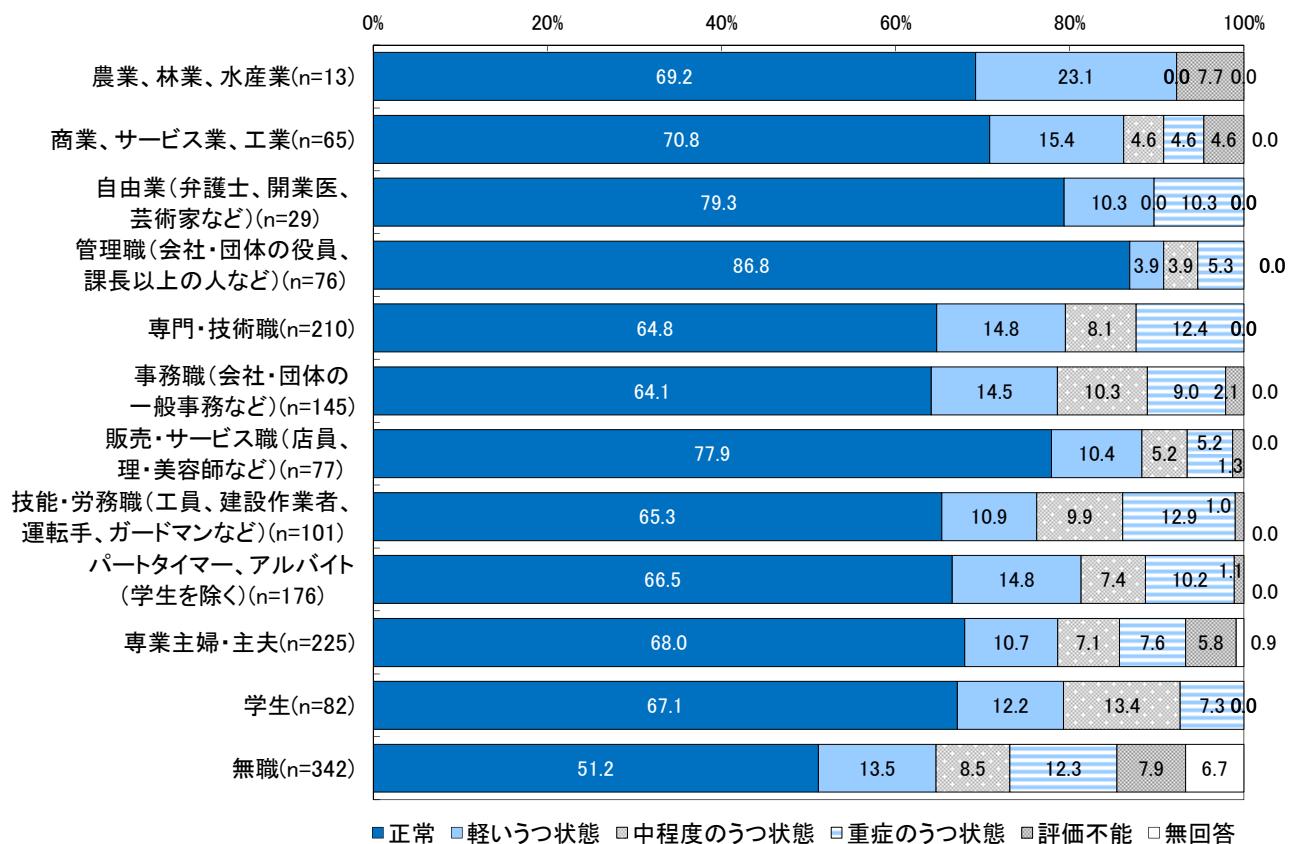
* C E S-Dは、簡単に使用できる抑うつ状態の自己評価尺度としてアメリカで開発された手法である。このテストでは、感情要素を「普段はなんでもないことがわざらわしい」や「食べたくない、食欲が落ちた」などのマイナス要素16項目と「他の人と同じ程度には、能力があると思う」などのプラス要素4項目の計20項目を0点から3点の4段階により評価し、その総得点（最高得点は20項目×3点で60点となる。）から4段階（16点未満：正常、16～20点：軽いうつ状態、21～25点：中程度のうつ状態、26点以上：重症のうつ状態）で評価する。



抑うつ尺度について、「正常」に該当する人の割合が64.5%、「軽いうつ状態」に該当する人の割合が12.7%、「中程度のうつ状態」に該当する人の割合が7.8%、「重症のうつ状態」に該当する人の割合が9.4%となっている。

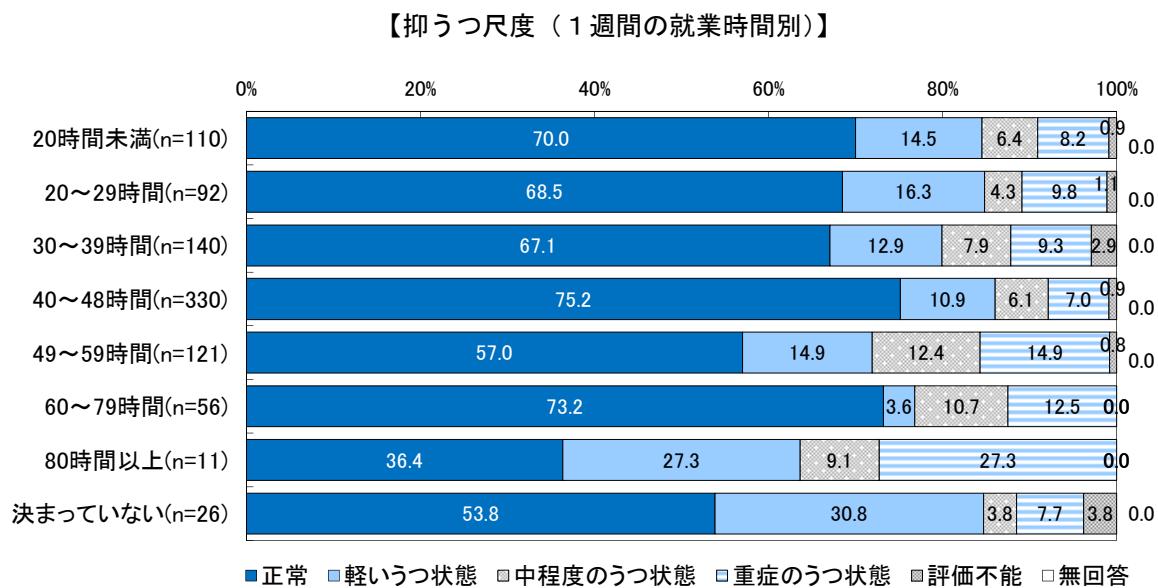
(1) 就業状況との関係

【抑うつ尺度（就業状況別）】



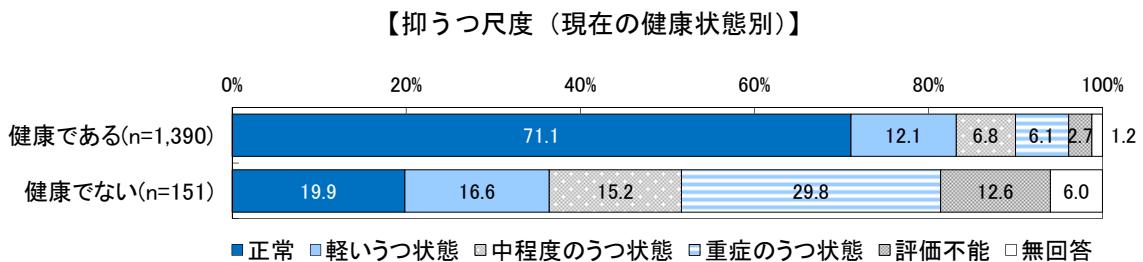
就業状況別にみると、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は、「自由業（弁護士、開業医、芸術家など）」、「専門・技術職」、「技能・労務職（工員、建設作業者、運転手、ガードマンなど）」、「パートタイマー、アルバイト（学生を除く）」、「無職」で1割を超えている。

(2) 1週間の就業時間との関係



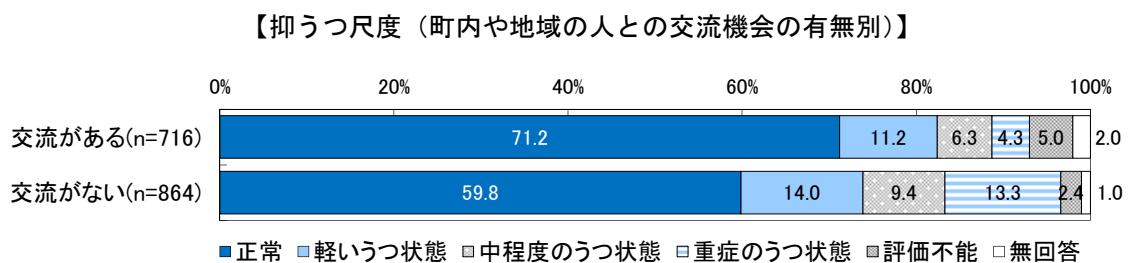
1週間の就業時間別にみると、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は、49時間以上の人で1割を超えている。

(3) 現在の健康状態との関係



現在の健康状態別にみると、健康でない人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は約3割となっている。

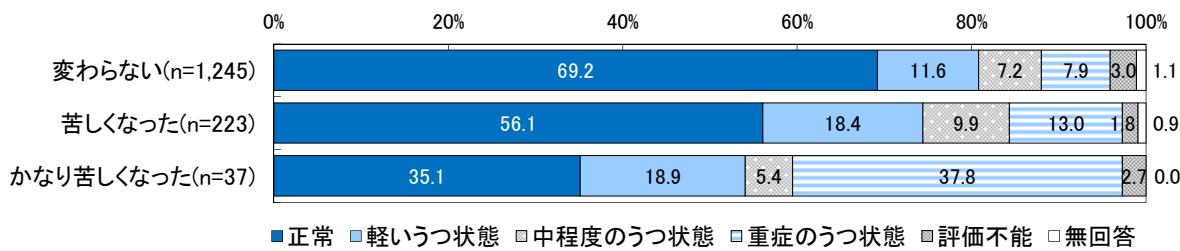
(4) 町内や地域の人との交流機会との関係



町内や地域の人との交流機会の有無別にみると、交流がない人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は1割を超えており、約13%である。

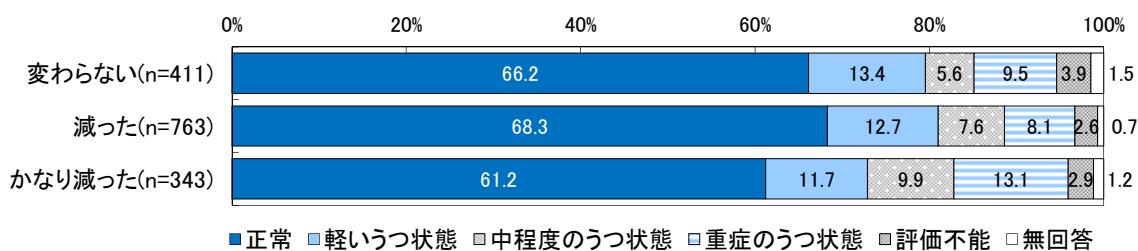
(5) 新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化との関係

【抑うつ尺度（暮らし向きの変化別）】



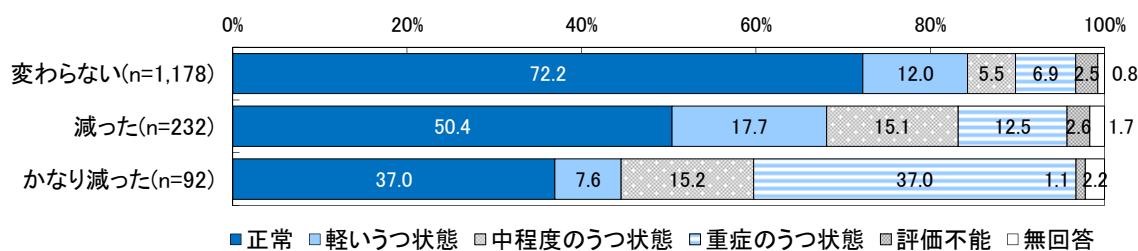
新型コロナウイルス感染症の流行による暮らし向きの変化別にみると、暮らし向きがかなり苦しくなった人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は3割台後半となっている。

【抑うつ尺度（外出の頻度の変化別）】



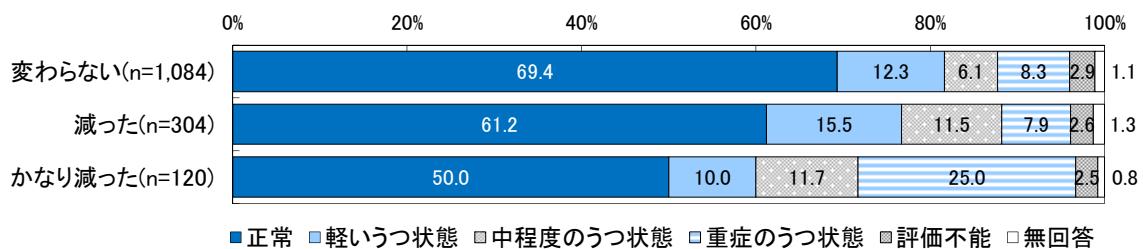
新型コロナウイルス感染症の流行による外出の頻度の変化別にみると、外出の頻度がかなり減った人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は1割を超えていている。

【抑うつ尺度（個人的なことを話せる友人とのつながりの変化別）】



新型コロナウイルス感染症の流行による個人的なことを話せる友人とのつながりの変化別にみると、個人的なことを話せる友人とのつながりがかなり減った人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は3割台後半となっている。

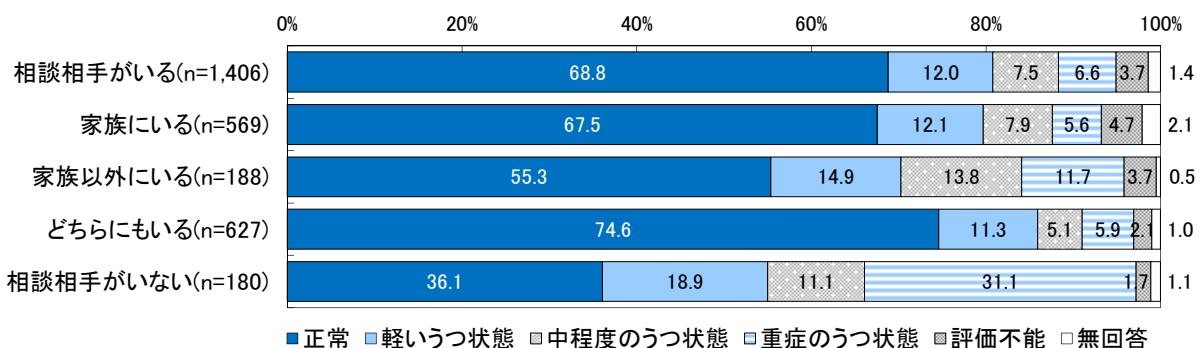
【抑うつ尺度（近所の人との交流の変化別）】



新型コロナウイルス感染症の流行による近所の人との交流の変化別にみると、近所の人との交流がかなり減った人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は2割台半ばとなっている。

(6) 相談相手の有無との関係

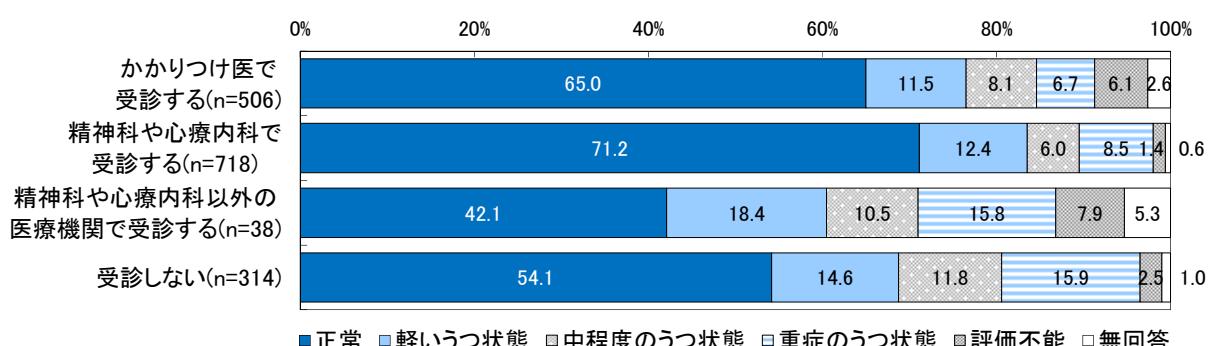
【抑うつ尺度（相談相手の有無別）】



相談相手の有無別にみると、相談相手がない人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は3割を超えていている。

(7) うつ病になった場合の医療機関の受診意向との関係

【抑うつ尺度（うつ病になった場合の医療機関の受診意向別）】



うつ病になった場合の医療機関の受診意向別にみると、受診しない人では、「重症のうつ状態」に該当する人の割合は1割台半ばとなっている。

2 死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無

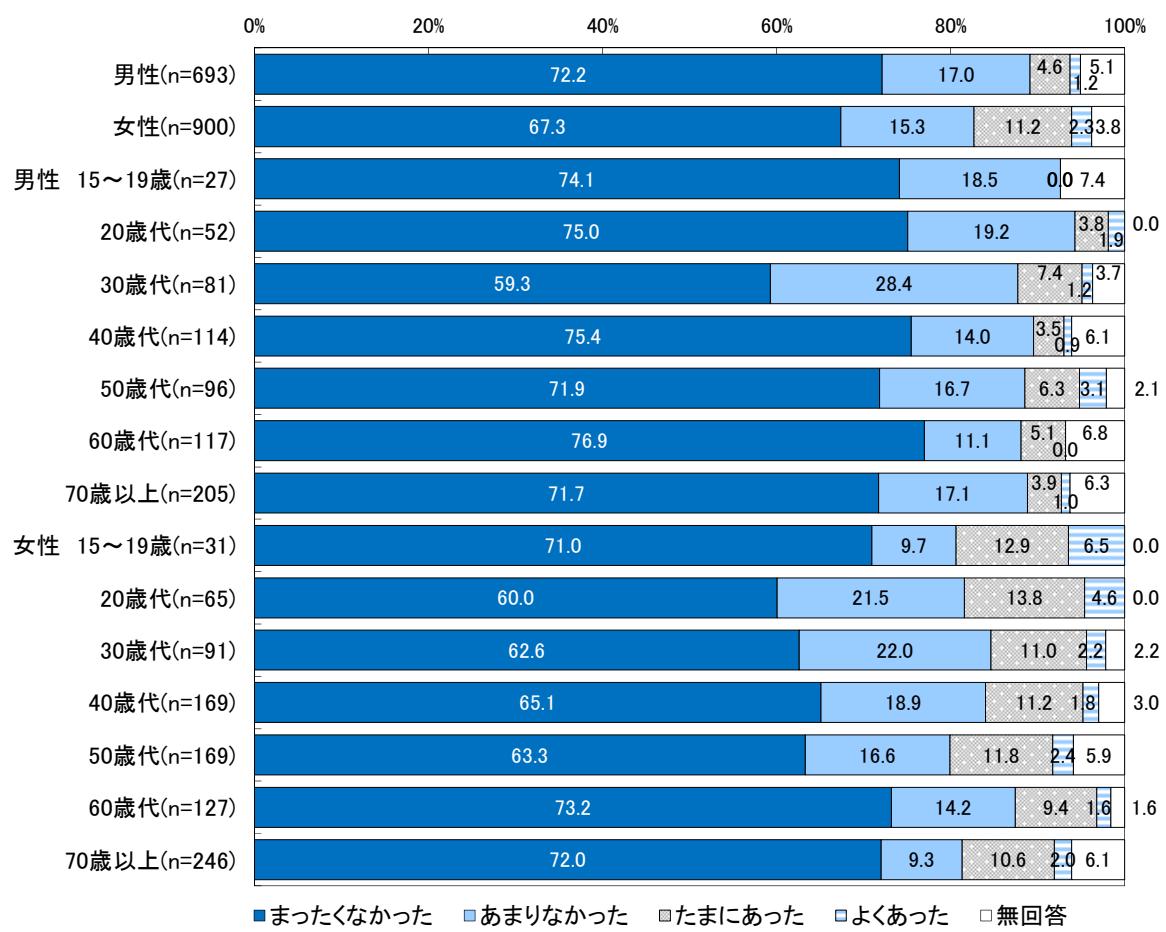
問11 あなたは、この6か月の間に「死にたい」と思うほどの悩みやストレスがありましたか。

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無】



死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無について、『なかつた』（「まったくなかった」+「あまりなかった」）と回答した人の割合が 85.5%、『あった』（「よくあった」+「たまにあつた」）と回答した人の割合が 10.1% となっている。

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（性別、性・年齢別）】

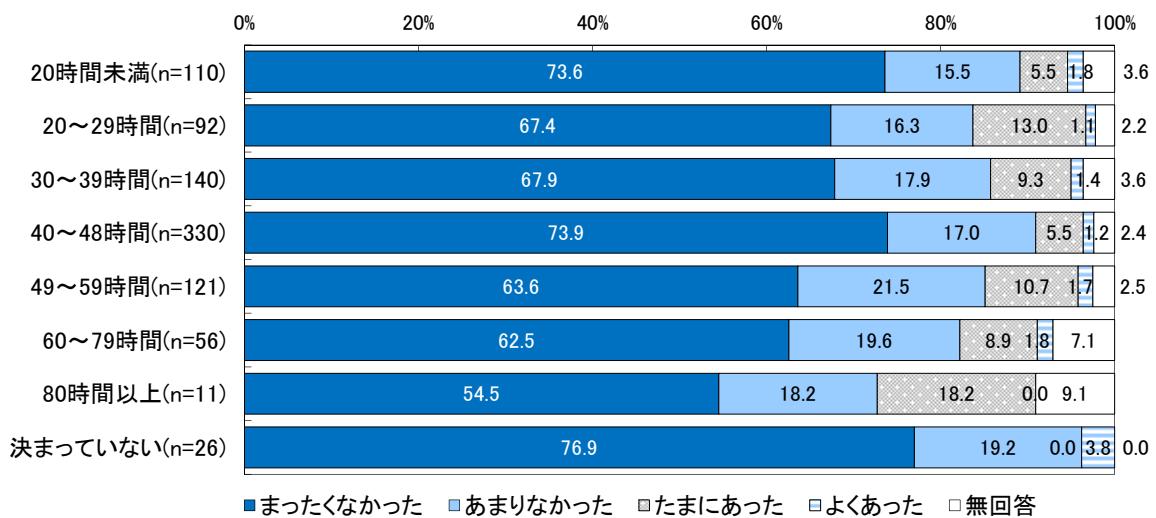


性別にみると、『あった』と回答した人の割合は、女性で 1 割を超えている。

性・年齢別にみると、『あった』と回答した人の割合は、女性 15～19 歳、女性 20 歳代で 1 割後半となっている。

(1) 1週間の就業時間との関係

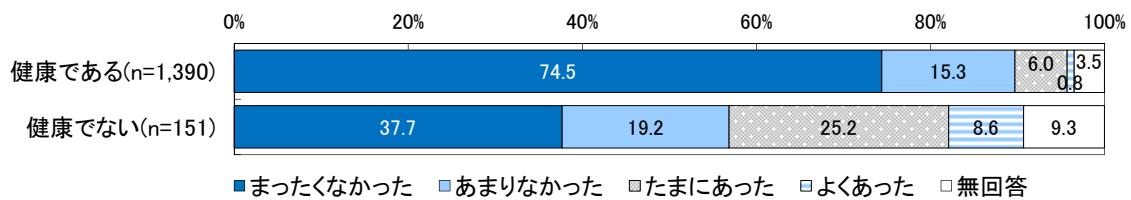
【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（1週間の就業時間別）】



1週間の就業時間別にみると、『あった』と回答した人の割合は、80時間以上の人で1割台後半となっている。

(2) 現在の健康状態との関係

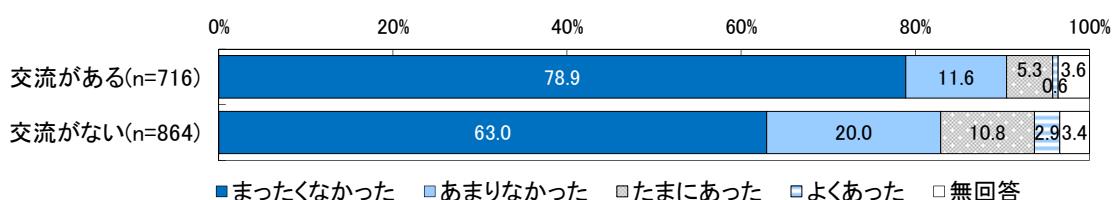
【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（現在の健康状態別）】



現在の健康状態別にみると、健康でない人では、『あった』と回答した人の割合は3割を超えている。

(3) 町内や地域の人との交流機会との関係

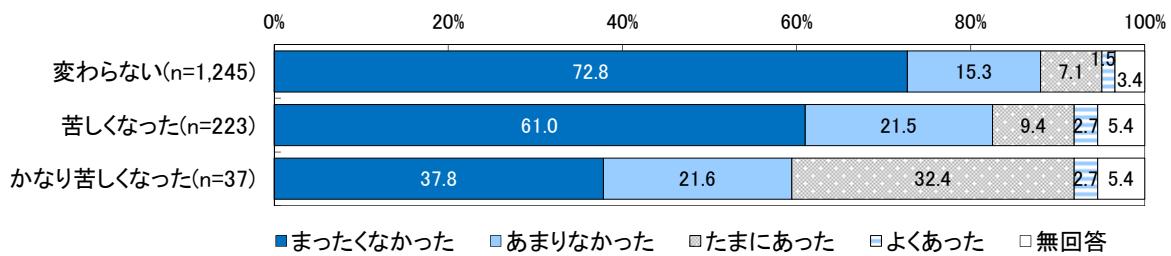
【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（町内や地域の人との交流機会の有無別）】



町内や地域の人との交流機会の有無別にみると、交流がない人では、『あった』と回答した人の割合は1割を超えていている。

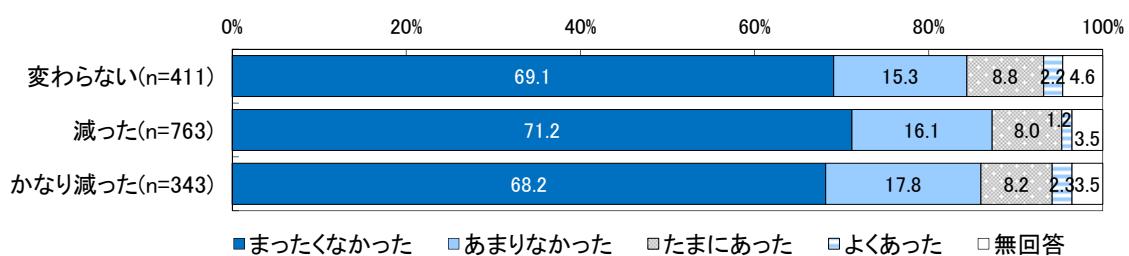
(4) 新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化との関係

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（暮らし向きの変化別）】



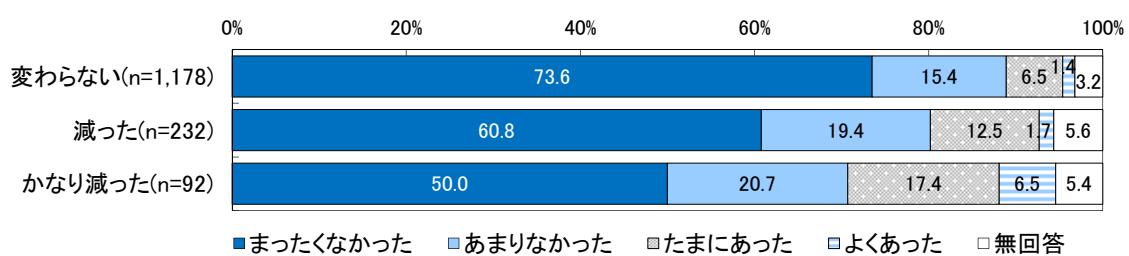
新型コロナウイルス感染症の流行による暮らし向きの変化別にみると、暮らし向きがかなり苦しくなった人では、『あった』と回答した人の割合は3割台半ばとなっている。

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（外出の頻度の変化別）】



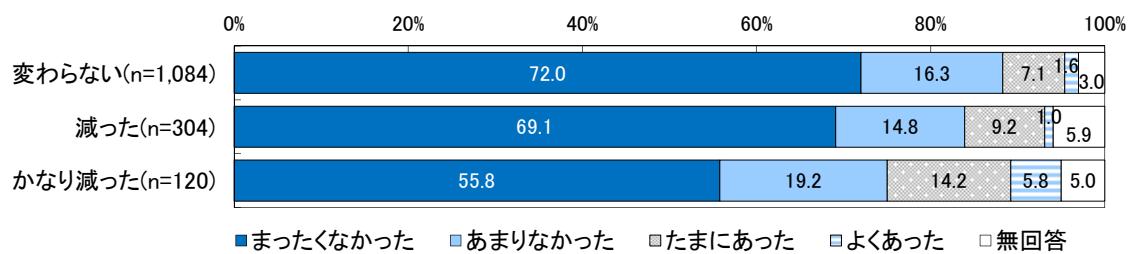
新型コロナウイルス感染症の流行による外出の頻度の変化別にみると、『あった』と回答した人の割合は大きな差はみられない。

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（個人的なことを話せる友人とのつながりの変化別）】



新型コロナウイルス感染症の流行による個人的なことを話せる友人とのつながり変化別にみると、個人的なことを話せる友人とのつながりがかなり減った人では、『あった』と回答した人の割合は2割を超えている。

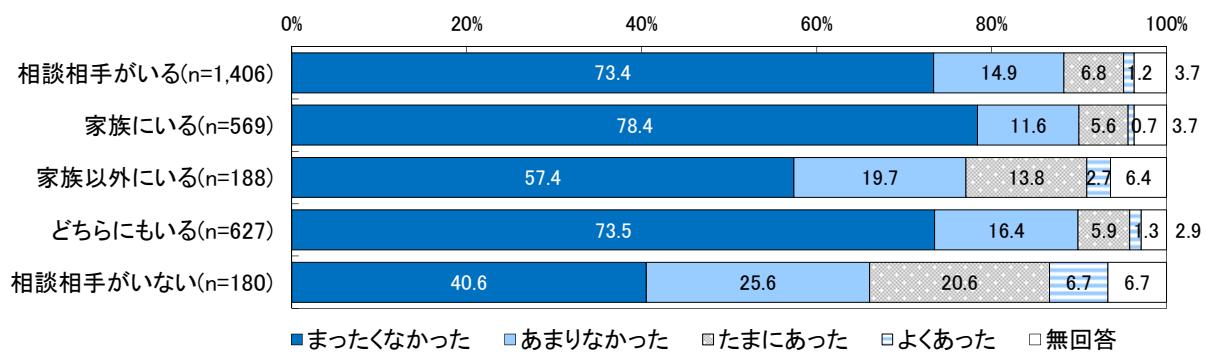
【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（近所の人との交流の変化別）】



新型コロナウイルス感染症の流行による近所の人との交流の変化別にみると、近所の人との交流がかなり減った人では、『あった』と回答した人の割合は2割となっている。

(5) 相談相手の有無との関係

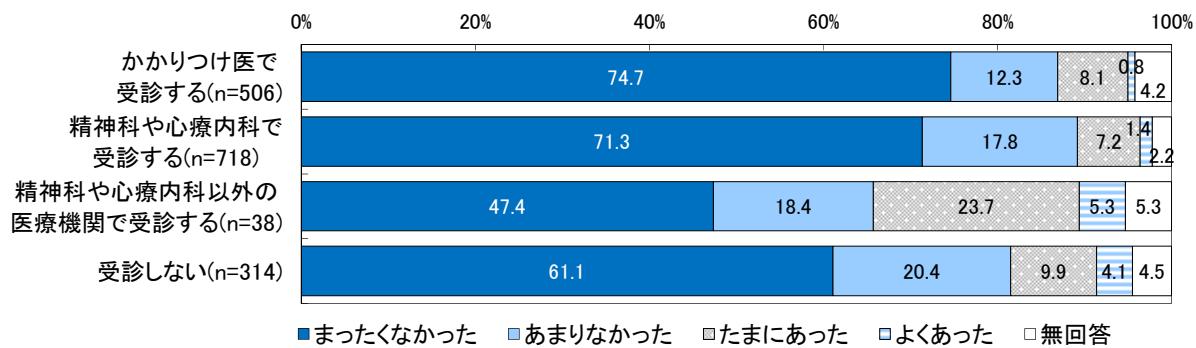
【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（相談相手の有無別）】



相談相手の有無別にみると、相談相手がない人では、『あった』と回答した人の割合は2割台後半となっている。

(6) うつ病になった場合の医療機関の受診意向との関係

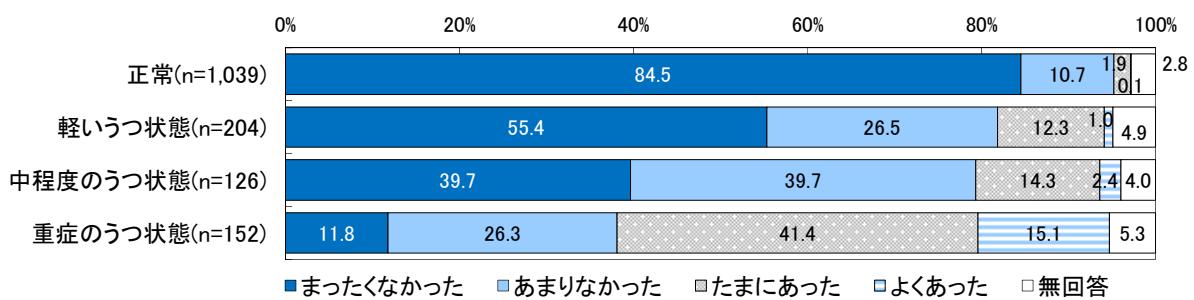
【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（うつ病になった場合の医療機関の受診意向別）】



うつ病になった場合の医療機関の受診意向別にみると、受診しない人では、『あった』と回答した人の割合は1割を超えていている。

(7) 抑うつ尺度との関係

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無（抑うつ尺度別）】



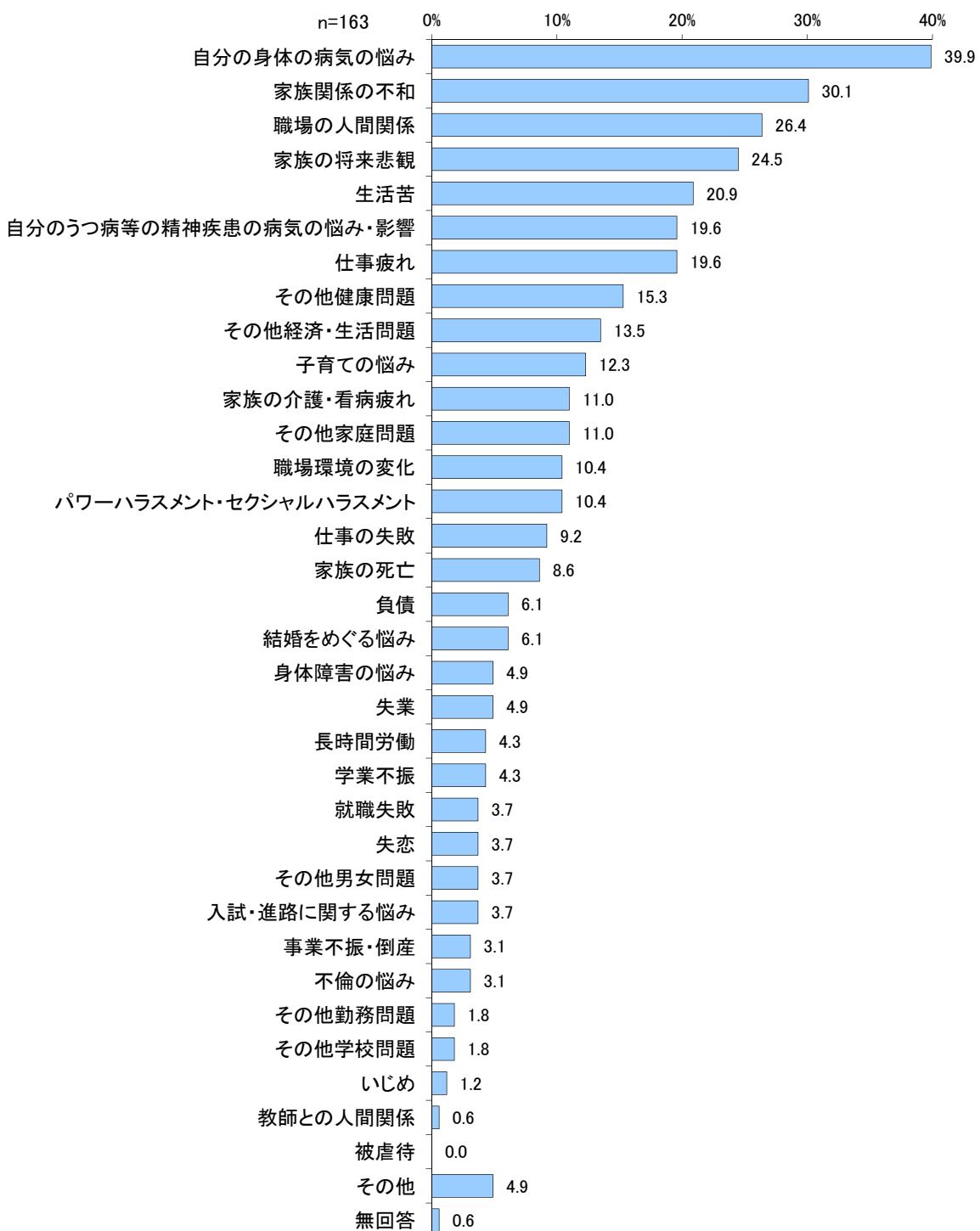
抑うつ尺度別にみると、重症のうつ状態に該当する人では、『あった』と回答した人の割合は5割台後半となっている。

(8) 死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因

問11で「3 たまにあった」又は「4 よくあった」と回答した人のみ回答

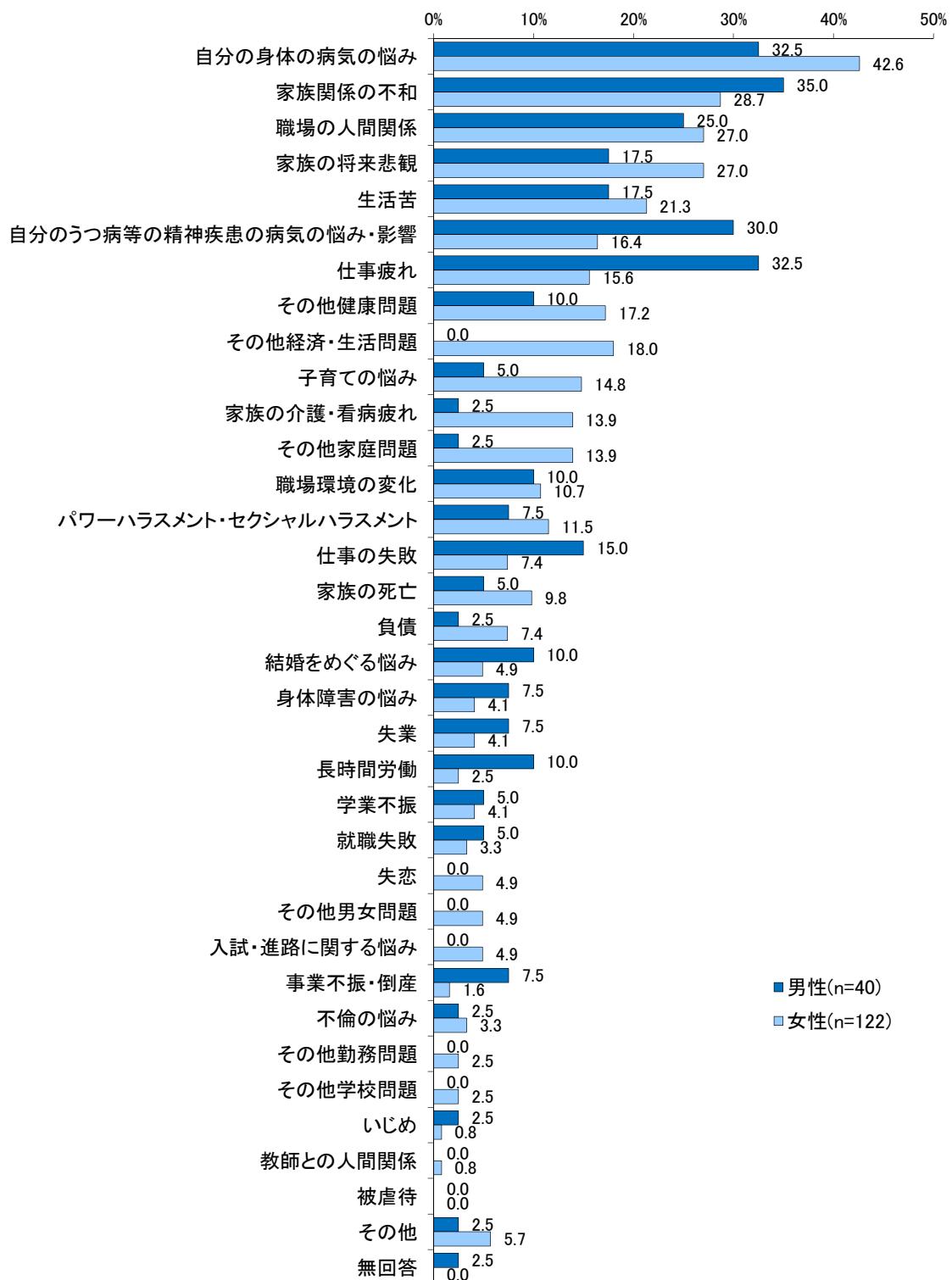
問12 それは、どのような事柄が原因ですか。(○はいくつでも)

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因】



死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因について、「自分の身体の病気の悩み」と回答した人の割合が 39.9%と最も高く、「家族関係の不和」(30.1%)、「職場の人間関係」(26.4%)、「家族の将来悲観」(24.5%) が続いている。

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因（性別）】

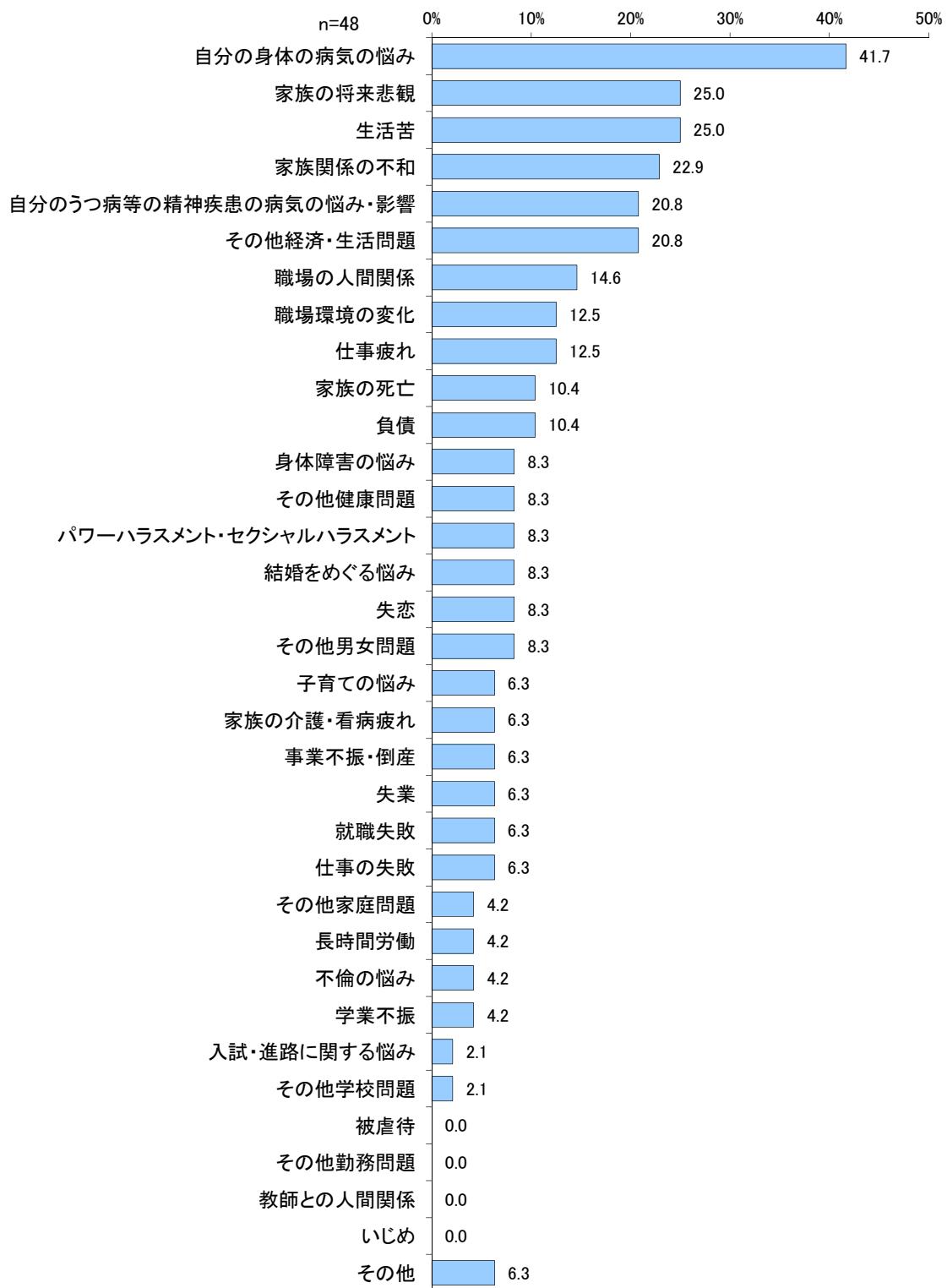


性別にみると、男性では、「家族関係の不和」、「自分の身体の病気の悩み」、「仕事疲れ」、「自分のうつ病等の精神疾患の病気の悩み・影響」と回答した人の割合が3割を超えて上位となっている。

女性では、「自分の身体の病気の悩み」と回答した人の割合が4割を超えて最も高く、「家族関係の不和」、「職場の人間関係」、「家族の将来悲観」が2割台後半で続いている。

【死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因（新型コロナウイルス感染症に関する場合）】

* 無回答を除いた集計



死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因（新型コロナウイルス感染症に関する場合）について、「自分の身体の病気の悩み」と回答した人の割合が 41.7% と最も高く、「家族の将来悲観」、「生活苦」（25.0%）、「家族関係の不和」（22.9%）、「自分のうつ病等の精神疾患の病気の悩み・影響」、「その他の経済・生活問題」（20.8%）が続いている。

付属資料

1 集計表

問1 居住区

回答数		中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区	無回答
1,611	件数	169	158	185	259	324	205	116	183	12
100.0	%	10.5	9.8	11.5	16.1	20.1	12.7	7.2	11.4	0.7

問2 居住地域の状況

回答数		都心部 (商店街、オフィス)	住宅と商店や工場等が混在する地域	古くからの住宅地	団地などの新興住宅地	農業集落	その他	無回答
1,611	件数	119	305	727	344	49	30	37
100.0	%	7.4	18.9	45.1	21.4	3.0	1.9	2.3

問3 性別

回答数		男性	女性	無回答
1,611	件数	693	900	18
100.0	%	43.0	55.9	1.1

問4 年齢

回答数		19歳以下	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳
1,611	件数	59	52	66	85	87	137	151	134	131	128
100.0	%	3.7	3.2	4.1	5.3	5.4	8.5	9.4	8.3	8.1	7.9

回答数		65~69歳	70~74歳	75歳以上	無回答
1,611	件数	117	167	286	11
100.0	%	7.3	10.4	17.8	0.7

問5 同居家族数

回答数		1人(自分だけ)	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
1,611	件数	253	558	391	263	99	38	9
100.0	%	15.7	34.6	24.3	16.3	6.1	2.4	0.6

問6 家族構成

回答数		一人暮らし	夫婦だけ	あなた(又はあなた夫婦)と親	あなた(又はあなた夫婦)と子	あなたを含めて三世代	その他	無回答
1,611	件数	249	466	198	570	85	30	13
100.0	%	15.5	28.9	12.3	35.4	5.3	1.9	0.8

問7 就業状況

回答数		農業、林業、水産業	商業、サービス業、工業	自由業(弁護士、開業医、芸術家など)	管理職(会社・団体の役員、課長以上の人など)	専門・技術職	うち対人サービスの多い職	うちその他の職	事務職(会社・団体の一般事務など)	販売・サービス職(店員、理美容師など)	技能・労務職(工員、建設作業者、運転手、ガードマンなど)
1,611	件数	13	65	29	76	210	103	62	145	77	101
100.0	%	0.8	4.0	1.8	4.7	13.0	6.4	3.8	9.0	4.8	6.3

回答数		パートタイム、アルバイト(学生を除く)	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答
1,611	件数	176	225	82	342	70
100.0	%	10.9	14.0	5.1	21.2	4.3

問8 1週間の就業時間

回答数		20時間未満	20～29時間	30～39時間	40～48時間	49～59時間	60～79時間	80時間以上	決まっていない	無回答
件数	%	110	92	140	330	121	56	11	26	6
件数	%	100.0	12.3	10.3	15.7	37.0	13.6	1.2	2.9	0.7

問9 現在の健康状態

回答数		健康である	まあまあ健康である	健康でない	よくわからない	無回答
件数	%	593	797	151	44	26
件数	%	1,611	36.8	49.5	9.4	1.6

抑うつ尺度

回答数		正常	軽いうつ状態	中程度のうつ状態	重症のうつ状態	評価不能	無回答
件数	%	1,039	204	126	152	59	31
件数	%	100.0	64.5	12.7	7.8	3.7	1.9

問10 この1週間のからだやこころの状態

		回答数	ほとんどなかった(ぜんぜん)	少しはあった(1～2日)	時々あつた(3～4日)	たいていあつた(5～7日)	無回答
(1)普段はなんでもないことがわざらわしい	1,611 100.0	件数 %	805 50.0	511 31.7	176 10.9	50 3.1	69 4.3
(2)食べたくない、食欲が落ちた	1,611 100.0	件数 %	1,193 74.1	247 15.3	92 5.7	22 1.4	57 3.5
(3)家族や友だちからはげましてもらっても、気分が晴れない	1,611 100.0	件数 %	1,093 67.8	293 18.2	93 5.8	35 2.2	97 6.0
(4)他の人と同じ程度には、能力があると思う	1,611 100.0	件数 %	432 26.8	365 22.7	275 17.1	413 25.6	126 7.8
(5)物事に集中できない	1,611 100.0	件数 %	786 48.8	536 33.3	183 11.4	41 2.5	65 4.0
(6)ゆううつだ	1,611 100.0	件数 %	848 52.6	457 28.4	163 10.1	80 5.0	63 3.9
(7)何をするのも面倒だ	1,611 100.0	件数 %	630 39.1	654 40.6	186 11.5	84 5.2	57 3.5
(8)これから先のことについて積極的に考えることができる	1,611 100.0	件数 %	326 20.2	516 32.0	353 21.9	323 20.0	93 5.8
(9)過去のことについてくよくよ考える	1,611 100.0	件数 %	702 43.6	507 31.5	243 15.1	81 5.0	78 4.8
(10)何か恐ろしい気持ちがする	1,611 100.0	件数 %	1,095 68.0	308 19.1	95 5.9	37 2.3	76 4.7
(11)なかなか眠れない	1,611 100.0	件数 %	890 55.2	394 24.5	168 10.4	80 5.0	79 4.9
(12)生活について不満なくすごせる	1,611 100.0	件数 %	374 23.2	439 27.3	287 17.8	429 26.6	82 5.1
(13)ふだんより口数が少ない、口が重い	1,611 100.0	件数 %	994 61.7	349 21.7	133 8.3	61 3.8	74 4.6
(14)一人ぼっちでさびしい	1,611 100.0	件数 %	1,184 73.5	218 13.5	74 4.6	51 3.2	84 5.2
(15)皆がよそよそしいと思う	1,611 100.0	件数 %	1,194 74.1	253 15.7	63 3.9	17 1.1	84 5.2
(16)毎日が楽しい	1,611 100.0	件数 %	241 15.0	391 24.3	455 28.2	421 26.1	103 6.4
(17)急に泣きだすことがある	1,611 100.0	件数 %	1,361 84.5	113 7.0	43 2.7	11 0.7	83 5.2
(18)悲しいと感じる	1,611 100.0	件数 %	1,057 65.6	339 21.0	89 5.5	42 2.6	84 5.2
(19)皆が自分をきらっていると感じる	1,611 100.0	件数 %	1,192 74.0	266 16.5	60 3.7	17 1.1	76 4.7
(20)仕事(学業)が手につかない	1,611 100.0	件数 %	1,092 67.8	271 16.8	72 4.5	27 1.7	149 9.2

問11 死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無

回答数		まったく なかった	あまりな かった	たまに あった	よくあつ た	無回答
件数	%	1,119	258	134	29	71
100.0		69.5	16.0	8.3	1.8	4.4

問12 死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因

回答数		家族関係 の不和	家族の死 亡	家族の将 来悲觀	子育ての 悩み	被虐待	家族の介 護・看病 疲れ	その他家 庭問題	自分の身 体の病気 の悩み	自分のう つ病等の 精神疾患 の病気の 悩み・影 響	身体障害 の悩み
件数	%	49	14	40	20	-	18	18	65	32	8
100.0		30.1	8.6	24.5	12.3	-	11.0	11.0	39.9	19.6	4.9

回答数		その他健 康問題	事業不 振・倒産	失業	就職失敗	生活苦	負債	その他經 済・生活 問題	仕事の失 敗	職場の人 間関係	職場環境 の変化
件数	%	25	5	8	6	34	10	22	15	43	17
100.0		15.3	3.1	4.9	3.7	20.9	6.1	13.5	9.2	26.4	10.4

回答数		仕事疲れ	パワーハ ラスメン ト・セク シャルハ ラスメント	長時間労 働	その他勤 務問題	結婚をめ ぐる悩み	失恋	不倫の悩 み	その他男 女問題	入試・進 路に関する 悩み	学業不振
件数	%	32	17	7	3	10	6	5	6	6	7
100.0		19.6	10.4	4.3	1.8	6.1	3.7	3.1	3.7	3.7	4.3

回答数		教師との 人間関係	いじめ	その他学 校問題	その他	無回答
件数	%	1	2	3	8	1
100.0		0.6	1.2	1.8	4.9	0.6

問12 死にたいと思うほどの悩みやストレスの原因(新型コロナウイルス感染症に関する場合)

回答数		家族関係 の不和	家族の死 亡	家族の将 来悲觀	子育ての 悩み	被虐待	家族の介 護・看病 疲れ	その他家 庭問題	自分の身 体の病気 の悩み	自分のう つ病等の 精神疾患 の病気の 悩み・影 響	身体障害 の悩み
件数	%	11	5	12	3	-	3	2	20	10	4
100.0		22.9	10.4	25.0	6.3	-	6.3	4.2	20.8	20.8	8.3

回答数		その他健 康問題	事業不 振・倒産	失業	就職失敗	生活苦	負債	その他經 済・生活 問題	仕事の失 敗	職場の人 間関係	職場環境 の変化
件数	%	4	3	3	3	12	5	10	3	7	6
100.0		8.3	6.3	6.3	6.3	25.0	10.4	20.8	6.3	14.6	12.5

回答数		仕事疲れ	パワーハ ラスメン ト・セク シャルハ ラスメント	長時間労 働	その他勤 務問題	結婚をめ ぐる悩み	失恋	不倫の悩 み	その他男 女問題	入試・進 路に関する 悩み	学業不振
件数	%	6	4	2	-	4	4	2	4	1	2
100.0		12.5	8.3	4.2	-	8.3	8.3	4.2	8.3	2.1	4.2

回答数		教師との 人間関係	いじめ	その他学 校問題	その他
件数	%	-	-	1	3
100.0		-	-	2.1	6.3

※無回答を除いた集計

問13 町内や地域の人と交流機会の有無

回答数		よくある	ときどき ある	あまりな い	まったく ない	無回答
件数	%	215	501	496	368	31
100.0	%	13.3	31.1	30.8	22.8	1.9

問14 町内や地域の人との交流方法

回答数		対面(直 接会つ て)	テレビ電 話	電話	FAX	電子メー ル	SNS (LINE等)	その他	無回答
件数	%	645	5	103	-	24	77	58	12
100.0	%	90.1	0.7	14.4	-	3.4	10.8	8.1	1.7

問15 新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無

		回答数		変わらな い	苦しく なった	かなり苦 しくなった	無回答
(1)暮らし向き		件数	%	1,245	223	37	106
100.0	%	77.3		13.8	2.3	6.6	

		回答数		変わらな い	減った	かなり 減った	無回答
(2)外出の頻度		件数	%	411	763	343	94
100.0	%	25.5		47.4	21.3	5.8	
(3)個人的なことを話せる友人		件数	%	1,178	232	92	109
100.0	%	73.1		14.4	5.7	6.8	
(4)近所の人との交流		件数	%	1,084	304	120	103
100.0	%	67.3		18.9	7.4	6.4	

問16 相談相手の有無

回答数		はい(い る)	いいえ (いらない)	無回答
件数	%	1,406	180	25
100.0	%	87.3	11.2	1.6

問16-1 相談相手

回答数		家族にい る	家族以外 にいる	どちらに もいる	無回答
件数	%	569	188	627	22
100.0	%	40.5	13.4	44.6	1.6

問17 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること

回答数		かなり増 えた	やや増え た	変わらな い	わからな い	無回答
件数	%	152	627	693	120	19
100.0	%	9.4	38.9	43.0	7.4	1.2

問18 新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化

回答数		かなり増 えた	やや増え た	変わらな い	わからな い	無回答
件数	%	28	86	1,230	93	174
100.0	%	1.7	5.3	76.4	5.8	10.8

問19 新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化

回答数		かなり増 えた	やや増え た	変わらな い	わからな い	無回答
件数	%	154	327	919	91	120
100.0	%	9.6	20.3	57.0	5.6	7.4

問20 「うつ病」と自殺(自死)の関連性

回答数		とてもそ う思う	そう思う	思わない	わからな い	無回答
件数	%	409	681	151	346	24
100.0	%	25.4	42.3	9.4	21.5	1.5

問21.1 家族や友人が食欲がなく眠れない日が続く等の状態になった場合、その人にはまると思うこと

回答数		体の病気	心の病気	気のせい	わからな い	無回答	
1,611	件数 100.0	116	1,215	26	165	89	
		%	7.2	75.4	1.6	10.2	5.5

問21.2 適切な治療による効果

回答数		治る	治らない	わからな い	無回答	
1,611	件数 100.0	883	103	578	47	
		%	54.8	6.4	35.9	2.9

問21.3 適切と思う対応

回答数		様子を見 る	本人を励 ます	身近な人 への相談 を勧める	民生委員 への相談 を勧める	内科医等 のかかり つけ医へ 受診する ことを勧 める	精神科や 心療内科 の専門医 へ受診す ることを 勧める	保健師な ど公的な 機関(区 役所、精 神保健福 祉セン ターな ど)の窓 口への相 談を勧め る	その他	無回答	
1,611	件数 100.0	283	128	260	27	286	628	117	101	55	
		%	17.6	7.9	16.1	1.7	17.8	39.0	7.3	6.3	3.4

問22 うつ病になった場合の医療機関の受診意向

回答数		かかりつけ医で受 診する	精神科や 心療内科 で受診す る	精神科や 心療内科 以外の医 療機関で 受診する	受診しな い	無回答	
1,611	件数 100.0	506	718	38	314	54	
		%	31.4	44.6	2.4	19.5	3.4

問23 精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由

回答数		どこに受 診したら よいかわ からない	「うつ病」 は治療し ても治ら ないと思 う	恥ずかし い病気な ので、な るべく隠 したい	精神科や 心療内科 に行くこ とが恥ず かしい	「うつ病」 は特別な 人がかか る病気 で、自分 には関係 ない	精神科や 心療内科 に行って 治療しな くても、ほ とんどは 自然に治 る	その他	無回答	
38	件数 100.0	7	2	3	9	3	1	16	6	
		%	18.4	5.3	7.9	23.7	7.9	2.6	42.1	15.8

問24 医療機関で受診しない理由

回答数		治療にお 金がかかる	受診する 時間がな い	どこに受 診したら よいかわ からない	「うつ病」 は治療し ても治ら ないと思 う	恥ずかし い病気な ので、な るべく隠 したい	「うつ病」 は特別な 人がかか る病気 で、自分 には関係 ない	治療しな くても、ほ とんどは 自然に治 る	通院する ことで、 新型コロ ナウイル ス感染症 にかかる おそれが ある	その他	無回答	
314	件数 100.0	66	54	90	42	28	25	85	28	95	6	
		%	21.0	17.2	28.7	13.4	8.9	8.0	27.1	8.9	30.3	1.9

問25 精神科や心療内科を受診しやすくなるために有効だと思うこと

回答数	かかりつけ医から紹介してもらう	精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)	精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解	家族や友人が同伴して受診する	公的な機関(区役所、精神保健福祉センターなど)での医師による精神相談窓口の利用	その他	無回答	
1,611 100.0	件数 %	837 52.0	501 31.1	518 32.2	494 30.7	326 20.2	79 4.9	108 6.7

問26 各種相談機関の認知度

		回答数	知っている	知らない	無回答	
(1)広島いのちの電話		1,611 100.0	件数 %	757 47.0	740 45.9	114 7.1
(2)ひろしまチャイルドライン		1,611 100.0	件数 %	423 26.3	1,031 64.0	157 9.7
(3)ヤングテレホン広島(広島県警)		1,611 100.0	件数 %	149 9.2	1,291 80.1	171 10.6
(4)いじめ110番		1,611 100.0	件数 %	850 52.8	621 38.5	140 8.7
(5)児童相談所		1,611 100.0	件数 %	1,144 71.0	335 20.8	132 8.2
(6)広島労働局総合労働相談コーナー		1,611 100.0	件数 %	424 26.3	1,019 63.3	168 10.4
(7)こころの耳		1,611 100.0	件数 %	59 3.7	1,381 85.7	171 10.6
(8)紙屋町法律相談センター(弁護士会)		1,611 100.0	件数 %	294 18.2	1,155 71.7	162 10.1
(9)法テラス広島		1,611 100.0	件数 %	547 34.0	917 56.9	147 9.1
(10)広島市消費生活センター		1,611 100.0	件数 %	988 61.3	493 30.6	130 8.1
(11)心配ごと相談所		1,611 100.0	件数 %	157 9.7	1,284 79.7	170 10.6
(12)暮らしサポートセンター		1,611 100.0	件数 %	340 21.1	1,094 67.9	177 11.0
(13)地域包括支援センター		1,611 100.0	件数 %	884 54.9	622 38.6	105 6.5
(14)広島市精神保健福祉センター		1,611 100.0	件数 %	290 18.0	1,162 72.1	159 9.9
(15)広島市自殺(自死)防止相談電話		1,611 100.0	件数 %	162 10.1	1,280 79.5	169 10.5
(16)こころの電話相談(広島県)		1,611 100.0	件数 %	363 22.5	1,080 67.0	168 10.4
(17)こころのライン相談@広島県		1,611 100.0	件数 %	93 5.8	1,331 82.6	187 11.6
(18)広島県こころの悩み相談【コロナ関連】		1,611 100.0	件数 %	100 6.2	1,325 82.2	186 11.5
(19)精神科救急情報センター		1,611 100.0	件数 %	96 6.0	1,334 82.8	181 11.2

問27 希望する相談方法

回答数	対面(直接会つて)	テレビ電話	電話	FAX	電子メール	SNS(LINE等)	その他	無回答	
1,611 100.0	件数 %	869 53.9	23 1.4	581 36.1	4 0.2	90 5.6	151 9.4	14 0.9	81 5.0

問28 自殺対策基本法の認知度

回答数		よく知っている	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
件数	%	12	80	413	1,058	48
1,611	100.0	0.7	5.0	25.6	65.7	3.0

問29 自殺(自死)対策への関心度

回答数		とても関心がある	関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
件数	%	71	555	641	285	59
1,611	100.0	4.4	34.5	39.8	17.7	3.7

問30 ゲートキーパーの認知度

回答数		よく知っている	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
件数	%	11	51	171	1,332	46
1,611	100.0	0.7	3.2	10.6	82.7	2.9

問31 自殺(自死)対策として大切だと思うこと

	回答数	とても大切	大切	あまり大切でない	大切でない	無回答
(1)学校での「いのちの教育」	1,611 100.0	件数 % 1,042 64.7	411 25.5	38 2.4	15 0.9	105 6.5
(2)職場や地域での「こころの相談」の充実	1,611 100.0	件数 % 658 40.8	710 44.1	92 5.7	26 1.6	125 7.8
(3)うつ病や自殺(自死)予防の専用電話相談の充実	1,611 100.0	件数 % 644 40.0	721 44.8	102 6.3	18 1.1	126 7.8
(4)うつ病や自殺(自死)予防の専用ホームページの充実	1,611 100.0	件数 % 566 35.1	724 44.9	158 9.8	26 1.6	137 8.5
(5)FAXを利用した「こころの相談」	1,611 100.0	件数 % 280 17.4	620 38.5	429 26.6	126 7.8	156 9.7
(6)電子メールを利用した「こころの相談」	1,611 100.0	件数 % 423 26.3	711 44.1	243 15.1	52 3.2	182 11.3
(7)SNSを利用した「こころの相談」	1,611 100.0	件数 % 472 29.3	655 40.7	248 15.4	54 3.4	182 11.3
(8)かかりつけ医師や診療所の目配り	1,611 100.0	件数 % 689 42.8	672 41.7	95 5.9	14 0.9	141 8.8
(9)もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする	1,611 100.0	件数 % 837 52.0	577 35.8	51 3.2	8 0.5	138 8.6
(10)債務(借金返済)相談の充実	1,611 100.0	件数 % 441 27.4	832 51.6	152 9.4	24 1.5	162 10.1
(11)うつ病や自殺(自死)に関する市民への啓発活動	1,611 100.0	件数 % 397 24.6	829 51.5	200 12.4	23 1.4	162 10.1
(12)教師、職場の上司等相談に応じる人への研修	1,611 100.0	件数 % 634 39.4	656 40.7	141 8.8	28 1.7	152 9.4
(13)自殺未遂者への支援	1,611 100.0	件数 % 631 39.2	708 43.9	91 5.6	26 1.6	155 9.6
(14)自殺(自死)で亡くなられた人の親族等への支援	1,611 100.0	件数 % 539 33.5	731 45.4	148 9.2	39 2.4	154 9.6
(15)高齢者の孤立を防ぐ対策	1,611 100.0	件数 % 778 48.3	653 40.5	53 3.3	12 0.7	115 7.1
(16)孤立化しやすい人を地域で見守るネットワーク	1,611 100.0	件数 % 595 36.9	752 46.7	100 6.2	18 1.1	146 9.1
(17)マスコミと一緒にキャンペーンを行う	1,611 100.0	件数 % 253 15.7	625 38.8	439 27.3	122 7.6	172 10.7
(18)家庭での「いのちの教育」	1,611 100.0	件数 % 588 36.5	732 45.4	122 7.6	26 1.6	143 8.9
(19)生活困窮者への経済的支援	1,611 100.0	件数 % 516 32.0	809 50.2	121 7.5	30 1.9	135 8.4
(20)新型コロナウイルス感染症に関するこころの相談窓口の充実	1,611 100.0	件数 % 497 30.9	808 50.2	146 9.1	31 1.9	129 8.0

問32 自殺(自死)対策のために取り組むことができるすこと

回答数		うつ病や 自殺(自死) に関する講習 会への参 加	家族でう つ病等を 話し合う 機会をつ くる	家庭や地 域でうつ 病等の正 しい知識 を伝える	ゲート キーパー 活動への 参加	これまで 以上の家 族や友人 への目配 り	職場のメ ンタルヘ ルス環境 の改善に 取り組む	その他	特に何も しない	無回答
件数	%	321	538	478	171	910	497	50	130	112
		100.0	19.9	33.4	29.7	56.5	30.9	3.1	8.1	7.0

2 調査票

調査票

こころの健康に関するアンケート調査

ご協力のお願い

日頃から、広島市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、全国では、平成10年に自殺者数が急増し、年間3万人を超え、その後も高い水準で推移しています。広島市においても、平成10年に自殺者数が200人を超えて、平成25年には16年ぶりに200人を下回ったものの、依然として深刻な状況が続いています。こうした状況から、広島市では、平成20年度から平成28年度までを計画期間とした「広島市うつ病・自殺対策推進計画」を、そして平成29年度から令和3年度までを計画期間とした「広島市うつ病・自殺（自死）対策推進計画（第2次）」を策定し、うつ病・自殺（自死）対策に取り組んでまいりました。

今回の「こころの健康に関するアンケート調査」は、こころの健康や自殺（自死）予防に関する市民の皆様のお考えなどを聞きし、その結果を新たな「広島市うつ病・自殺（自死）対策推進計画」を策定する上での基礎資料とするため、実施するものです。

なお、この調査は、市内にお住まいの15歳以上の方の中から、3,000人を無作為に抽出させていただき、回答をお願いするものです。調査は、無記名で回答していただき、回答結果は統計的に処理いたします。ご記入いただいた個人情報は、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙とは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年11月

広島市長 松井 一實

記入についてのお願い

1 調査票には、あて名のご本人がお答えください。

もし、ご本人に記入いただけない場合は、身近な方が、ご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。

なお、この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合や、読みたくない・回答したくない場合などは、無理に記入されなくても結構です。

2 回答にあたっては、間にしたがって調査票に直接ご記入ください。

ご記入は、鉛筆、ボールペン、万年筆のいずれでも結構です。

3 記入した調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、令和2年11月17日（火）までに郵便ポストへご投函ください。

4 この調査についてのお問合せは、下記にお願いいたします。

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

広島市健康福祉局精神保健福祉課 担当：森脇、仙波、村戸

TEL (082) 504-2228、FAX (082) 504-2256

◎ 次のそれぞれの問について、該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

問1 あなたの居住区はどこですか。

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 1 中区 | 2 東区 | 3 南区 | 4 西区 |
| 5 安佐南区 | 6 安佐北区 | 7 安芸区 | 8 佐伯区 |

問2 あなたのお住まいの地域の様子は下のどれに最も近いと思いますか。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 都心部（商店街、オフィス） | 2 住宅と商店や工場等が混在する地域 |
| 3 古くからの住宅地 | 4 団地などの新興住宅地 |
| 5 農業集落 | 6 その他（ ） |

問3 あなたの性別は。

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問4 あなたの満年齢は。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 19歳以下 | 2 20~24歳 | 3 25~29歳 | 4 30~34歳 |
| 5 35~39歳 | 6 40~44歳 | 7 45~49歳 | 8 50~54歳 |
| 9 55~59歳 | 10 60~64歳 | 11 65~69歳 | 12 70~74歳 |
| 13 75歳以上 | | | |

問5 同居家族はあなたも含め何人ですか。

- | | | | |
|------------|--------|------|------|
| 1 1人（自分だけ） | 2 2人 | 3 3人 | 4 4人 |
| 5 5人 | 6 6人以上 | | |

問6 あなたの同居家族の構成は次のどれですか。

- | | |
|------------------|--|
| 1 一人暮らし | |
| 2 夫婦だけ | |
| 3 あなた（又はあなた夫婦）と親 | |
| 4 あなた（又はあなた夫婦）と子 | |
| 5 あなたを含めて三世代 | |
| 6 その他（具体的に： ） | |

問7 あなたはどのような仕事についていますか。

- | | | |
|-----------|--|------|
| 自営、家族従事の方 | 1 農業、林業、水産業
2 商業、サービス業、工業
3 自由業（弁護士、開業医、芸術家など）
4 管理職（会社・団体の役員、課長以上の人など）
5 専門・技術職
ア 対人サービスの多い職（教員、病院勤務の医師・看護師、保育士など）
イ ア以外（研究開発職、システムエンジニアなど）
6 事務職（会社・団体の一般事務など）
7 販売・サービス職（店員、理・美容師など）
8 技能・労務職（工員、建設作業者、運転手、ガードマンなど）
9 パートタイマー、アルバイト（学生を除く）

10 専業主婦・主夫
11 学生
12 無職（10及び11を除く） | ⇒問8へ |
| お勤めの方 | | |
| その他 | | |

問8 あなたのふだん1週間の就業時間はどのくらいですか。ふだん残業や副業をしている場合は、それを含めた1週間の合計について記入してください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 20時間未満 | 2 20～29時間 | 3 30～39時間 |
| 4 40～48時間 | 5 49～59時間 | 6 60～79時間 |
| 7 80時間以上 | 8 決まっていない | |

問9 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- | | |
|---------|-------------|
| 1 健康である | 2 まあまあ健康である |
| 3 健康でない | 4 よくわからない |

問10 この1週間のあなただからだやこころの状態についてお伺いします。

（この問については、(1)～(20)のそれぞれの項目について、該当する番号を選んで〇印をつけてください。）

	ほとんど なかった (ぜんぜん)	少しほ うあった (1～2日)	時々 あった (3～4日)	たいてい そうだった (5～7日)
(1) 普段はなんでもないことがわざわざしい	1	2	3	4
(2) 食べたくない、食欲が落ちた	1	2	3	4
(3) 家族や友だちからはげましてもらっても、気分が晴れない	1	2	3	4
(4) 他の人と同じ程度には、能力があると思う	1	2	3	4
(5) 物事に集中できない	1	2	3	4
(6) ゆううつだ	1	2	3	4

	ほとんど なかった (ぜんぜん)	少しは あった (1~2日)	時々 あった (3~4日)	たいてい そうだった (5~7日)
(7) 何をするのも面倒だ	1	2	3	4
(8) これから先のことについて積極的に考えることができる	1	2	3	4
(9) 過去のことについてくよくよ考える	1	2	3	4
(10) 何か恐ろしい気持ちがする	1	2	3	4
(11) なかなか眠れない	1	2	3	4
(12) 生活について不満なくすごせる	1	2	3	4
(13) ふだんより口数が少ない、口が重い	1	2	3	4
(14) 一人ぼっちでさびしい	1	2	3	4
(15) 皆がよそよそしいと思う	1	2	3	4
(16) 毎日が楽しい	1	2	3	4
(17) 急に泣きだすことがある	1	2	3	4
(18) 悲しいと感じる	1	2	3	4
(19) 皆が自分をきらっていると感じる	1	2	3	4
(20) 仕事（学業）が手につかない	1	2	3	4

問 11 あなたは、この6か月の間に「死にたい」と思うほどの悩みやストレスがありましたか。

- 1 まったくなかった
 2 あまりなかった
 3 たまにあった
 4 よくあった

その原因が新型コロナウイルス感染症に関する場合は、この欄にも○印をつけてください。

【上の問 11 で「3 たまにあった」又は「4 よくあった」と答えた方に質問します。】

問 12 それは、どのような事柄が原因ですか。

（この問については、次のうちからいくつでも○印をつけてください。）

		○印関係
家庭問題	1 家族関係の不和	1
	2 家族の死亡	2
	3 家族の将来悲観	3
	4 子育ての悩み	4
	5 被虐待	5
	6 家族の介護・看病疲れ	6
	7 その他家庭問題（具体的に：）	7
健康問題	8 自分の身体の病気の悩み	8
	9 自分のうつ病等の精神疾患の病気の悩み・影響	9
	10 身体障害の悩み	10
	11 その他健康問題（具体的に：）	11

		□叶関係
経済・生活問題	12	事業不振・倒産
	13	失業
	14	就職失敗
	15	生活苦
	16	負債
	17	その他経済・生活問題（具体的に：）
勤務問題	18	仕事の失敗
	19	職場の人間関係
	20	職場環境の変化
	21	仕事疲れ
	22	パワーハラスメント・セクシャルハラスメント
	23	長時間労働
	24	その他勤務問題（具体的に：）
男女問題	25	結婚をめぐる悩み
	26	失恋
	27	不倫の悩み
	28	その他男女問題（具体的に：）
学校問題	29	入試・進路に関する悩み
	30	学業不振
	31	教師との人間関係
	32	いじめ
	33	その他学校問題（具体的に：）
その他	34	その他（具体的に：）

問13 あなたは、町内や地域の人と話をしたり交流する機会がありますか。

- | | | | |
|----------|--|-----|--------------|
| 1 よくある | |] → | 問14へ進んでください。 |
| 2 ときどきある | |] → | 問15へ進んでください。 |
| 3 あまりない | |] → | |
| 4 まったくない | |] → | |

【上の問13で「1 よくある」又は「2 ときどきある」と答えた方に質問します。】

問14 どのような方法で、町内や地域の人と話をしたり交流していますか。

- | | | |
|--------------|---------|---------------|
| 1 対面（直接会って） | 2 テレビ電話 | 3 電話 |
| 4 FAX | 5 電子メール | 6 SNS (LINE等) |
| 7 その他（具体的に：） | | |

問 15 新型コロナウイルス感染症の流行により、生活や人とのつながりに変化があったかをおたずねします。(1)～(4)の項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 暮らし向き	1 変わらない	2 苦しくなった	3 かなり苦しくなった
(2) 外出の頻度	1 変わらない	2 減った	3 かなり減った
(3) 個人的なことを話せる友人	1 変わらない	2 減った	3 かなり減った
(4) 近所の人との交流	1 変わらない	2 減った	3 かなり減った

問 16 あなたの心配ごとや悩みごとを相談できる人がいますか。

- 1 はい 2 いいえ

 └→ア 家族にいる

 イ 家族以外にいる

 ウ どちらにもいる

問 17 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になることが増えましたか。

- 1 かなり増えた 2 やや増えた
3 変わらない 4 わからない

問 18 新型コロナウイルス感染症の流行により、飲酒の量が増えましたか。

- 1 かなり増えた 2 やや増えた
3 変わらない 4 わからない

問 19 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゲームやインターネットをする時間が増えましたか。

- 1 かなり増えた 2 やや増えた
3 変わらない 4 わからない

問 20 「うつ病」は自殺（自死）に強く関連していると思いますか。

- 1 とてもそう思う 2 そう思う
3 思わない 4 わからない

問21 あなたの家族や友人のひとりが次のような状態になった場合を想定してお答えください。

「この2～3週間、食欲が無く眠れない日々が続き、体重が減ってきたようです。また、ふさぎ込むようになり、仕事に集中できなくなってしまいました。物事に対して興味がわかないようで、話しかけても返事に乏しく、悲観的な事を言っています。」

付問1 その人の状態に最もあてはまるのは次のどれだと思いますか。

- | | |
|--------|---------|
| 1 体の病気 | 2 心の病気 |
| 3 気のせい | 4 わからない |

付問2 その人の状態は適切な治療で治ると思いますか。

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1 治る | 2 治らない | 3 わからない |
|------|--------|---------|

付問3 あなたは、その人にどのように対応したらよいと思いますか。

最も良い対応だと思うものを選んでください。

- | | |
|---|--|
| 1 様子を見る | |
| 2 本人を励ます | |
| 3 身近な人への相談を勧める | |
| 4 民生委員への相談を勧める | |
| 5 内科医等のかかりつけ医へ受診することを勧める | |
| 6 精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める | |
| 7 保健師など公的な機関（区役所、精神保健福祉センターなど）の窓口への相談を勧める | |
| 8 その他（具体的に：） | |

問22 あなたは、もし「うつ病」だと思われる症状が2～3週間以上続いたら、医療機関で受診しますか。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 かかりつけ医で受診する |] → 問25へ進んでください。 |
| 2 精神科や心療内科で受診する | |
| 3 精神科や心療内科以外の医療機関で受診する | → 問23へ進んでください。 |
| 4 受診しない | → 問24へ進んでください。 |

【上の問22で「3 精神科や心療内科以外の医療機関で受診する」と答えた方に質問します。】

問23 なぜ精神科や心療内科の医療機関で受診しないのですか。

(この問について、次のうちからいくつでも○印をつけてください。)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 どこに受診したらよいかわからない | |
| 2 「うつ病」は治療しても治らないと思う | |
| 3 恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい | |
| 4 精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい | |
| 5 「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない | |
| 6 精神科や心療内科に行って治療しなくても、ほとんどは自然に治る | |
| 7 その他（具体的に：） | |

【前の問22で「4 受診しない」と答えた方に質問します。】

問24 なぜ医療機関で受診しないのですか。

(この問については、次のうちからいくつでも○印をつけてください。)

- 1 治療にお金がかかる
- 2 受診する時間がない
- 3 どこに受診したらよいかわからない
- 4 「うつ病」は治療しても治らないと思う
- 5 耾ずかしい病気なので、なるべく隠したい
- 6 「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない
- 7 治療しなくとも、ほとんどは自然に治る
- 8 通院することで、新型コロナウイルス感染症にかかるおそれがある
- 9 その他（具体的に：）

問25 精神科や心療内科の受診をしやすくするには、どのようにしたらよいと思いますか。

(この問については、次のうちからいくつでも○印をつけてください。)

- 1 かかりつけ医から紹介してもらう
- 2 精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知（名称、所在地、連絡先等）
- 3 精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解
- 4 家族や友人が同伴して受診する
- 5 公的な機関（区役所、精神保健福祉センターなど）での医師による精神相談窓口の利用
- 6 その他（具体的に：）

問26 次の相談機関を知っていますか。

(この問については、(1)～(19)のそれぞれの項目について、該当する番号を選んで○印をつけてください。)

	知っている	知らない
(1) 広島いのちの電話 24時間対応の電話相談	1	2
(2) ひろしまチャイルドライン 18歳までの子ども専用電話相談	1	2
(3) ヤングテレホン広島（広島県警） 24時間対応の電話相談	1	2
(4) いじめ110番 いじめに悩む子どもや保護者の相談	1	2
(5) 児童相談所 児童についての悩みや児童虐待等の相談	1	2
(6) 広島労働局総合労働相談コーナー 働き方、労働時間等労働問題に関する相談	1	2
(7) こころの耳 働く人や家族のメール相談	1	2
(8) 紙屋町法律相談センター（弁護士会） 金銭問題、その他法律に関する相談（有料）	1	2
(9) 法テラス広島 金銭問題、その他法律に関する相談	1	2
(10) 広島市消費生活センター 多重債務、借金返済の相談	1	2
(11) 心配ごと相談所 社会福祉協議会で行う日常生活上の相談	1	2
(12) くらしサポートセンター 様々な課題を抱える生活困窮の相談	1	2
(13) 地域包括支援センター 高齢者の介護や介護予防などの相談	1	2
(14) 広島市精神保健福祉センター こころの専門相談	1	2
(15) 広島市自殺（自死）防止相談電話 死にたいほどのつらい気持ちや自殺（自死）に関する相談	1	2

		知っている	知らない
(16) こころの電話相談（広島県）	こころの健康に関する電話相談	1	2
(17) こころのライン相談@広島県	39歳までの若年層向けSNS相談	1	2
(18) 広島県こころの悩み相談【コロナ関連】	新型コロナウイルス感染症に関連した心の不調のSNS相談	1	2
(19) 精神科救急情報センター	24時間対応の精神科疾患の医療相談	1	2

問27 相談機関で相談するときに、どのような方法で相談したいですか。

- 1 対面（直接会って） 2 テレビ電話 3 電話
 4 FAX 5 電子メール 6 SNS（LINE等）
 7 その他（具体的に：）

問28 自殺（自死）対策を社会的な取組として総合的に推進するため、自殺対策基本法が施行されています。あなたは、この法律をご存知ですか。

- 1 よく知っている 2 知っている
 3 聞いたことはあるがよく知らない 4 知らない

問29 あなたは、自殺（自死）対策に関心がありますか。

- 1 とても関心がある 2 関心がある
 3 あまり関心がない 4 関心がない

問30 自殺（自死）対策における「ゲートキーパー※」という言葉を知っていますか。

- 1 よく知っている 2 知っている
 3 聞いたことはあるがよく知らない 4 知らない

※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人。

問31 自殺（自死）対策として、あなたが大切だと思うことや充実させてもらいたいことはどのようなものですか。

（この問については、(1)～(20)のそれぞれの項目について、該当する番号を選んで○印をつけてください。）

	とても大切	大切	あまり大切でない	大切でない
(1) 学校での「いのちの教育」	1	2	3	4
(2) 職場や地域での「こころの相談」の充実	1	2	3	4
(3) うつ病や自殺（自死）予防の専用電話相談の充実	1	2	3	4
(4) うつ病や自殺（自死）予防の専用ホームページの充実	1	2	3	4
(5) FAXを利用した「こころの相談」	1	2	3	4

	とても大切	大切	あまり 大切でない	大切でない
(6) 電子メールを利用した「こころの相談」	1	2	3	4
(7) SNSを利用した「こころの相談」	1	2	3	4
(8) かかりつけ医師や診療所の目配り	1	2	3	4
(9) もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする	1	2	3	4
(10) 債務（借金返済）相談の充実	1	2	3	4
(11) うつ病や自殺（自死）に関する市民への啓発活動	1	2	3	4
(12) 教師、職場の上司等相談に応じる人への研修	1	2	3	4
(13) 自殺未遂者への支援	1	2	3	4
(14) 自殺（自死）で亡くなられた人の親族等への支援	1	2	3	4
(15) 高齢者の孤立を防ぐ対策	1	2	3	4
(16) 孤立化しやすい人を地域で見守るネットワーク	1	2	3	4
(17) マスコミと一緒にキャンペーンを行う	1	2	3	4
(18) 家庭での「いのちの教育」	1	2	3	4
(19) 生活困窮者への経済的支援	1	2	3	4
(20) 新型コロナウイルス感染症に関するこころの相談窓口の充実	1	2	3	4

問32 あなたが自殺（自死）対策のために取り組むことができると思うことはどのようなものですか。
(この問については、次のうちからいくつでも○印をつけてください。)

- 1 うつ病や自殺（自死）に関する講習会への参加
- 2 家族でうつ病等を話し合う機会をつくる
- 3 家庭や地域でうつ病等の正しい知識を伝える
- 4 ゲートキーパー活動への参加
- 5 これまで以上の家族や友人への目配り
- 6 職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む
- 7 その他（具体的に：）
- 8 特に何もしない

◎ こころの健康や自殺（自死）対策などについて、お気づきの点やご意見などがありましたら記入してください。

ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

登録番号:広H6-2020-391

名称:広島市こころの健康に関するアンケート調査結果報告書

主管課:健康福祉局 障害福祉部 精神保健福祉課

所在地:広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

(〒730-8586) TEL 082-504-2228

印刷会社名:株式会社サーベイリサーチセンター